

P C 9 8 -

PC98-NX >U-x Mate

省スペース型 デスクトップ型 ミニタワー型 (Windows Meインストールモデル) (Windows 98インストールモデル)

<mark>活用ガイド</mark> ハードウェア編

本体の構成各部

システム設定

SCSI設定

本機に添付されているマニュアルを、目的にあわせてご利用ください ご購入いただいたモデルによっては、下記以外にもマニュアルが添付されている 場合があります。『はじめにお読みください』6.マニュアルの使用方法 でご確認く ださい。 添付品の確認、本機の接続、Windows MeまたはWindows 98のセット アップ ➡『はじめにお読みください 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型』 本機を安全に使うための情報 ➡『安全にお使いいただくために』 Windows Meの基礎知識、基本的な操作方法 → Microsoft Windows Meクイックスタートガイド』または、Windows Me の「ヘルプとサポート」の中にある「Windows Millennium Editionを使 う、ご使用のモデルにより異なります。 Windows 98の基礎知識、基本的な操作方法 → Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』またはWindows 98 のヘルプの中にあるオンライン形式の[®]Microsoft Windows 98ファース トステップガイド』、ご使用のモデルにより異なります。 このマニュアルです 本機の各部の名称・機能、システム設定(BIOS設定)、ATコマンド →『活用ガイド ハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニタ ワー型(電子マニュアル) 本機にインストール/添付されているアプリケーションの削除/追加、他の OSのセットアップ ➡『活用ガイド ソフトウェア編(電子マニュアル) トラブル解決方法 →『活用ガイド ソフトウェア編(電子マニュアル) Windows Meの再セットアップ方法 →『活用ガイド 再セットアップ編(Windows Meインストールモデル)。 ご使用のモデルにより異なります。 Windows 98の再セットアップ方法 →『活用ガイド 再セットアップ編(Windows 98インストールモデル)。 ご使用のモデルにより異なります。 本機の機能を拡張する機器の取り付け方、内部構造の説明 →『ハードウェア拡張ガイド 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型』 (電子マニュアル) ディスプレイの利用方法 → 液晶ディスプレイ、CRTディスプレイがあり、マニュアルが添付されてい ます。ご使用のモデルにより異なります。 選択アプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェア)の利用方法 → Office 2000 Personal, Office 2000 Professional, 一太郎10 · 花子 10パック&1-2-3 2000があり、マニュアルが添付されています。ご使用 のモデルによって異なります。 メンテナンスとサポート情報の紹介およびパソコンに関するNECの相談窓 口や受講施設、故障時のサービス網の紹介 →『NEC PCあんしんサポートガイド』 - Microsoft**関連製品の情報について**・ 次のwebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、 技術者、およびネットワーク管理者用に、Microsoft関連製品を活用するための書 籍やトレーニングキットなどが紹介されています。 http://www.microsoft.com/japan/info/press/



このマニュアルは、フォルダやファイル、ウィンドウな ど、Windowsの基本操作に必要な用語とその意味を理解 していること、また、それらを操作するためのマウスの基 本的な動作が一通りでき、Windowsもしくは添付のアプ リケーションのヘルプを使って操作方法を理解、解決で きることを前提に本機固有の情報を中心に書かれていま す。

もし、あなたがパソコンにはじめて触れるのであれば、 上記の基本事項を関連説明書などで一通り経験してか ら、このマニュアルをご利用になることをおすすめします。

この活用ガイドは、以下の機種について書いてあります。

PC98-NX シリーズ Mate

MA10T/C、MA86T/C、MA80T/C、MA66H/C、 MA66H/Z、MA66H/L

MA10T/S, MA80T/S, MA66H/S

MA15S/M, MA10T/M, MA80T/M

(Windows Meインストールモデル)

(Windows 98インストールモデル)

選択アプリケーション、本機の仕様については、お客様 が選択できるようになっているため、各モデルの仕様に あわせてお読みください。

仕様についての詳細は、「PART5 付録」をご覧くだ さい。

2000年10月 初版

2000年11月 二版

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

▲ 警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。
 ▲ 注意 人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。
 ▲ 注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左記の記号の場合は、感電の可能性が想定されることを示します。感電注意の他に、発火注意、けが

注意、高温注意についても、それぞれのマークとともに記載して

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。

います。

- ✓チェック!! してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。また、全体に関する注意については、「注意事項」としてまとめて説明しています。
 - パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を 解説しています。
 - 参照 マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
 - メモ 利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
 - Me... Windows Meに特有の機能や操作について説明しています。
 - 98... Windows 98に特有の機能や操作について説明しています。

このマニュアルでは、機種ごとの説明をわかりやすくするために、次の記号を使っています。



このマニュアルで使用している表記の意味

本機	次の機種を指します。 PC98-NXシリーズ Mate MA10T/C、MA86T/C、MA80T/C、MA66H/C、MA66H/Z、 MA66H/L MA10T/S、MA80T/S、MA66H/S MA15S/M、MA10T/M、MA80T/M (Windows Meインストールモデル) (Windows 98インストールモデル) * 本機がどのモデルに該当するかは、型番を調べればわかりま す。型番の調べ方・読み方については、『はじめにお読みくださ
本体	 (1) 省スペース型、テスクトッフ型、ミニタリー型」をこ覧ください。 ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まない、 MA10T/C、MA86T/C、MA80T/C、MA66H/C、MA66H/Z、 MA66H/L MA10T/S、MA80T/S、MA66H/S MA15S/M、MA10T/M、MA80T/Mを指します。
省スペース型	次の機種を指します。 MA10T/C、MA86T/C、MA80T/C、MA66H/C、MA66H/Z、 MA66H/L
デスクトップ型	次の機種を指します。 MA10T/S、MA80T/S、MA66H/S
ミニタワー型	次の機種を指します。 MA15S/M、MA10T/M、MA80T/M
NetPC モデル	フロッピーディスクドライブおよびCD-ROM ドライブがない状 態でご購入いただいたモデルです。次の機種を指します。 MA66H/Z
ディスプレイセット モデル	CRTディスプレイまたは液晶ディスプレイとセットでご購入い ただいたモデルです。
アプリケーションレス モデル	選択アプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェ ア)がない状態でご購入いただいたモデルです。
Office 2000 Personal モデル	Office 2000 Personal がインストールされた状態でご購入いた だいたモデルです。
Office 2000 Professional モデル	Office 2000 Professional <mark>がインストールされた状態でご購入い</mark> ただいたモデルです。
一太郎10・花子10パック & 1-2-3 2000モデル	ー太郎10・花子10パックおよびロータス1-2-3 2000がインス トールされた状態でご購入いただいたモデルです。

「スタート」ボタン	「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニュー
「設定」	から「設定」を選択し、横に現れるサプメニューから「コント
「コントロールパネル」	ロールパネル」を選択する操作を指します。
[]	【 】で囲んである文字はキーボードのキーを指します。
۳ ع	『 』で囲んである文字はマニュアルの名称を指します。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版およびMicrosoft® Windows® 98 Second Edition Operating System日本語版
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System 日本語版
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal(Microsoft Word 2000, Microsoft Excel 2000, Microsoft Outlook® 2000, Microsoft / Shogakukan Bookshelf® Basic)
Office 2000 Professional	Microsoft® Office 2000 Professional Microsoft Word 2000, Microsoft Excel 2000, Microsoft Outlook® 2000, Microsoft PowerPoint® 2000, Microsoft Access 2000, Microsoft Pub- lisher 2000, Microsoft / Shogakukan Bookshelf® Basic)
一太郎10・花子10 パック	一太郎 10 ・花子 10 パック /R. 2(一太郎 10/R.2 、花子 10/R.2 、三四郎 9/R.2、ATOK13/R.2)
1-2-3 2000	ロータス 1-2-3 2000
スーパーディスク	SuperDisk™

このマニュアルで使用しているイラストと画面

このマニュアルに記載のイラストおよび画面は、実際のものとは異なることがあります。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、エネルギースター対応のモデルが国 際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化 推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品 の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度 となっています。

対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

技術基準等適合認定について

この装置は、電気通信事業法第72条の2第1項の規定に基づく、端末機器の設計についての認証を 受けています。申請回線と認証番号は次の通りです。

認証機器名:SF-DJP-ST 認証番号

電話回線:A99-0794JP

導入にあたっては、「MDMNDJP.INF」または「MDMDJPNT.INF」のファイルを含む専用ドライバ を必ず使用してください。使用されない場合は、この技術基準を遵守できない場合がありますの で、十分にご注意ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装 置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビ ジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従っ て正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン基準(PC-11-1988)に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。 (社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基 づく表示)

レーザ安全基準について

この装置には、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825) クラス1適合のCD-ROMドライブ、またはCD-R/RWドライブが搭載されています。

高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれ などお気付きのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBIT-INN、またはNECパソコンイ ンフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかか わらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows MeまたはWindows 98および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、 著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
- (10)本書に記載しているWebサイトや連絡先は、2000年9月現在のものです。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Active Movie、NetMeeting、Outlook、PowerPoint、 Bookshelf、Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およ びその他の国における商標または登録商標です。

「一太郎」花子」ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「一太郎10・花子10パック/R.2」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎10・花子 10パック/R.2」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属 します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ピーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標 使用許諾を受けています。

Lotusは、Lotus Development Corporationの登録商標です。

1-2-3は、Lotus Development Corporationの商標です。

VirusScanおよびPGPは、米国法人Network Associates, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

Photo CD portions copyright Eastman Kodak Company 1995

YAMAHAは、ヤマハ株式会社の登録商標です。

nVIDIA、nVIDIAロゴ、GeForce2 GTS、Vantaは、nVIDIA社の商標です。

pcAnywhere は Symantec Corporation の米国における登録商標です。

Intel、Pentium、CeleronおよびLANDeskは、Intel Corporationの米国およびその他の国々における商標および登録商標です。

Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)は、Intel® LANDesk® Client Managerのテクノロジを使用しています。

SCSI SELECT™は、Adaptec, Inc. の登録商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

K56flexは、Lucent TechnologiesとCONEXANT SYSTEMSの商標です。

SuperDisk、SuperDiskロゴは、米国イメーション社の商標です。

PrebootManagerは、Phoenix Technologies Ltdの商標です。

その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 2000

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。 本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。 また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて通商産業 省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせく ださい。

Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.

NEC will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.

NEC does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of International Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.

Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

このマニュアルはPART1からPART5までの構成となっていますが、PART1から順に読んでいく必要はありません。

『はじめにお読みください』でセットアップが完了しましたら、必要に応じて このマニュアルを活用してください。

なお、各PARTの最初のページにも「この章の読み方」と「この章の内容」があり ますので、各PARTを読む前にご覧ください。

また、このマニュアルは検索性を高めるため、目次の次に索引を記載してい ます。

索引に載せてある用語は、目次、注意していただきたい内容(♥チェック∥)、用 訳 ●●∥)、メモ(≥ 三)を検索するのに都合の良い言葉を選んでいます。

目次

索引

PART1 本体の構成各部

本機の外観上に見えるものから内蔵されている機器まで、ハードウェア全般の機能と取り扱いについて説明しています。

PART2 システム設定(省スペース型、ミニタワー型の場合)

本機を使用環境にあわせて設定するための、BIOSセットアップメニューの使 い方を説明しています。

別売の機器を利用するときにも、状況に応じて設定を変更できます。 デスクトップ型を利用する場合は、「PART3 システム設定(デスクトップ型 の場合)」をご覧ください。

PART3 システム設定(デスクトップ型の場合) デスクトップ型を利用する場合のBIOSセットアップメニューについて説明しています。

PART4 SCSI 設定

Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)を搭載しているモデルのユー ティリティ「SCSI SELECT」のSCSIの設定方法について説明しています。

PART5 付録

本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。

はじめに	3
このマニュアルの表記について	4
ご注意	8
このマニュアルの構成・読み方	10
目次(このページです)	11
索引	16
本体の構成各部	21
各部の名称	
本体正面	22
大佐背面 本佐背面	28
〒〒19回 雷源(Windows Meの場合)	
電源の状態と操作方法	
===== 0.2 ==============================	
スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)	38
休止状態/休止状態からの復帰(電源の手動操作)	42
電源の自動操作	44
電源 (Windows 98 の場合)	47
電源の状態と操作方法	47
電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)	49
スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)	51
電源の自動操作	54
電源の管理について(APMモード/ACPIモード)	56
キーボード	62
添付されるキーボードの種類	62
使用上の注意	62
PS/2 109 キーボード、 USB109 キーボード、	
テンキー付きPS/2小型キーボード	63
USB 小型キーボード	66
USB98 配列キーボード	68
日本語入力	70
USB 接続のキーボードの使用上の注意	72
マウス	73
マウスについて	73

PART

目 次

ディスプレイ	74
使用上の注意	74
表示能力	
ディスプレイの省電力機能	81
別売のディスプレイを使う	81
ハードディスクドライブ	82
使用上の注意	82
ドライブ番号の割り当て	84
スキャンディスクの操作手順	86
フロッピーディスクドライブ	90
使用上の注意	
使用できるフロッピーディスク	90
フロッピーディスクの内容の保護	
スーパーディスクドライブ	93
使用上の注意	93
使用できるディスク	93
ディスク内容の保護	
ディスクのフォーマット	95
非常時のディスクの取り出し	
CD-ROM ドライブ	96
再生できる CD の種類	
CD-ROM のセット(省スペース型の場合)	
非常時のディスクの取り出し	
CD-R/RW ドライブ	100
再生できる CD の種類	100
CD-R および CD-RW への書き込みおよび CD-RW のフォ	ーマット 100
非常時のディスクの取り出し	101
サウンド機能	102
音量の調節	102
LAN (ローカルエリアネットワーク)ボード	103
LAN (ローカルエリアネットワーク)への接続	103
LAN の設定(Windows Me の場合)	104
LAN の設定(Windows 98 の場合)	105

	ネットワークパスワードの変更について(Windows Me の場合) 106
L	ネットワークパスワードの変更について(Windows 98 の場合) 108
L	リモートパワーオン機能の設定について(Windows Me の場合) 110
L	リモートパワーオン機能の設定について(Windows 98 の場合) 113
L	FAX モデムボード 117
L	FAX モデムボードについて
L	FAX モデムボードを使用するときの注意
L	Mate セキュリティ/マネジメント機能 120
L	セキュリティ/マネジメント機能の概要
L	セキュリティ機能 12 ⁻
L	マネジメント機能 125
l	システム設定(省スペース型、ミニタワー型の場合)129
	システム設定 (省スペース型、ミニタワー型の場合) _… 129 BIOSセットアップメニューについて
	システム設定(省スペース型、ミニタワー型の場合) BIOSセットアップメニューについて
	システム設定(省スペース型、ミニタワー型の場合) BIOSセットアップメニューについて
	システム設定 (省スペース型、ミニタワー型の場合) 129 BIOSセットアップメニューについて
	システム設定(省スペース型、ミニタワー型の場合) 129 BIOSセットアップメニューについて 130 BIOSセットアップメニューの起動と初期画面 130 BIOSセットアップメニューの総了 131 工場出荷時の設定値に戻す 133 Mainの設定 133
	システム設定(省スペース型、ミニタワー型の場合) 129 BIOSセットアップメニューについて 130 BIOSセットアップメニューの起動と初期画面 130 BIOSセットアップメニューの総了 131 工場出荷時の設定値に戻す 133 Mainの設定 133 Mainの設定 133
	システム設定(省スペース型、ミニタワー型の場合) 129 BIOSセットアップメニューについて 130 BIOSセットアップメニューの起動と初期画面 130 BIOSセットアップメニューの終了 131 工場出荷時の設定値に戻す 133 Mainの設定 133 Advancedの設定 133
	システム設定(省スペース型、ミニタワー型の場合) 129 BIOSセットアップメニューについて 130 BIOSセットアップメニューの起動と初期画面 130 BIOSセットアップメニューの総了 131 工場出荷時の設定値に戻す 133 Mainの設定 133 Advancedの設定 133 Advancedの設定 133
	システム設定(省スペース型、ミニタワー型の場合) 129 BIOSセットアップメニューについて 130 BIOSセットアップメニューの起動と初期画面 130 BIOSセットアップメニューの総了 131 工場出荷時の設定値に戻す 133 Mainの設定 133 Advancedの設定 133 Advancedの設定 133 Securityの設定 147

 パスワードの解除
 152

 Powerの設定
 153

 Powerの設定(Windows MeおよびWindows 98のACPIモードの場合).....153
 153

 Powerの設定(Windows 98のAPMモードの場合).....155
 155

 Bootの設定
 160

 電源の設定
 161

PART

0	
	/
	<u> </u>
	_

PART

システム設定(デスクトップ型の場合)	163
BIOSセットアップメニューについて	164
BIOS セットアップメニューの起動と初期画面	164
BIOS セットアップメニューの終了	165
工場出荷時の設定値に戻す	165
Standard CMOS Setup の設定	166
Standard CMOS Setup の設定	166
Advanced CMOS Setup の設定	169
Advanced CMOS Setup の設定	169
Advanced Chipset Setup の設定	174
Advanced Chipset Setup の設定	174
Power Management Setupの設定	175
Power Management Setup の設定	
(Windows Me および Windows 98 の ACPI モードの場合)	175
Power Management Setup の設定	
(Windows 98 の APM モードの場合)	178
PCI / Plug and Play Setup の設定	183
PCI / Plug and Play Setup の設定	183
Peripheral Setup の設定	184
Peripheral Setup の設定	184
Hardware Monitor Setup の設定	187
Hardware Monitor Setup の設定	187
Auto-Detect Hard Disks の設定	188
Security Setup の設定	189
Security Setup の設定	189
パスワードの解除	190
SCSI 設定	191
SCSI SELECT について	192
SCSI SELECT での設定が必要な場合	192
使用上の注意	192
SCSI SELECTでの設定項目	194

PART

SCSI SELECTの設定項目一覧と初期設定	194
SCSI SELECTの画面の説明	195
SCSI SELECT の構造	196
各画面の説明	197
43 0	10

PART



付 録	
機能一覧	220
型番の読み方	220
仕様一覧	220
割り込みレベル・ DMAチャネル	
本機のお手入れ	
マウスのクリーニング	235
スーパーディスクドライブのクリーニング	237

索引

ページ太字:説明や作業のあるページを指します。 ページ細字:図や文章に出てくるページを指します。

英数字

100BASE-TX	103
100BASE-TX/10BASE-T 用コネクタ .	30
109 キーボード	. 63
10BASE-T	103
121ware	127
3.5 インチフロッピーディスクドライブ	24
98 配列キーボード	. 68
AC97 Audio	143
AC97 Modem	143
ACPI モード	. 56
AC 電源コネクタ	. 29
APMモード	. 56
Assign HDD Password	150
АТОК	. 70
AT コマンド 117,	231
Auto Suspend Timeout 154,	156
BIOS LOCK	121
BIOS Revision	136
BIOS セットアップメニュー	130
Boot-time Diagnostic Screen	136
BootUp Num-Lock	172
CD-R/RW アクセスランプ	. 27
CD-R/RW ドライブ 25,	100

CD-ROM	
CD-ROM アクセスランプ	27
CD-ROM ドライブ	25, 96
Chassis Intrusion	145, 187
Cover Open Check	150
DAT ユニット	206
DFP	81
Diskette Access	149
DMA チャネル	232
DMI Event Logging	143
DPMS	81
DV15A3	76, 80
DV17D2	76, 80
Event Logging	143
Extended Memory	136
F14T52	75, 79
F15R42W	75, 79
F15\$32	75, 79
F15T42	75, 79
F18S1W	75, 79
FAX 機能	231
FAX モデムによる電源の自動操作	46, 56
FAX モデムボード	30, 117
FAX モデムボード機能仕様	231
FE90	76, 80

Floppy Access Control	172
Hard Disk Timeout 154,	156
I/O Device Configuration	139
I/O ロック	122
IEC825	7
IRQ	137
ITU-T	117
JIS	7
K56flex	117
Keyboad Power On 154,	158
LANDesk(R)Service	144
LAN の設定 104,	105
LAN ボード	. 30
LAN ボード機能仕様	230
Local Bus IDE adapter	142
MIDI/Joystickコネクタ	. 33
Mouse Power On 154,	158
MS-IME	. 70
NetPC	5
Network Boot Setting	149
N キーロールオーバ	. 62
OFF state Alert II	128
Office 2000	. 70
On PME	160
OnBoard AC'97 Audio	185
Password Check	189
PC-11-1988	7
PC-9800 32	, 91
PC-M-SCUWS2	192
PCI Configuration	137

PCI スロット	. 32
Peripheral Setup	184
PGP Personal Privacy	122
PIRQ[A]IRQ Active	176
PK-CA101	. 32
PK-CA102	. 32
PK-FP002	121
PK-MC202	. 72
PK-MC202E	. 72
PK-SM001	121
PK-SM003	121
PK-UP001	. 72
PK-UP004E	. 72
PK-UP008	. 72
Plug & Play O/S	137
Plug and Play Aware O/S	183
PME 155, 159,	160
Power Button Behavior 154,	157
Power Button Function 176,	181
Power Loss Resume 154,	158
Power Savings	153
Preboot Management	144
Pri Master	167
Pri Slave	167
Primary Master	134
Primary Master IDE Access	176
Primary Slave	134
PS/2 接続キーボードコネクタ	. 33
PS/2 接続マウスコネクタ	. 33
QuickBoot 142,	170

QuickBoot Mode	142
Removable Devices	162
Restore On AC/Power Loss	160
Resume By PME From Soft Off	177
Resume On Modem Ring 154,	159
Resume On PME 154,	159
Ring Resume From Soft Off	177
RS-232C 変換アダプタ	. 32
SCSI SELECT 192,	194
SCSI インタフェースボード	. 33
Sec Master	168
Sec Slave	168
Secondary Master	134
Secondary Slave	134
Security Mode	148
Set Supervisor Password	147
Set User Password	148
Sound	143
Suspend Timeout(Minute)	175
System backup reminder	150
System Memory	136
System Switch 154,	157
Ultra SCSI	192
Ultra SCSI インタフェースボード	
(Wide 対応)	192
USB ケーブルフック 22,	27
USB コネクタ 27	, 29
USB ハブ	. 72
VCCI	7
VESA	. 81

Virus	check	reminder	••••			149
Wind	ows +-			64,	66,	69

ア行

アース端子 32
アナログ RGB コネクタ 31
アプリケーションキー 64, 66, 69
イラスト6
ウイルス 123
ウィンドウアクセラレータ
液晶ディスプレイ 74
エネルギースター
エンドユーザ管理 123
オフ 81
音量の調節 102

カ行

解像度		. 75
書き込み禁止	92,	, 94
型番の読み方		220
カバーセンサ		124
カバーをロック		124
画面		6
キーボード		62
キーロールオーバ		. 62
起動順位		161
休止状態		. 42
筐体ロック :	32,	123
クライアントモニタリング		128
クリーニングキット		237
クリーニングキット		23

ケーブルストッパ 29,	33
工場出荷時の設定値 1	31
高調波電流規制	7
小型キーボード	66
コンプリートオフ	81

サ行

サウンド機能 10	02
サスペンド	81
資源管理 1	28
自己診断画面 1	36
瞬時電圧低下	.7
状態監視 1	28
省電力機能	81
初期化 1	37
シリアルコネクタ	32
スーパーディスクドライブ … 24, 9	93
スキップセクタ	83
スキャンディスク	86
スクロールボタン	73
スタビライザ	27
スタンパイ	81
スタンバイ状態 34, 4	47
スマートカード 1	21
ソフトウェアパワー OFF機能 1	25

タ行

タイマ		 45	, 54
甩風孔		 	. 32
データ通	値信機能	 	117

ディスクアクセスランプ	24
ディスクイジェクトボタン	24
ディスクトレイイジェクトボタン	27
ディスプレイ	74
適用電話回線 1	17
デジタル RGB コネクタ	31
テンキー付きPS/2小型キーボード	63
電源 34, 47, 1	60
電源スイッチ	24
電源ランプ	24
電波障害	. 7
電話回線用モジュラーコネクタ	31
電話機用モジュラーコネクタ	31
盗難防止	32
ドライブ番号	84

ナ行

内蔵スピーカボリューム	. 25
日本語入力	. 70
認証番号	7
ネットワーク通信/ 接続ランプ	. 31
ネットワークブート	127

八行

ハードディスクアクセスランプ	. 24
ハードディスクドライブ	. 82
ハードディスクパスワード 123,	150
ハイパワーデバイス	. 72
パケット	126
パスワード 106,	108

バックアップ 82
ハブ 103
パラレルコネクタ 32
表示色 75
ファイルペイ 27
ファイルベイカバー 27
フォーマット 90, 93, 95
復帰 35, 36, 48
不良セクタ 83
プリンタインターフェース変換アダプタ 32
フロッピーディスクドライブ 90
フロントマスク 27
ヘッドホン端子
ヘッドホンボリューム
保守用FDDコネクタ 33
本機 5
本機のお手入れ 234
本体

マ行

マイクロホン端子	29
マウス	73
マネジメント機能 ′	120
マルチポートリピータ	103
ミニDIN6ピン	33
ミニジャック	29
メンテナンスウィザード 88,	89

ヤ行

ユーザバスワード	1ーザパスワード		147
----------	----------	--	-----

輸出	 9
T 00	 •••

ラ行

ライトプロテクト 92, 94
ライトプロテクトノッチ 92, 94
ライン出力端子 29
ライン入力端子 29
リフレッシュレート
リモートコントロール 127
リモートパワーオン機能 … 46, 56, 126
リンクケーブルの接続 103
ルーフカバーオープン検知 124
レーザ安全基準
ローパワーデバイス 72
漏洩電流自主規制

ワ行

割り込みレベル 232	創り込みレベル		232
--------------------	----------------	--	-----



本体の構成各部

本機の外観上に見えるものから、内蔵されている機器まで、ハードウェア 全般の機能と取り扱いについて説明します。

この章の読み方

順番に読んでいく必要はありません。目的にあわせて該当するページを お読みください。

この章の内容

各部の名称	22
電源(Windows Me の場合)	34
電源 (Windows 98の場合)	47
キーボード	62
マウス	73
ディスプレイ	74
ハードディスクドライブ	82
フロッピーディスクドライブ	90
スーパーディスクドライブ	93
CD-ROM ドライブ	96
CD-R/RW F57	100
サウンド機能	102
LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード	103
FAX モデムボード	117
Mateセキュリティ/マネジメント機能	120



各部の名称

ここでは、本体の各部の名称とその役割について説明しています。各部の 取り扱い方法や詳しい操作方法については、各項目にある参照ページを ご覧ください。





MA10T/C、MA86T/C、MA80T/C、MA66H/C、MA66H/Z、MA66H/L の場合





MA10T/S、MA80T/S、MA66H/Sの場合



MA15S/M、MA10T/M、MA80T/Mの場合



電源スイッチ(省スペース型、デスクトップ型:())(ミニタワー型:))())

Me... 本体の電源の状態を変更(入れる/切る、スタンバイ/スタンバイからの復帰、休止/休止状態からの復帰)するスイッチです。

「**電源(** Windows Me**の場合) (** P.34)

98... 本体の電源の状態を変更(入れる/切る、スタンバイ/スタンバイから復 帰)するスイッチです。「電源(Windows 98の場合)(P.47)

電源ランプ(省スペース型、デスクトップ型:①)(ミニタワー型:))())

電源の状態を表示するランプです。電源が入っているときとスタンバイ 状態のときに点灯します。「電源(Windows Meの場合)(P.34)「電 源(Windows 98の場合)(P.47)

ハードディスクアクセスランプ(🗋)

IDEデバイスが読み書きしているときに点灯します。 工場出荷時に内蔵されているIDEデバイスは、ハードディスクドライブ (プライマリマスタ)と、モデルによって異なりますが、追加ハードディス クドライブ(プライマリスレーブ)、CD-ROMドライブまたはCD-R/RW ドライブ(セカンダリマスタ)があります。なお、CD-ROMドライブまたは CD-R/RWドライブの種類によっては、点灯しないことがあります。

- 「ハードディスクドライブ(P.82)「CD-ROMドライブ(P.96) 「CD-R/RWドライブ(P.100)
- チェック パードディスクアクセスランプ点灯中は電源スイッチを押さないでください。ハードディスクの内容がこわれることがあります。

3.5インチフロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブまたは空き

3.5インチのフロッピーディスクの読み書きをする装置です。

「フロッピーディスクドライブ(P.90)

さらにスーパーディスクドライブでは、スーパーディスクに大容量の データを書き込むことができます。

「スーパーディスクドライブ(P.93)

NetPCモデルの場合は、どちらも搭載されていません。

ディスクイジェクトボタン

フロッピーディスクやスーパーディスクを取り出します。

ディスクアクセスランプ

フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブが動作し ているときに点灯します。 チェック? ディスクアクセスランプ点灯中は、電源スイッチを押したり、ディスクイジェクトボタンを押したりしてフロッピーディスクやスーパーディスクを取り出さないでください。ディスクの内容がこわれることがあります。

ヘッドホン端子(〇)

ミニプラグのステレオ ヘッドホンを接続します。ヘッドホンを接続する と内蔵スピーカからの音は出なくなります。ヘッドホンを耳にあてたま まジャックの抜き差しをしないでください。

 ジチェック // ヘッドホンで音声を聞く場合、『活用ガイド ソフトウェア編』トラブル解決 Q&A」をご覧になり、設定の変更を行ってください。

内蔵スピーカボリューム(口))

内蔵スピーカ、またはヘッドホン端子に接続したヘッドホンの音量を調節します。「サウンド機能(P.102)

マイクロホン端子(🔊)

ミニプラグのマイクロホンを接続します。「サウンド機能(P.102)

CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブまたは空き

CD-ROMや音楽CDのデータを読み出す装置です。

「CD-ROM**ドライブ(**P.96)

さらにCD-R/RWドライブでは、CD-RまたはCD-RWに大容量のデータを 書き込むことができます。「CD-R/RWドライブ(P.100) CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブを取り外して、他のファイ ルベイ用内蔵機器に交換することができます。

『ハードウェア拡張ガイド』

省スペース型の場合

CD-ROM ドライブおよびCD-R/RW ドライブ拡大図

NetPCモデルの場合は、どちらも搭載されていません。





CD-ROM ドライブ拡大図

機種によってボタン、ランプなどの位置が異なる場合があります。



CD-R/RWドライブ拡大図



-a ヘッドホン端子(〇)

ミニプラグのステレオ ヘッドホンを接続します。この端子で聞くことが できるのは、音楽CDの再生音だけです。ヘッドホンを耳にあてたまま ジャックの抜き差しをしないでください。

ジチェック // ヘッドホンで音声を聞く場合、『活用ガイド ソフトウェア編』トラブル解決
 Q&A」をご覧になり、設定の変更を行ってください。

-b **ヘッドホンボリューム**

CD用ヘッドホン端子に接続したヘッドホンの音量を調節します。

-c CD-ROM**アクセスランプ**

CD-ROM ドライブが動作しているときに点灯します。

-d ディスクトレイイジェクトボタン

トレイを出し入れするときに使います。

-e CD-R/RW**アクセスランプ**

CD-R/RWドライブが動作しているときに点灯します。

USB**コネクタ(・<→)**

USB機器を接続します。「キーボード(P.62)

ファイルペイおよびファイルペイカバー

ファイルベイ用内蔵機器を取り付けます。ファイルベイにはサイズの違いにより、3.5インチベイ、5インチベイの2種類があります。 ファイルベイに、リムーバブルメディア用の内蔵機器を取り付けるときには、このファイルベイカバーを取り外し、別売のファイルベイカバーを

参照 本機の機能を拡張するためのさまざまな機器の取り付け/取り外しについて は、『ハードウェア拡張ガイド』をご覧ください。

フロントマスク

本体前面のカバーです。

スタビライザ

本体を安定させるための脚です。

USB ケーブルフック

USB機器のケーブルが抜けるのを防止します。





MA15S/M、MA10T/M、MA80T/Mの場合



AC**電源コネクタ**

ACコンセントから本体に100Vの電源を供給するためのコネクタです。 添付の電源ケーブルを接続します。

USB**コネクタ(・**↔)

USB機器を接続します。MA15S/Mは2ポートあります。 「キーボード(P.62)



マイクロホン端子(ミニジャック) 🔊)

市販のマイクロホンを接続します。

ライン入力端子(ミニジャック)(())

市販のオーディオ機器から音声信号を入力します。

ライン出力端子(ミニジャック)((*))

市販のオーディオ機器へ音声信号を出力します。

LANボードまたはFAXモデムボードまたは空き

LANボードまたはFAXモデムボードが内蔵されています。LANボードが 内蔵されているモデルでは、LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続 することができます。

「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード(P.103) FAXモデムボードが内蔵されているモデルでは、データ通信やFAXの送 受信などを行うことができます。「FAXモデムボード(P.117)

LAN**ボード拡大図**

MA10T/C、MA86T/C、MA80T/C、MA10T/M、MA80T/Mの場合



-a 100BASE-TX/10BASE-T**用コネクタ**

MA66H/C、MA66H/Z、MA66H/L、MA10T/S、MA80T/S、MA66H/S の場合



-a 100BASE-TX/10BASE-T用コネクタ

MA15S/M**の場合**



FAX**モデムボード拡大図**



-a 100BASE-TX/10BASE-T**用コネクダ(**品)

100BASE-TX/10BASE-T**のケーブルを接続します。**

-b ネットワーク通信/接続ランプ(ACT/LNK)

ネットワーク上で読み込み/書き込みが発生すると点滅します。また、ハ ブ(マルチポートリピータなど)から、リンクパルスを受信すると点灯し ます。ただし、必ずしも本機の読み込み/書き込みとは限りません。

-c ネットワーク通信/接続ランプ(ACT/LINK)

ネットワーク上で読み込み/書き込みが発生すると点滅します。また、ハ プ(マルチポートリピータなど)から、リンクパルスを受信すると点灯し ます。

・100Mbpsネットワーク接続時は緑色に点滅/点灯します。

・10Mbpsネットワーク接続時は黄色に点滅/点灯します。

ただし、必ずしも本機の読み込み/書き込みとは限りません。

-d100BASE-TX**接続ランプ**

100Mbpsでネットワークが接続されていて、ハブ(マルチボートリピー タなど)からリンクパルスを受信すると点灯します。10Mbpsでネット ワークが接続されている場合は点灯しません。

-e 電話機用モジュラーコネクタ(🕝)

電話機を接続します。

-f 電話回線用モジュラーコネクタ(しょう)

電話回線を接続します。

アナログRGB**コネクタ(**〇)

アナログインタフェースのディスプレイを接続します。 「ディスプレイ(P.74)

 \vec{r} \vec{v} \vec{r} \vec{v} \vec{r} \vec{r}

デジタルインタフェースのディスプレイを接続します。MA15S/Mには ありません。「ディスプレイ(P.74)

チェック / アナログRGBコネクタとデジタルRGBコネクタは、同時に利用できません。

パラレルコネクタ(昌)

プリンタなどの機器を接続します。

チェック ・ PC-9800シリーズ用のプリンタケーブルを接続する場合は、別売のプリンタインターフェース変換アダプタ(PK-CA101)が必要です。

・ パラレルコネクタには、D-Sub25ピンのシリアル機器を接続しないでください。

シリアルコネクタ1,2(10001、20001)、またはシリアルコネクタ(10001) モデムやISDN TAなどの機器を接続します。

チェック PC-9800シリーズ用の機器を接続する場合は、別売のRS-232C変換アダ プタ(PK-CA102)が必要です。

- RS-232C変換アダプタ(PK-CA102)は、シリアルコネクタ1のみで使用できます。なお、MA10T/S、MA80T/S、MA66H/Sの場合はRS-232C変換アダプタは利用できません。
- ・周辺機器によっては、変換アダプタを使用すると動作しないことがあります。また、隣り合ったコネクタに同時に変換アダプタを接続すると、変換アダプタ同士がぶつかり合って接続できない場合があります。

筐体ロック(🕅)

市販のロック付き盗難防止ケーブルを取り付けます。

「Mateセキュリティ/マネジメント機能(P.120)

アース端子(🕀)

アース線を接続します。

通風孔

本体内部の熱を逃がすための通風孔です。壁などでふさがないように注 意してください。

PCI**スロット**

本体の機能を強化したり拡張したりするための、各種ボードを挿入する スロットです。モデルによっては、LANボード、FAXモデムボード、SCSI インタフェースボードなどが挿入されています。

- 「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード(P.103)「FAXモデム ボード(P.117)「PART4 SCSI設定」
- 参照 本機の機能を拡張するためのさまざまな機器の取り付け/取り外しについて は、『ハードウェア拡張ガイド』をご覧ください。

本体の構成各部

PS/2接続キーボードコネクタ(====)

PS/2接続のキーボードのモデルでは、PS/2接続のキーボード(ミニDIN6 ピン)を接続します。「キーボード(P.62)

PS/2**接続マウスコネクタ(** 🖰)

PS/2接続のキーボードのモデルでは、PS/2接続のマウス(ミニDIN6ピン)を接続します。「マウス(P.73)

チェック? MA10T/MおよびMA80T/Mをご利用の場合、PS/2接続コネクタから電源
 供給を必要とする周辺機器を使用するには、PS/2接続キーボードコネクタ
 に接続してください。

MA66H/Z

保守用FDDコネクタまたは空き

NetPCモデルの場合、再セットアップするために別売の外付けのフロッ ピーディスクドライブを接続します。

MIDI/Joystick**コネクタ**

MIDI/Joystickコネクタは利用できません。また、このコネクタにはディ スプレイを接続しないでください。発火の原因になります。

SCSIインタフェースボードまたは空き

Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)が内蔵されたモデルは、 SCSIインタフェースを持つ機器と接続できます。

「PART4 SCSI設定」『ハードウェア拡張ガイド』

ケーブルストッパ

キーボードなどのケーブルが抜けるのを防止したり、ケーブル接続した 機器の盗難を防止します。『ハードウェア拡張ガイド』



電源(Windows Me**の場合)**

ここでは電源の入れ方と切り方や省電力機能について説明します。電源の切り方を間違えるとデータやプログラム、本機がこわれてしまうことがあるので、特に注意してください。

電源の状態と操作方法

電源の状態

本体の電源の状態には次のように「電源が切れている状態」電源が入っ ている状態」スタンバイ状態」休止状態」の4つの状態があります。



電源が切れている状態

Windows Meを終了するなどして本体の使用を終了している状態です。

電源が入っている状態

通常、本体を使用している状態です。

スタンバイ状態

作業中のデータを一時的にメモリに保存し、ハードディスクドライブ などのモータを停止する、ディスプレイを省電力の状態にするなどし て消費電力を抑えますが、メモリ内のデータを保持するための電力は 供給されている状態です。作業中の内容がメモリ内に保存されている ため、スタンバイ状態から復帰するときは素早く元の状態に戻ります。

休止状態

メモリの情報をすべてハードディスクドライブに保存した後で、本体 の電源を切ります。もう一度電源を入れると、電源を切ったときと同じ 状態で復元されます。本体の電源を切るため、「休止状態からの復帰」は 「スタンパイからの復帰」より遅くなります。

電源の状態によるランプとディスプレイの表示は、次の通りです。

電源の状態	電源ランプ	ディスプレイの表示	ディスプレイの電源ランプ
電源が入っている	緑色に点灯	表示される	緑色に点灯
電源が切れている	点灯しない	表示されない	オレンジ色に点灯
スタンバイ状態	オレンジ色に点灯	表示されない	オレンジ色に点灯
休止状態	点灯しない	表示されない	オレンジ色に点灯

使用するディスプレイによっては、黄色に見える場合があります。

電源の操作方法

電源を操作するには次の方法があります。詳しくは、後述の電源についての記載をご覧ください。

電源を入れる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
LANによるリモートパワーオン機能を利用する

電源を切る

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Windows Meの終了メニューから「終了」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオフ機能を利用する

スタンバイ状態にする

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Windows Meの終了メニューから「スタンバイ」を選択し、「OK」ボタンをクリック
する
「コントロールパネル」 「電源の管理」の「システムスタンバイ」で設定する

スタンバイ状態から復帰させる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
マウスを動かす。またはキーボードのキーを押す
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオン機能を利用する
FAXモデムによるリング機能を利用する

休止状態にする

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Windows Meの終了メニューから「休止状態」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
「コントロールパネル」 「 電源の管理 」の「 システム休止状態 」 で設定する

休止状態から復帰させる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオン機能を利用する
FAXモデムによるリング機能を利用する

電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)

電源を入れる

電源が切れている状態から電源を入れるには、必ず次の手順に従って正 しく電源を入れてください。

- ◆チェック! 電源を入れる操作は、電源が切れてから5秒以上の間隔をあけて行ってください。
 - フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライ ブに何もセットされていないことを確認する
 - 2 ディスプレイなど、周辺機器の電源を入れる
 - 3 本体の電源スイッチを押す
- チェック パ メモリを増設した場合、初期化のため、電源投入後ディスプレイの画面が表示 されるまでの時間は、メモリの組み合わせによって変わってきます。256MB を2枚増設した場合、約6秒かかります。
電源を切る

電源が入っている状態から電源を切るには、次の方法があります。

◆チェック? 電源投入後、Windows Meの起動中やアプリケーションの起動中には、電源 を切らないでください。マウスポインタが、砂時計表示されていないこと、お よびハードディスクアクセスランプやディスクアクセスランプが点灯してい ないことを確認してから電源を切るようにしてください。

「スタート」ボタンによる方法

- 1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する
- ◆チェック!? FAXモデムボードを搭載したモデルで通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを終了させてから、電源を切ってください。通信 状態のまま電源を切ると、回線が接続されたままになり、電話料金が加算され る場合があります。
 - 2 「スタート」ボタン「Windowsの終了」をクリック
 - 3 「終了」を選択して「OK」ボタンをクリック 本体の電源はソフトウェアによって自動的に切れますので、終了 処理中に電源スイッチを押さないでください。
 - 4 本体の電源が切れたことを確認したら、ディスプレイおよび周辺機器の電源を切る

電源スイッチによる方法

- 1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する
- 2 電源スイッチを押す

自動的に電源が切れます。

⚠注意

電源スイッチを押して電源を切る場合は、電源スイッチを4秒以上押さ ないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的に電源が 切れ、保存していないデータは失われてしまいます。 3 本体の電源が切れたことを確認したら、ディスプレイおよび周辺機器の電源を切る

メモ

- ・「電源の管理」では次の設定が行えます。
 - ・電源スイッチの変更(スタンパイ、休止状態、電源オフ)
 - ・ 電源の自動操作(システムスタンバイ、システム休止状態)
- ・ ソフトウェアのエラーなどで、Windows Meの操作ができなくなって しまった場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』トラブル解決Q&A」 をご覧ください。
- 参照 / 電源の管理」の設定の変更 Windows Meのヘルプ

スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)

本機での作業を一時中断する場合は、スタンバイ状態にすることによっ て電力の消費を節約することができます。なお、本機を電源スイッチに よってスタンバイ/スタンバイからの復帰を行うには、「電源の管理」の設 定を変更する必要があります。

- 参照 / 電源の管理」の設定の変更 Windows Meのヘルプ
- ✓ チェック!! スタンバイ/スタンバイ状態から復帰する操作は、電源ランプの色が変わって から5秒以上の間隔をあけて行ってください。

スタンバイ状態にする

電源が入っている状態から手動でスタンバイ状態にするには、次の方法 があります。

 チェック // リモートパワーオン機能を使用するため、「デバイスマネージャ」のネット ワークアダブタのプロパティで、「電源の管理」タブにおいて「コンピュータの スタンパイ解除の管理をこのデバイスで行う」をチェックした場合、ネット ワーク状態を最新の状態に更新するため不定期にスタンパイ状態が解除され る場合があります。 「スタート」ボタンによる方法

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリック
- 2 「スタンバイ」を選択して「OK」ボタンをクリック 電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンバイ状態になります。

電源スイッチによる方法

電源スイッチを押す
 電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンバイ状態になります。

⚠注意

電源スイッチを押してスタンバイ状態にする場合は、電源スイッチを4 秒以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制 的に電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

スタンバイ状態から復帰する

スタンバイ状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、次の 方法があります。

入力デバイスによる方法

- マウスを動かすか、キーボードのキーを押す
 電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、スタンバイ状態から 復帰します。
- ジチェック // 一度操作しても画面が元に戻らない場合は、もう一度マウスを動かすか、キー
 ボードのキーを押してください。

電源スイッチによる方法

1 電源スイッチを押す

電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、スタンパイ状態から 復帰します。

⚠注意

電源スイッチを押してスタンバイ状態から復帰する場合は、電源スイッ チを4秒以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると 強制的に電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

スタンバイ機能を使用するときの注意

スタンバイ機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを 守っていただけないと、スタンバイ状態にするときの作業中のデータが 失われたり、元通りに復帰できないこともあります。

スタンバイ状態にする前の内容が失われるとき

スタンバイ状態のときに次のことが起きると、スタンバイ状態にする ときの作業中のデータは失われます。

- ・ 電源ケーブルが本体やACコンセントから外れたとき
- ・ 停電が起きたとき
- 電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき

スタンバイ状態からの復帰が保証されないとき スタンバイ状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、または スタンバイ状態からの復帰中に次のようなことを行うと、スタンバイ 状態にするときの作業中のデータは保証されません。

・フロッピーディスクやCD-ROMを取り出したり、交換したとき

また、次のような状態でスタンバイ状態にすると、作業中のデータは保 証されません。

- ・システム変更作業(ドライバの設定やプリンタの追加)中のとき
- プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- CD-ROMなどを読み取り中のとき
- スタンバイ機能に対応していないアプリケーションを使用中のとき
- スタンパイ機能に対応していない周辺機器や拡張ボードを使用中のとき

- ・Windows Meの起動処理中、終了処理中のとき
- 通信用ソフトウェアでFAXモデムまたはLANなどを使ってネット ワークに接続しているとき

その他の注意

- 通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを 終了させてから、スタンバイ状態にしてください。通信状態のまま スタンバイ状態にすると、回線が接続されたままになり、電話料金 が加算される場合があります。
- CD-ROMドライブにフォトCDが入っているときにスタンバイ状態
 にした場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。
- CDの再生中にスタンバイ状態にした場合、CDは再生され続ける場合 があります。スタンバイ状態にする前にCDの再生を止めてください。
- SCSIインタフェースボードを使用している場合、接続されている機器によっては正しくスタンバイ状態から復帰できない場合があります。このような場合は、スタンバイ状態にしないでください。
- スタンバイ状態からの復帰を行った場合、本体はスタンバイ状態から復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合は、マウスを動かすかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示されます。

スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されないときの解決方法 次のような場合には、スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されな かったことを表しています。

- アプリケーションが動作しない
- ・スタンバイ状態にする前の内容を復元できない
- ・マウス、キーボード、電源スイッチを押してもスタンバイ状態から 復帰しない

このような状態になるアプリケーションを使用中には、スタンバイ機 能は使わないでください。万一、電源スイッチを押しても復帰できな かったときには、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。電源 ランプが消え、電源が強制的に切れます。この場合、BIOSセットアップ メニューの内容が、工場出荷時の状態に戻っていることがあります。必 要な場合は、再設定してください。

休止状態/休止状態からの復帰(電源の手動操作)

本機での作業を長時間中断する場合は、休止状態にすることによって電力の消費を節約することができます。なお、本機を電源スイッチによって休止状態/休止状態からの復帰を行うには、「電源の管理」の設定を変更する必要があります。

参照 / 電源の管理」の設定の変更 Windows Meのヘルプ

休止状態にする

電源が入っている状態から手動で休止状態にするには、次の方法があり ます。

- チェック? ・リモートパワーオン機能を使用するため、「デバイスマネージャ」のネット ワークアダプタのプロパティで、「電源の管理」タブにおいて「コンピュー タのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う」をチェックした場合、 ネットワーク状態を最新の状態に更新するため不定期に休止状態が解除 される場合があります。
 - ・ Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)を搭載しているモデルを ご利用の場合、SCSI機器を利用しているときは休止状態にはなりません ので設定はしないでください。

「スタート」ボタンによる方法

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリック
- 2 「休止状態」を選択して「OK」ボタンをクリック 作業状態をハードディスクドライブに保存し、本機の電源が切れ、 休止状態になります。

電源スイッチによる方法

1 電源スイッチを押す 作業状態をハードディスクドライブに保存し、本機の電源が切れ、 休止状態になります。

電源スイッチを押して休止状態にする場合は、電源スイッチを4秒以 押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的に 源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。	上電

休止状態から復帰する

休止状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、次の手順が あります。

1 電源スイッチを押す

Windows Meが起動し、前回休止状態機能を使用して電源を切ったときと同じ状態に復元されます。

休止状態機能を使用するときの注意

休止状態機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを 守っていただけないと休止状態にするときの作業中のデータが失われた り、元通りに復帰できないこともあります。

休止状態からの復帰が保証されないとき

休止状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、または休止状 態からの復帰中に次のようなことを行うと、休止状態にするときの作 業中のデータは保証されません。

- ・フロッピーディスクやCD-ROMを取り出したり、交換したとき
- ・周辺機器の構成を変更(取り付け/取り外し)したとき

また、次のような状態で休止状態にすると、作業中のデータは保証され ません。

- ・システム変更作業(ドライバの設定やプリンタの追加)中のとき
- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- CD-ROMなどを読み取り中のとき
- 休止状態機能に対応していないアプリケーションを使用中のとき
- 休止状態機能に対応していない周辺機器や拡張ボードを使用中の とき
- ・Windows Meの起動処理中、終了処理中のとき
- 通信用ソフトウェアでFAXモデムまたはLANなどを使ってネット ワークに接続しているとき

その他の注意

- ・通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを 終了させてから、休止状態にしてください。通信状態のまま休止状 態にすると、強制的に通信が切断されることがあります。
- CD-ROM ドライブにフォトCDが入っているときに休止状態にした 場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。

- 休止状態からの復帰を行った場合、ディスプレイに何も表示されない状態になることがあります。この場合は、マウスを動かすかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示されます。
- ・ SCSIインタフェースボードを使用している場合、休止状態にできま せん。SCSI機器をご利用になる場合は、本機が自動的に休止状態に ならないように設定を変更してください。

休止状態からの復帰が正しく実行されないときの解決方法 次のような場合には、休止状態からの復帰が正しく実行されなかった ことを表しています。

- アプリケーションが動作しない
- ・休止状態にする前の内容に復帰できない

・電源スイッチを押しても休止状態から復帰できない このような状態になるアプリケーションを使用中には、休止状態機能 は使わないでください。万一、電源スイッチを押しても復帰できなかっ たときには、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。電源ラン プが消え、電源が強制的に切れます。

この場合、BIOSセットアップメニューの内容が工場出荷時の状態に 戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

電源の自動操作

タイマ、LAN(ローカルエリアネットワーク)回線からのアクセスによって、自動的に電源の操作を行うことができます。

 チェック? タイマ、LAN、FAXモデムの自動操作によるスタンバイ状態からの復帰を 行った場合、本体はスタンバイから復帰しているのに、ディスプレイには何も 表示されない状態になることがあります。この場合、マウスを動かすかキー ボードのキーを押すことによってディスプレイが表示されます。 タイマ

「電源の管理」の「システムスタンバイ」、「システム休止状態」

「コントロールパネル」「電源の管理」の「システムスタンパイ」を設定 しておくと、設定した時間を経過しても、マウスやキーポードからの入 力およびハードディスクドライブへのアクセスなどがない場合、自動 的にディスプレイの電源を切ったり、スタンパイ状態にすることがで きます。

また、「コントロールパネル」「電源の管理」の「システム休止状態」を 設定しておくと、設定した時間を経過しても、マウスやキーボードから の入力およびハードディスクドライブへのアクセスなどがない場合、 自動的に休止状態にすることができます。工場出荷時の「電源オプショ ン」は次のように設定されています。

ジチェック!! Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)を搭載しているモデルをご利 用の場合、SCSI機器を利用しているときは休止状態にはなりませんので「電 源の管理」の「システム休止状態」は設定しないでください。

「電源の管理」 の設定 本体	モニタの 電源を切る	ハードディスク の電源を切る	システム スタンバイ	システム 休止状態
エネルギースター対応	約15分	約30分	なし	約20分
エネルギースター未対応	約15分	約30分	なし	なし

参照 / 電源の管理」の設定の変更 Windows Meのヘルプ

メモ

エネルギースター対応のモデルは、省エネのため工場出荷時に休止状態 になるように設定してあります。本機が該当するかは、型番を調べればわ かりますので、『はじめにお読みください 省スペース型、デスクトップ 型、ミニタワー型』をご覧ください。 Timer-NX

「Timer-NX」のタイマ機能およびオフタイマ機能を使って、指定した時刻に電源を切る、またはスタンバイ状態/休止状態から復帰することができます。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」 「Timer-NX」Timer-NXのオンラインヘルプ

リモートパワーオン機能(LANボードによる電源の自動操作)

LAN(ローカルエリアネットワーク)経由で、離れたところにあるパソコンの電源を操作する機能です。

 Mateセキュリティ/マネジメント機能 「マネジメント機能」リモートパワーオン機能(Remote Power On機能)(P.126)

 ILAN(ローカルエリアネットワーク)ボード 「リモートパワーオン機能の設定について(Windows Meの場合)(P.110)

リング機能(FAXモデムによる電源の自動操作)

FAXモデムボードが内蔵されているモデルでは、FAXや電話を受信した 場合にスタンバイ状態または休止状態から復帰することができます。電 源を入れることはできません。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」 「Timer-NX」Timer-NXのオンラインヘルプ



電源(Windows 98**の場合)**

ここでは電源の入れ方と切り方や省電力機能について説明します。電源の切り方を間違えるとデータやプログラム、本機がこわれてしまうことがあるので、特に注意してください。

電源の状態と操作方法

電源の状態

本体の電源の状態には次のように「電源が切れている状態」電源が入っている状態」スタンバイ状態」の3つの状態があります。



電源が切れている状態

Windows 98を終了するなどして本体の使用を終了している状態です。

電源が入っている状態

通常、本体を使用している状態です。

スタンバイ状態

作業中のデータを一時的にメモリに保存し、ハードディスクドライブ などのモータを停止する、ディスプレイを省電力の状態にするなどし て消費電力を抑えますが、メモリ内のデータを保持するための電力は 供給されている状態です。作業中の内容がメモリ内に保存されている ため、スタンバイ状態から復帰するときは素早く元の状態に戻ります。

電源の状態によるランプとディスプレイの表示は、次の通りです。

電源の状態	電源ランプ	ディスプレイの表示	ディスプレイの電源ランプ
電源が入っている	緑色に点灯	表示される	緑色に点灯
電源が切れている	点灯しない	表示されない	オレンジ色に点灯
スタンバイ状態	オレンジ色に点灯	表示されない	オレンジ色に点灯

使用するディスプレイによっては、黄色に見える場合があります。

電源の操作方法

電源を操作するには次の方法があります。詳しくは、後述の電源についての記載をご覧ください。

電源を入れる

電源の操作方法			
電源スイッチを押す			
Timer-NXを利用する			
LANによるリモートパワーオン機能を利用する			

電源を切る

電源の操作方法			
電源スイッチを押す			
Windows 98の終了メニューから「電源を切れる状態にする」を選択し、「OK」ボ			
タンをクリックする			
Timer-NXを利用する			
LANによるリモートパワーオフ機能を利用する			

スタンバイ状態にする

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Windows 98の終了メニューから「スタンバイ」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
「コントロールパネル」 「 電源の管理」の「システムスタンバイ」で設定する
BIOSセットアップメニューで「自動サスペンドタイムアウト」を設定する

スタンバイ状態から復帰させる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
マウスを動かす。またはキーボードのキーを押す
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオン機能を利用する
FAXモデムによるリング機能を利用する

電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)

電源を入れる

電源が切れている状態から電源を入れるには、必ず次の手順に従って正 しく電源を入れてください。

- ◆チェック: 電源を入れる操作は、電源が切れてから5秒以上の間隔をあけて行ってください。
 - 1 フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライ ブに何もセットされていないことを確認する
 - 2 ディスプレイなど、周辺機器の電源を入れる
 - 3 本体の電源スイッチを押す
- チェック // メモリを増設した場合、初期化のため、電源投入後ディスプレイの画面が表示 されるまでの時間は、メモリの組み合わせによって変わってきます。256MB を2枚増設した場合、約6秒かかります。

電源を切る

電源が入っている状態から電源を切るには、次の方法があります。

「スタート」ボタンによる方法

- 1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する
- ◆チェック! FAXモデムボードを搭載したモデルで通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを終了させてから、電源を切ってください。通信 状態のまま電源を切ると、回線が接続されたままになり、電話料金が加算され る場合があります。
 - 2 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリック

- 3 「電源を切れる状態にする」を選択して「OK」ボタンをクリック 本体の電源はソフトウェアによって自動的に切れますので、終了 処理中に電源スイッチを押さないでください。
- 4 本体の電源が切れたことを確認したら、ディスプレイおよび周辺機器の電源を切る

電源スイッチによる方法

- 1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する
- 2 電源スイッチを押す 「Windowsを終了します。よろしいですか? OK/キャンセル」と表 示されます。

<u>∕∖注意</u>

電源スイッチを押して電源を切る場合は、電源スイッチを4秒以上 押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的に 電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

- 3 「OK」ボタンをクリック 自動的に電源が切れます。
- 4 本体の電源が切れたことを確認したら、ディスプレイおよび周辺機器の電源を切る

メモ

ソフトウェアのエラーなどで、Windows 98の操作ができなくなってし まった場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』トラブル解決Q&A」をご 覧ください。

スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)

本機での作業を一時中断する場合は、スタンバイ状態にすることによっ て電力の消費を節約することができます。なお、本機を電源スイッチに よってスタンバイ/スタンバイからの復帰を行うには、システムスイッチ を変更する必要があります。

- ジステムスイッチの変更「PART2 システム設定(省スペース型、ミニタ ワー型の場合)」「Powerの設定(Windows 98のAPMモードの場合)」 (P.155)「PART3 システム設定(デスクトップ型の場合)」「Power Management Setupの設定(Windows 98のAPMモードの場合)」(P.178)
- ✓ チェック パイ/スタンバイ状態から復帰する操作は、電源ランプの色が変わって から5秒以上の間隔をあけて行ってください。

スタンバイ状態にする

電源が入っている状態から手動でスタンバイ状態にするには、次の方法 があります。

「スタート」ボタンによる方法

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリック
- 2 「スタンバイ」を選択して「OK」ボタンをクリック 電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンバイ状態になります。

電源スイッチによる方法

電源スイッチを押す
 電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンバイ状態になります。

<u>____注意</u>

電源スイッチを押してスタンバイ状態にする場合は、電源スイッチを 4秒以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると 強制的に電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。 スタンバイ状態から復帰する

スタンバイ状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、次の 方法があります。

入力デバイスによる方法

- - マウスを動かすか、キーボードのキーを押す
 電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、スタンパイ状態から 復帰します。

電源スイッチによる方法

 電源スイッチを押す
 電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、スタンパイ状態から 復帰します。

⚠注意

電源スイッチを押してスタンバイ状態から復帰する場合は、電源ス イッチを4秒以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し 続けると強制的に電源が切れ、保存していないデータは失われてし まいます。

↓ LANボードを搭載したモデルの場合、接続先がないと起動やスタンバイからの復帰が20秒ほど長くなることがあります。このような場合は、『活用ガイドソフトウェア編』トラブル解決Q&A 」電源を入れたが…」を参照して、設定の変更を行ってください。

スタンバイ機能を使用するときの注意

スタンバイ機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを 守っていただけないと、スタンバイ状態にするときの作業中のデータが 失われたり、元通りに復帰できないこともあります。

スタンバイ状態にする前の内容が失われるとき スタンバイ状態のときに次のことが起きると、スタンバイ状態にする ときの作業中のデータは失われます。

- ・ 電源ケーブルが本体やACコンセントから外れたとき
- ・停電が起きたとき

・電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき このような場合は、次に電源を入れたときに、「Windowsが正しく終了さ れませんでした…」と表示されますので、画面の指示に従ってください。

スタンバイ状態からの復帰が保証されないとき

スタンバイ状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、または スタンバイ状態からの復帰中に次のようなことを行うと、スタンバイ 状態にするときの作業中のデータは保証されません。

- ・フロッピーディスクやCD-ROMを取り出したり、交換したとき
- ・LANケーブルの抜き差しをするなど、本機の環境や構成を変更した とき

また、次のような状態でスタンバイ状態にすると、作業中のデータは保 証されません。

- ・システム変更作業(ドライバの設定やプリンタの追加)中のとき
- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- CD-ROMなどを読み取り中のとき
- スタンバイ機能に対応していないアプリケーションを使用中のとき
- スタンバイ機能に対応していない周辺機器や拡張ボードを使用中のとき
- ・ Windows 98の起動処理中、終了処理中のとき
- ・通信用ソフトウェアでFAXモデムまたはLANなどを使ってネット ワークに接続しているとき スタンパイ状態では、ネットワーク機能がいったん停止します。し たがって、ネットワークを使用するアプリケーションによっては、 スタンパイ状態になったときに、データが失われることがありま す。ネットワークを使用するアプリケーションを実行する場合は、 システム管理者に確認の上、スタンパイ機能を使用してください。

その他の注意

- 通信ソフトウェアを使用中の場合は、通信ソフトウェアを終了させてから、スタンパイ状態にしてください。通信状態のままスタンパイ状態にすると、回線が接続されたままになり、電話料金が加算される場合があります。
- CD-ROMドライブにフォトCDが入っているときにスタンバイ状態にした場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。

- ・ CDの再生中にスタンバイ状態にした場合、CDは再生され続ける場合 があります。スタンバイ状態にする前にCDの再生を止めてください。
- ・ ネットワークの設定がTCP/IPでDHCPサーバーを使用する設定に なっていると、起動時やスタンバイ状態から復帰の際に、通常より 20秒ほど時間がかかることがあります。このような場合は、『活用ガ イド ソフトウェア編』トラブル解決Q&A」の「電源を入れたが…」 をご覧ください。

スタンパイ状態からの復帰が正しく実行されないときの解決方法 次のような場合には、スタンパイ状態からの復帰が正しく実行されな かったことを表しています。

- アプリケーションが動作しない
- ・ スタンバイ状態にする前の内容を復元できない
- マウス、キーボード、電源スイッチを押してもスタンパイ状態から 復帰しない

このような状態になるアプリケーションを使用中には、スタンバイ機能は使わないでください。万一、電源スイッチを押しても復帰できなかったときには、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。電源ランプが消え、電源が強制的に切れます。この場合、BIOSセットアップメニューの内容が、工場出荷時の状態に戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

電源の自動操作

タイマやLAN(ローカルエリアネットワーク)回線からのアクセスによって、自動的に電源の操作を行うことができます。

タイマ

BIOSセットアップメニュー BIOSセットアップメニューの「Power」の「Auto Suspend Timeout」 を設定しておくと、設定した時間を経過しても、マウスやキーボードか らの入力およびハードディスクへのアクセスがない場合、自動的にサ スペンド状態にすることができます。

「電源の管理」の「システムスタンバイ」

「コントロールパネル」「電源の管理」の「システムスタンパイ」を設定 しておくと、設定した時間を経過しても、マウスやキーボードからの入 力およびハードディスクドライブへのアクセスなどがない場合、自動 的にディスプレイの電源を切ったり、スタンパイ状態にすることがで きます。工場出荷時は約15分でディスプレイの電源を、約30分でハー ドディスクドライブの電源を切るように設定されています。

 ◆チェック! ACPIモードで使用時に、「スタート」ボタン 「コントロールパネル」の「電源の管理」をダブルクリックし、「システムスタンパイ」の設定時間を、「モニタの 電源を切る」の設定時間よりも長くした場合、「システムスタンパイ」ば、モニタの マの電源を切る」が実行されてからの時間となります。よって、次のような設定がなされている場合、実際にシステムスタンパイが実行されるのは、「モニタの電源を切る」の20分後である35分後となります。

「システムスタンバイ」 20分後

「モニタの電源を切る」 15分後

「システムスタンバイ」を20分後に設定したい場合は、次のように設定してください。

例1:

「システムスタンバイ」 15分後

「モニタの電源を切る」 5分後

例2:

「システムスタンバイ」 20分後

「モニタの電源を切る」 なし

参照 「電源の管理について(APMモード/ACPIモード)(P.56) Windows 98の ヘルプ

Timer-NX

「Timer-NX」のタイマ機能およびオフタイマ機能を使って、指定した時 刻に電源を入れる/切る、またはスタンバイ状態から復帰することがで きます。「Timer-NX」で指定した時刻に電源を入れることができるの は、APMモードで使用しているときだけです。ACPIモードでは使用で きません。

参照/「**電源の管理について(** APMモード/ACPIモード)(P.56)

『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」 「Timer-NX」、Timer-NXのヘルプ リモートパワーオン機能(LANボードによる電源の自動操作)

LAN(ローカルエリアネットワーク)経由で、離れたところにあるパソコンの電源を操作する機能です。

 Mate セキュリティ/マネジメント機能 「マネジメント機能」リモートパワーオン機能 (Remote Power On機能)(P.126)

 FLAN(ローカルエリアネットワーク)ボード 「リモートパワーオン機能の設定について(Windows 98の場合)(P.113)

リング機能(FAXモデムによる電源の自動操作)

FAXモデムボードが内蔵されているモデルでは、FAXや電話を受信した 場合にスタンバイ状態から復帰することができます。電源を入れること はできません。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」 「Timer-NX」Timer-NXのヘルプ

電源の管理について(APMモード/ACPIモード)

本機では、電力を節約する機能を使うための電源管理のモードとして、 APMモードとACPIモードの2つのモードを使うことができます。本機は 工場出荷時の状態では、APMモードに設定されています。

■ ■ APMモード

APM(Advanced Power Management)を使って電源の管理を行うモー ドです。APMとは本体や周辺機器の電源の管理を、BIOSやデバイスドラ イバなどのソフトウェアで行うためのしくみです。

ACPIE-F

ACPI(Advanced Configuration and Power Interface)を使って電源の 管理を行うモードです。ACPIとは、本体や周辺機器の電源の管理をOSや デバイスドライバなどのソフトウェアで行うためのしくみで、Windows 98で実現できるようになりました。 モードの確認

どちらのモードで動作しているかば「デバイスマネージャ」で確認でき ます。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリック
- 2 「システム」をダブルクリック
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリック
- 4 「システムデバイス」をクリック 以下の情報が表示されます。
 - ・ APMモードのとき:アドバンストパワーマネージメントサポート
 - ・ACPIモードのとき:ACPIxxxxx

APMモードからACPIモードへの切り替え方法

APMモードからACPIモードへ切り替える際には、Windows 98に関して 十分知識がある方が作業するようにしてください。

- ◆チェック ?? ・ ACPIモードでは、パワーマネジメント管理用に割り込みを1つ使用します。ACPIモードへの切り替えは、使用していない割り込み(IRQ)を確認してから行ってください。
 - モードの切り替えは、購入時のセットアップ直後か、再セットアップの直後に行ってください。
 - APMモード(工場出荷時)からACPIモードに切り替えた後、ACPIモード からAPMモードに戻すには再セットアップが必要です。
 - 参照 再セットアップ 『活用ガイド 再セットアップ編』(Windows 98インス トールモデル)
 - **1** 「スタート ボタン 「プログラム」「エクスプローラ をクリック
 - 2 エクスプローラから「C: ¥MODECHG¥ACPI_APM.VBS」を ダブルクリック
 - 3 「現在、ACPIが無効です。ACPIを有効に設定する場合はOKボ タンを押して下さい。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

- **4** 「ACPIを有効にする準備ができました。」と表示されたら、「OK」 ボタンをクリック
- 5 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル をクリック
- 6 「ハードウェアの追加」をダブルクリック
- 7 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面で「次へ」ボタン をクリック
- 8 「システムにあるプラグアンドプレイ機器を検索します。」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 9 「インストールするデバイスは一覧にありますか?」と表示された場合、「デバイスは一覧にない」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
- 10 「プラグアンドプレイ以外の新しいハードウェアが自動的に検 索されます。」と表示されたら、「はい(通常はこちらを選んでくだ さい)」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
- 11 「プラグアンドプレイで検出されなかった新しいデバイスを検 索します。」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック ハードウェアの検出が始まります。
- 12 「ハードウェアの検出が完了し、インストールの準備ができました。」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック
- - Windows 98のCD-ROMをセットするように要求するメッセージが表示 された場合は、本体ハードディスクにあるC:¥WINDOWS¥OPTIONS¥ CABSフォルダを指定して、ドライバの組み込みを行ってください。
 - APMモードからACPIモードへの切り替えを実行すると、ディスプレイの 設定が640×480の16色モードになる場合があります。切り替え完了後、画 面のプロパティで元の設定に再設定してください。

- **13** ハードウェアウィザード終了後、「コンピュータを再起動して ください」と表示されるので「はい」ボタンをクリック
- ♥チェック ※中で再起動を促す画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックして ください。
 - 14 「スタート」ボタン 「プログラム」「エクスプローラ」をクリック
 - **15** エクスプローラから「C:¥MODECHG¥APMOFF2.REG」をダ ブルクリック
 - 16 「情報をレジストリに追加しますか?」と表示されるのではい」 ボタンをクリック
 - **17** 「レジストリに正しく入力されました。」と表示されたら、「OK」 ポタンをクリック

APMモードからACPIモードへの切り替え後の注意

3モードFDドライバの再セットアップの設定があります。なお、ACPI モードに変更後にリモートパワーオン機能を使用する場合、「LAN(ロー カルエリアネットワーク)ボード」「リモートパワーオン機能の設定につ いて(Windows 98の場合)(P.113)をご覧ください。

3モードFDドライバの再セットアップ APMモードからACPIモードへ切り替え後、1.2MBフロッピーディス クが使用できなくなった場合は、以下の手順で3モードFDドライバを 組み込み直してください。

- 1 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2 「システム」をダブルクリック
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリック
- **4** リストの中から「フロッピーディスクコントローラ」をダブル クリック

5 表示されたドライバ名の中に以下のドライバが存在するか確 認する

省スペース型の場合

「NEC 3-mode Floppy(LPC47B27x)」

デスクトップ型およびミニタワー型の場合

^rWinbond 3-mode Floppy Controller J

- チェック パ ここで「フロッピーディスクコントローラ」の下に「NEC 3-mode Floppy (LPC47B27x)または「Winbond 3-mode Floppy Controller」が存在し なかった場合には、6~9の手順は必要ありません。手順10へ進んでください。
 - 6 「NEC 3-mode Floppy(LPC47B27x)よたば Winbond 3mode Floppy Controller」をクリックして反転表示させて 「削除」ボタンをクリック
 - 7 「デバイス削除の確認」が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
 - 8 「システムのプロパティ」の「閉じる」ボタンをクリック
 - 9 Windows 98を再起動する
- ◆チェック!
 「再起動後にディスプレイの解像度や色数が変更されることがあります。その
 場合は、手順19が終了した後に、ディスプレイの表示の設定を変更して元の
 解像度、色数に戻してください。
 - 10 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
 - 11 「ハードウェアの追加」をダブルクリック
- チェック // 新しいハードウェアデバイスをインストールする前に、実行中のアプリケー ションがある場合にはすべて終了させてください。
 - 12 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示された ら、「次へ」ボタンをクリック
 - 13 「システムにあるプラグ アンド プレイ機器を検索します。」と 表示されたら、「次へ」ボタンをクリック 検索が開始されます。

- 14 「インストールするデバイスは一覧にありますか?」と表示された場合は、「デバイスは一覧にない」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
- 15 「プラグ アンド プレイ以外の新しいハードウェアが自動的に 検出されます。」と表示されたら、「いいえ(一覧から選択する)」 をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
- 16 「ハードウェアの種類」のリストの中から「フロッピーディスク コントローラ」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
- 17 製造元とモデルを選択する画面が表示されるので、製造元から ば NEC」または「Winbond Electronics Corp」をモデル一覧 からは以下のドライバを選択し、「次へ」ボタンをクリック

省スペース型の場合

NEC 3-mode Floppy(LPC47B27x)

デスクトップ型およびミニタワー型の場合 「Winbond 3-mode Floppy Controller」

- 18 「完了」ボタンをクリック ファイルのコピーが始まります。
- **19** 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

以上で3モードFDドライバの組み込みは完了です。

ACPIモード時の注意事項

ACPIモード時にパワーマネージメント機能を使用する場合は、次の点に 注意してください。

・MS-DOSプロンプトが一番手前に表示されているときにスタンバイ状態にすると、スタンバイ状態から復帰させても画面が正常に表示されない場合があります。その場合には、【Alt】+【Tab】を押してタスクを切り替えることにより正常に動作するようになります。

キーボード

ここでは、さまざまなキーボード、日本語入力、キーボードの使用上の注 意について説明します。

参照 キーボード Windowsのヘルプ

添付されるキーボードの種類

本機に添付されるキーボードには、接続するインタフェース、キーの配列などの違いにより、次の種類のキーボードがあります。

キーボードの種類・名称		インタフェース	キー配列
PS/2接続のキーボード	PS/2 109キーボード		109配列
	テンキー付きPS/2小型キーボード	P5/2	109準拠
USB接続のキーボード	USB109キーボード		109配列
	USB小型キーボード	USB	109準拠
	USB98配列キーボード		98配列

使用上の注意

Nキーロールオーバ

Nキーロールオーバとは、複数のキーを同時に押した場合に、最後に入力 したキーが有効となる機能です。ただし、本機のキーボードは類似Nキー ロールオーバのため、複数のキーを同時に押した場合には、正常に表示さ れないことや有効にならないことがあります。

USB接続のキーボードの抜き差し

電源が入った状態でUSB接続のキーボードを抜き差しする場合、USB接続のキーボードが取り外されたことや取り付けられたことを、本体が認識するためには数秒~10秒程度必要です。瞬間的な抜き差しを繰り返す とキーボード入力ができなくなることがあります。

キーボード入力ができなくなってしまった場合は、USB接続のキーボードを正しく接続した後に、電源スイッチを4秒以上押し続けて強制的に電源を切り、Windowsを再起動してください。

98... APMモードからACPIモードへの切り替え後の注意

USB98記列キーボードの場合、APMモードからACPIモードへの切り替えを実行すると、キーボードの設定が106日本語(A01)」に変わってしまいます。切り替え完了後、再設定してください。 設定方法については、「Mate電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック、または「スタート」ボタン「プログラム」「補足説明」をご覧ください。

MA10T/M**および**MA80T/Mをご利用の場合

PS/2接続コネクタから電源供給を必要とする周辺機器を使用する場合 は、PS/2接続キーボードコネクタに接続してください。

PS/2 109キーボード、USB109キーボード、テンキー付きPS/2小型キーボード

キーの名称

キーボード上には、文字を入力するキーの他に、ソフトウェアの操作に使う特殊なキーがあります。これらのキーの機能は使用するソフトウェアによって異なります。()内はテンキー付きPS/2小型キーボードの場合のキーです。

PS/2 109キーボード、USB109キーボードの場合







テンキー付きPS/2小型キーボードの場合

↑ ↓ → ← : カーソル移動キー	(📼): Fn キー 【 Fn 】を押しながら
	カーソル移動キーを押すと、
Num Lock : ニューメリックロックキー	【Page Up X Page Down】
一度押すとニューメリック	【End】Home】にすること
ロックし、Num Lockラン	ができます。
プが点灯します。「キーを	
ロックする」	

参照 Windowsキーとアプリケーションキー Windowsのヘルプ

キーをロックする

【Caps Lock 】Num Lock 】Scroll Lock 】は、ロックされているときと、 ロックされていないときでキーの機能が異なります。 それぞれのキーがロックされているときはキーボード上部のランプが点 灯します。

	ロックされているとき	ロックされていないとき	
	英字が大文字で入力され	英字が小文字で入力され	
LCaps Lock	ます。	ます。	
	キー前面に表示されてい キー上面の文字が入		
【Num Lock】	る数字や記号が入力され	れます。	
	ます。		
【Scroll Lock】	アプリケーションによって機能が異なります。		

USB**小型キーボード**

キーの名称

キーボード上には、文字を入力するキーの他に、ソフトウェアの操作に使 う特殊なキーがあります。これらのキーの機能は使用するソフトウェア によって異なります。







参照 Windowsキーとアプリケーションキー Windowsのヘルプ

キーをロックする

キーのロックについては、「キーをロックする (P.65)をご覧ください。

USB98配列キーボード

キーの名称

キーボード上には、文字を入力するキーの他に、プログラムの操作に使う 特殊なキーがあります。これらのキーの機能は使用するプログラムに よって異なります。



vf•3 Num Lock

テンキー

- CAPS : ++777+-
- [ゕぉ]:かなキー
- СОРҮ : コピーキー
- f・1 ~ f・10 vf・1 ~ vf・2 :ファンクションキー

- : Windows Meでは、Num Lockは常にONになって います。DOSモード/DOS プロンプト上またはWindows NTではNum Lock の切り替えが可能です。
- Windows Meではファン クションキーとして動作 します。DOSモード/DOS プロンプト上ではScroll Lockとして動作します。



◆チェック ?? 下記は、使用しているモードによって動作が異なりますので注意してください。

キー入力	Windows	DOSモード/DOSプロンプト
半角カナ入力	可能	不可
テンキー【=】、【 】	可能	不可
【`】または【SHIFT】+【^】	[']	[]
【】または【SHIFT】+【 】	[]	[`]
[3]	入力なし	[¥]
日本語入力切り替え	【CTRL】+【XFER】または【XFER】	【GRPH】+【vf.5】
【Num Lock】切り替え	不可	可能
【vf.3】	【vf.3】	【Num Lock】
【vf.4】	【vf.4】	[Scroll Lock]
【vf.5】	【vf.5】	【半角/全角】
【CAPS】切り替え	[CAPS]	[SHIFT]+[CAPS]

参照 Windowsキーとアプリケーションキー Windowsのヘルプ

日本語入力

漢字やひらがななどの日本語を入力するには、日本語入力プログラムを 使います。本機では各モデルごとに以下の日本語入力プログラムが使用 できます。

Me... Windows Meの場合

日本語入力 プログラム	アプリケーション レスモデル	Office 2000 Personalモデル および Office 2000 Professionalモデル	ー太郎10・花子10 パック & 1-2-3 2000モデル
MS-IME2000			
ATOK13			

:インストールされており、工場出荷時に標準で使用する設定になっている日本語入力プログラム

:インストールされている日本語入力プログラム

98... Windows 98の場合

日本語入力 プログラム	アプリケーション レスモデル	Office 2000 Personalモデル および Office 2000 Professionalモデル	ー太郎10・花子10 パック & 1-2-3 2000モデル
MS-IME98			
MS-IME2000			
ATOK13			

:インストールされており、工場出荷時に標準で使用する設定になっている日本語入力プログラム

: インストールされている日本語入力プログラム

日本語入力のオン/オフ

日本語入力のオン/オフを切り替えるには次の方法があります。

PS/2 109キーボード、テンキー付きPS/2小型キーボード、USB109 キーボード、USB小型キーボードの場合

- ・キーボードの【Alt 】を押しながら【半角/全角/漢字】を押す
- タスクパーの右下の / をクリックし、表示されるメニューから選 択する

USB98記列キーボードの場合

- ・【CTRL】を押しながら【XFER】を押す
- タスクパーの右下の / をクリックし、表示されるメニューから選 択する
- NEC 98 Layout Keyboard(XFER)を設定した場合、MS-IME 98、MS-IME 2000で【XFER]で日本語入力をOFFにすることはできません。【XFER]で日本語入力をOFFにできるようにするには、「Microsoft IME 98詳細プロパティ」または「Microsoft IME 2000詳細プロパティ」の「キーの設定」で、【変換】の「入力/変化済み文字なし」の設定を「再変換」から「-」に変更してください。

日本語変換の手順

日本語の変換にはさまざまな方法があります。詳しくは、MS-IMEまたは ATOK13のヘルプをご覧ください。

メモ

日本語変換のヘルプを表示するには、ツールバーのヘルプアイコンをク リックしてください。

USB 接続のキーボードの使用上の注意

USB接続のキーボード(USB109キーボード、USB小型キーボード、 USB98配列キーボード)の裏面には、USB機器を接続するためのハブが 装備されています。1つは標準添付のスクロールボタン付きマウスが接続 されます。ハブを2つ装備しているキーボードの残りの1つには別売の USB機器を接続できますが、次の制限があります。



電源容量による接続の制限

・USB接続のキーボードのUSBハブは、USBバスパワードハブと呼ばれるハブで、電源が接続先から供給されて動作するハブです。 USB機器には、接続先に要求する電源の容量によって、「ハイパワーデバイス」と「ローパワーデバイス」の2種類に分類されます。USB接続のキーボードに接続できるUSB機器は、ローパワーデバイス」のものに限られます。

メモ

ハイパワーデバイス: 接続先に500mA以下の電源を要求するUSB機器。

例)PK-UP001 (フルカラーイメージスキャナ)

PK-MC202E**(デジタルビデオカメラ)**

ローパワーデバイス: 接続先に100mA以下の電源を要求するUSB機器。 例)PK-UP004E、PK-UP00&(バーコードリーダ)

USBの仕様では、USB機器は最大5段まで縦列接続が可能ですが、実際のシステム運用上では2段までの縦列接続でご使用になってください。


マウスについて

本機に添付されるマウスはスクロールボタン付きマウスです。



マウスのクリックとは、マウスのボタンを押して離す操作です。特に指定がない場合は左ボタンを使います。

スクロールボタン付きマウスのスクロールボタンの使い方

通常はスクロールボタンを上に押し続けたり、手前へ引き続けることで 上下にスクロールします。 また、スクロールボタンをクリックしたり、押し続けたときにスクロール アイコンが表示されます。その場合は、三角マークの方向にマウスを動か

アイコンが表示されます。その場合は、三角マークの方向にマリスを動か すと画面を上下にスクロールさせることができます。スクロールボタン を再度クリックしたり、指を離すとスクロールアイコンが消えます。

ディスプレイ

本機には、ウィンドウアクセラレータ機能が標準で搭載されています。お 使いの用途に応じた解像度や表示色に切り換えて使用できます。

参照 ディスプレイ Windowsのヘルプ

使用上の注意

- ・リフレッシュレード(垂直走査周波数)の設定値はセットアップが完了 したときに、本体とディスプレイの組み合わせで最も適した値に自動 的に設定されます。通常ご使用になるときは設定を変更しないでくだ さい。機種によってはリフレッシュレード(垂直走査周波数)の設定を 「画面のプロパティ」で変更できる場合がありますが、ディスプレイが サポートしていないリフレッシュレートを設定すると画面が乱れるこ とがあります。
- ・使用するディスプレイによっては、特定の表示ができなかったり、画面の位置、サイズなどの調整が必要な場合があります。調整方法については、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。なお、液晶ディスプレイの場合は、「液晶ディスプレイ調整ツール」を利用すると簡単に画面の調整が行えます。デジタル液晶ディスプレイ(F14T52、F15S32、F15T42)の場合は調整不要です。
- 参照 液晶ディスプレイ調整ツール 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケー ションの概要と削除/追加」の「液晶ディスプレイ調整ツール」
 - デジタルインタフェースを持つディスプレイとアナログインタフェー スを持つディスプレイを同時に利用することはできません。
 - 次の別売のディスプレイは使用できません。

PC-KM174 PC-KM212

表示能力

本機で表示可能な解像度、表示色、水平走査周波数、垂直走査周波数の関係は次の表の通りです。

省スペース型、デスクトップ型



液晶ディスプレイの場合

本機の表示能力			セレクションメニューで選択できる ディスプレイとの対応				
解像度 [ドット]	表示色	水平走査 周波数 [KHz]	垂直走査 周波数 [Hz]	14型 デジタル 液晶ディス プレイ (F14T52)	15型 デジタル 液晶ディス プレイ (F15S32) (F15T42)	15.4型 液晶ディス プレイ (F15R42W)	18型 液晶ディス プレイ (F18S1W)
	256色	31.5	60				
640×480	65,536色	37.5	75	×	×		
	1,677万色	43.3	85	×	×	×	×
	256色	37.9	60				
800×600	65,536色	46.9	75	×	×		
	1,677万色	53.7	85	×	×	×	×
	256色	48.4	60				×
1,024×768	65,536色	60.0	75	×	×		
	1,677万色	68.7	85	×	×	×	×
	256色	64.0	60	×	×		
1,280×1,024	65,536色	80.0	75	×	×		
	1,677万色	91.1	85	×	×	×	×
		75.0	60	×	×	×	×
1,600×1,200	256色	93.8	75	×	×	×	×
		106.3	85	×	×	×	×

デジタル液晶ディスプレイ(F14T52、F15S32、F15T42)の垂直走査周 波数の設定は、60Hz固定です。



CRTディスプレイの場合

本機の表示能力			セレクションメニューで選択できる ディスプレイとの対応			
解像度 [ドット]	表示色	水平走査 周波数 [KHz]	垂直走査 周波数 [Hz]	15型 CRTディ スプレイ (DV15A3)	17型 CRTディ スプレイ (DV17D2)	19型 CRTディ スプレイ (FE90)
	256色	31.5	60			
640×480	65,536色	37.5	75			
	1,677万色	43.3	85			
	256色	37.9	60			
800×600	65,536色	46.9	75			
	1,677万色	53.7	85			
	256色	48.4	60			
1,024×768	65,536色	60.0	75			
	1,677万色	68.7	85			
	256色	64.0	60	×		
1,280×1,024	65,536色	80.0	75	×	×	
	1,677万色	91.1	85	×	×	
		75.0	60	×	×	
1,600×1,200	256色	93.8	75	×	×	
		106.3	85	×	×	×

MA15S/M

液晶ディスプレイの場合

本機の表示能力				セレクションメニューで選択できるディスプレイとの対応			
解像度 [ドット]	表示色	水平走査 周波数 [KHz]	垂直走査 周波数 [Hz]	14型 液晶ディス プレイ (F14T41W)	15型 液晶ディス プレイ (F15T2W)	15.4型 液晶ディス プレイ (F15R42W)	18型 液晶ディス プレイ (F18S1W)
	256色	31.5	60				
640×480	65,536色	37.5	75				
	1,677万色	43.3	85	×	×	×	×
	256色	37.9	60				
800×600	65,536色	46.9	75				
	1,677万色	53.7	85	×	×	×	×
	256色	48.4	60	×	×		×
1,024×768	65,536色	60.0	75				
	1,677万色	68.7	85	×	×	×	×
	256色	64.0	60	×	×		
1,280×1,024	65,536色	80.0	75	×	×		
	1,677万色	91.1	85	×	×	×	×
	256色	75.0	60	×	×	×	×
1,600×1,200	65,536色	93.8	75	×	×	×	×
	1,677万色	106.3	85	×	×	×	×

CRTディスプレイの場合

本機の表示能力			セレクションメニューで選択できる ディスプレイとの対応			
解像度 [ドット]	表示色	水平走査周 波数 [KHz]	垂直走査周 波数 [Hz]	15型 CRTディス プレイ (DV15A3)	17型 CRTディス プレイ (DV17D2)	19型 CRTディス プレイ (FE90)
	256色	31.5	60			
640×480	65,536色	37.5	75			
	1,677万色	43.3	85			
	256色	37.9	6 0			
800×600	65,536色	46.9	7 5			
	1,677万色	53.7	85			
	256色	48.4	6 0			
1,024×768	65,536色	60.0	7 5			
	1,677万色	68.7	85			
	256色	64.0	6 0	×		
1,280×1,024	65,536色	80.0	7 5	×	×	
	1,677万色	91.1	85	×	×	
	256色	75.0	60	×	×	
1,600×1,200	65,536色	93.8	75	×	×	
	1,677万色	106.3	8 5	×	×	×

MA10T/M, MA80T/M

液晶ディスプレイの場合

	本機の表	長示能力		セレクションメニューで選択できる ディスプレイとの対応			
解像度 [ドット]	表示色	水平走査 周波数 [KHz]	垂直走査 周波数 [Hz]	14型 デジタル液 晶ディスプ レイ (F14T52)	15型 デジタル液 晶ディスプ レイ (F15S32) (F15T42)	15.4型 液晶ディス プレイ (F15R42W)	18型 液晶ディス プレイ (F18S1W)
	256色	31.5	60				
640×480	65,536色	37.5	75	×	×		
	1,677万色	43.3	85	×	×	×	×
	256色	37.9	60				
800×600	65,536色	46.9	75	×	×		
	1,677万色	53.7	85	×	×	×	×
	256色	48.4	60				×
1,024×768	65,536色	60.0	75	×	×		
	1,677万色	68.7	85	×	×	×	×
	256色	64.0	60	×	×		
1,280×1,024	65,536色	80.0	75	×	×		
	1,677万色	91.1	85	×	×	×	×
	256色	75.0	60	×	×	×	×
1,600×1,200	65,536色	93.8	75	×	×	×	×
	1,677万色	106.3	85	×	×	×	×

デジタル液晶ディスプレイ(F14T52、F15S32、F15T42)の垂直走査周 波数の設定は、60Hz固定です。



CRT**ディスプレイの場合**

本機の表示能力			セレクションメニューで選択できる ディスプレイとの対応			
解像度 [ドット]	表示色	水平走査 周波数 [KHz]	垂直走査 周波数 [Hz]	15型 CRTディ スプレイ (DV15A3)	17型 CRTディ スプレイ (DV17D2)	19型 CRTディ スプレイ (FE90)
	256色	31.5	60			
640×480	65,536色	37.5	75			
	1,677万色	43.3	85			
	256色	37.9	60			
800×600	65,536色	46.9	75			
	1,677万色	53.7	85			
	256色	48.4	60			
1,024×768	65,536色	60.0	75			
	1,677万色	68.7	85			
	256色	64.0	60	×		
1,280×1,024	65,536色	80.0	75	×	×	
	1,677万色	91.1	85	×	×	
	256色	75.0	60	×	×	
1,600×1,200	65,536色	93.8	75	×	×	
	1,677万色	106.3	8 5	×	×	×

ディスプレイの省電力機能

本機は、VESA(Video Electronics Standards Association)で定義され ているディスプレイの省電力モード(DPMS:Display Power Management System)に対応しています。ディスプレイセットモデルをお使いの 場合は、ディスプレイの省電力機能が使用できます。

工場出荷時の状態では、マウスやキーボードからの入力がない状態が続いた場合、ディスプレイの省電力モードは次のようになります。

	Windows	Meの場合	Windows 98の場合
本体	エネルギースター 対応	エネルギースター 未対応	エネルギースター未対応
工場出荷時の設定	約15分	約15分	約15分

約20分後には休止状態に移行して、ディスプレイの省電力機能が働きます。

 ジチェック
 ジチェック
 ジ イマン
 省電力機能に対応していないディスプレイでは、本機能は使用できません。 ディスプレイに損傷を与える可能性がありますので、ご利用の前にディスプ レイに添付のマニュアルをご覧ください。

メモ

VESAでは、ディスプレイの電源の状態をオン(電源が入っており、画面表示している状態)、省電力モード(スタンバイ、サスペンド、オフ)、コンプリートオン(電源が切れた状態)と定義しています。

別売のディスプレイを使う

本機には別売のディスプレイも接続することができます。別売のディス プレイを使用する場合は、「表示能力(P.75)を参考に、適合するディスプ レイを使用してください。

別売のデジタル液晶ディスプレイを使用する場合は、本機に対応した VESAのDFP(Digital Flat Panel)準拠のデジタルインタフェースを持 つデジタル液晶ディスプレイをご利用ください。

メモ

本体が、ディスプレイにあわせて正しく設定されていないと、ディスプレ イに何も表示されないことがあります。

ハードディスクドライブ

ハードディスクドライブは、プログラムやデータを保存する非常に精密 な装置です。振動や衝撃などが加わらないよう、取り扱いにご注意くださ い。コンピュータの使用中に、ハードディスクドライブで障害が発生する こともありますが、軽い障害であればスキャンディスクを使って修復で きる場合があります。また、大切なデータを保護するため、定期的にデー タのバックアップをとるようおすすめします。

使用上の注意

注 意
 ハードディスクドライブは、たいへん精密な機械です。次のことに注意してください。
 温度、湿度条件を守ってください。
 温度10 ~35、湿度20%~80%(ただし結露しないこと)
 ゴミやホコリの多い場所での使用、保管は避けてください。
 電源が入っているときは、本体に衝撃を加えたり、持ち運んだりしないでください。
 電源を切るときは、「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックして電源を切っ
 てください。正常な終了手順に従わずに電源を切ると、ディスク上のデータがこわれて
 しようことがあります。
 電源を切って本体を運ぶときでも、できるだけ慎重に扱ってください。

バックアップはこまめにとる

本機に内蔵されているハードディスクドライブは、非常に精密に作られています。毎分数千回転するディスク面と情報を読み取る磁気ヘッドの間は、わずかしか空いていません。このため、データを読み書きしていることを示すハードディスクアクセスランプの点灯中には、少しの衝撃を与えても故障の原因となることがあります。

また、温度、湿度条件を守れない環境での使用が続いた場合は、ハード ディスクドライブ内部で使用している部品から極微量なガスが発生しま す。このガスは、磁気ヘッドに付着したり、二次的にマイクロダストを発 生し、磁気ヘッドの姿勢を乱すなど故障の原因となることがあります。 ハードディスクドライブが故障すると、大切なデータが一瞬にして使え なくなってしまい、復帰できない可能性があります。二度と同じものを作 れないような大切なデータは、バックアップをこまめにとることをおす すめします。本機にはハードディスクをバックアップするアプリケー ション「Masty Data Backup」が添付されています。なお、MA66H/Lには 添付していません。

メモ 『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の 「Masty Data Backup」、Windowsのヘルプ

アプリケーションで作成したデータは、アプリケーションによっては自動的に保存場所が決められている場合がありますので、バックアップを とる場合はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

不良セクタ、スキップセクタ

ハードディスクは、きわめて精密に製造されますが、データが高密度で記録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所ができることがあります。これを「不良セクタ」または「スキップセクタ」といいます。パソコンは、このような場所にはデータを記録しないようにしています。

ハードディスクに対して、Windowsの、スキャンディスク」などを実行す ると、「不良セクタ」または、スキップセクタ」と表示されることがありま すが、これは、不良セクタ、スキップセクタを使わないように予防されて いたことを表しており、異常ではありません。

また、「不良セクタ」またば、スキップセクタ」が表示された場合でも、「全 ディスク領域」または「全ディスク容量」のバイト数が次の表の値であ れば不良ではありませんので、正常にお使いいただけます。

内蔵ハードディスク	正常値
20Gバイト	20,000,000,000バイト以上
30Gバイト	30,000,000,000バイト以上
60Gバイト	60,000,000,000バイト以上

表の正常値は、領域を分割しない場合の値です。

メモ

メモ

本機で使用できる内蔵ハードディスクのセクタ長は、512バイトです。

ハードディスクドライブの動作音について

ハードディスクドライブの動作中、本体から小さな音がする場合があり ますが、異常ではありません。

ドライブ番号の割り当て

ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブには、それぞれ 呼び名が割り当てられています。これを「ドライブ番号」といいます。 工場出荷時に割り当てられているドライブ番号は次の通りです。

Me... ドライブ番号

ドライブ番号はモデルによって異なり、3通りあります。

省スペース型または追加ハードディスクドライブが搭載されていない デスクトップ型およびミニタワー型の場合

ドライブ番号	ドライブの種類
Aドライブ	フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブ
Cドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第1パーティション、4GB、FAT32)
Dドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第2パーティション、残りすべての領域、
	FAT32)
Eドライブ	CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブ



追加ハードディスクドライブが搭載されているデスクトップ型および ミニタワー型の場合

ドライブ番号	ドライブの種類
Aドライブ	フロッピーディスクドライブ
Cドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第1パーティション、4GB、FAT32)
Dドライブ	追加ハードディスクドライブ
	(プライマリスレーブ、第1パーティション、全ディスク領域、FAT32)
Eドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第2パーティション、残りすべての領域、
	FAT32)
Fドライブ	CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブ

NetPC**モデルの場合**

ドライブ番号	ドライブの種類
Cドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第1パーティション、4GB、FAT32)
Dドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第2パーティション、残りすべての領域、
	FAT32)

98... ドライブ番号

ドライブ番号はモデルによって異なり、3通りあります。

省スペース型または追加ハードディスクドライブが搭載されていない デスクトップ型およびミニタワー型の場合

ドライブ番号	ドライブの種類
Aドライブ	フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブ
Cドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第1パーティション、2GB、FAT16)
Dドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第2パーティション、残りすべての領域、
	FAT32)
Qドライブ	CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブ



追加ハードディスクドライブが搭載されているデスクトップ型および ミニタワー型の場合

ドライブ番号	ドライブの種類
Aドライブ	フロッピーディスクドライブ
Cドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第1パーティション、2GB、FAT16)
Dドライブ	追加ハードディスクドライブ
	(プライマリスレーブ、第1パーティション、全ディスク領域、FAT32)
Eドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第2パーティション、残りすべての領域、
	FAT32)
Qドライブ	CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブ

NetPC**モデルの場合**

ドライブ番号	ドライブの種類
Cドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第1パーティション、2GB、FAT16)
Dドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第2パーティション、残りすべての領域、
	FAT32)

メモ

領域を変更するには、FDISKコマンドを使用します。FDISKコマンドに ついてば活用ガイド 再セットアップ編(Windows Meインストール モデル)または『活用ガイド 再セットアップ編(Windows 98インス トールモデル)の「ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアッ プする(カスタム再セットアップ)」をご覧ください。

スキャンディスクの操作手順

スキャンディスクを使用すると、ハードディスクのファイルやフォルダ にデータエラーがないかチェックできます。

Windows が起動している場合(通常の場合)

1 「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」「システム ツール」「スキャンディスク」をクリック

- 2 エラーをチェックするドライブを選択する
- 3 「チェック方法」で「標準」を選択する
- 4 「エラーを自動的に修復」をクリックしてチェックを付ける
- 5 「開始」ボタンをクリック
- 6 「結果レポート」が表示されたらレポートを読み、エラーが発見 されなかった場合は、「閉じる」ボタンをクリック エラーが発見された場合は、画面の指示に従ってください。
- 7 もう一度「閉じる」ボタンをクリック

Windowsが起動できなかった場合(異常があった場合)

Windows Meの場合 Windows Meの場合は次の手順を行ってください。

- 1 本体の電源を入れる
- 2 すぐにフロッピーディスクドライブに Windows Me起動ディ スク」をセットする

「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示され ます。

- 3 「Start computer with CD-ROM support.」を選択して、 【Enter】を押す しばらくすると「キーボードのタイプを判定します。」と表示され ます。
- 4 【半角/全角】を押す
- 5 コマンドプロンプトから scandisk と入力し、【Enter】を押す
- 6 エラーが発生した場合は「ファイルに変換する」等を選択して 修復する

- 7 「クラスタスキャンを実行しますか?」のメッセージが表示されたら、矢印キーでいいえ」を選択し、【Enter】を押す
- 8 【X】を押してスキャンディスクを終了する
- チェック // 定期的にスキャンディスクを起動して、ハードディスク上にエラーがないことを確認してください。 メンテナンスウィザードを利用すると、定期的にスキャンディスクを起動することができます。メンテナンスウィザードの起動方法は次の通りです。 「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」「システムツール」「メンテナンスウィザード」をクリック スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見された場合は再セットアップが必要になります。その場合は『活用ガイド 再セットアップ編』 (Windows Meインストールモデル)をご覧ください。

Windows 98の場合

Windows 98の場合は次の手順を行ってください。

- 1 本体の電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴが表示されたら、すぐに【Ctrl 】を「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されるまで押す
- 3 「5.Command prompt only」を選択し、【Enter】を押す
- 4 コマンドプロンプトから scandisk と入力し、[Enter]を押す
- 5 エラーが発生した場合は、ファイルに変換する」等を選択して 修復する
- 6 「クラスタスキャンを実行しますか?」のメッセージが表示されたら、矢印キーで「いいえ」を選択し、【Enter】を押す
- 7 【X】を押してスキャンディスクを終了する

父チェック // 定期的にスキャンディスクを起動して、ハードディスク上にエラーがないことを確認してください。

メンテナンスウィザードを利用すると、定期的にスキャンディスクを起動す ることができます。メンテナンスウィザードの起動方法は次の通りです。 「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」「システムツール」「メ ンテナンスウィザード」をクリック

スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見された場合は再セットアップが必要になります。その場合は『活用ガイド 再セットアップ編』 (Windows 98インストールモデル)をご覧ください。

フロッピーディスクドライブ

コンピュータに入力したプログラムやデータは、フロッピーディスクに 書き込んで保存することができます。

使用上の注意

- フロッピーディスクに飲み物等をこぼした場合は使用しないでくだ さい。
- フロッピーディスクは、利用するときにだけフロッピーディスクドラ イブに入れてください。フロッピーディスクをフロッピーディスクド ライブに入れたままで使用すると、ほこりによって読み書きエラーの 原因になります。
- ・同じフロッピーディスクを連続して使用しないでください。連続使用 によりフロッピーディスクに劣化が生じ、読み書きエラーの原因にな ります。

使用できるフロッピーディスク

フロッピーディスクには2DD、2HDの2種類があります。本機で読み書き またはフォーマットできるフロッピーディスクは次の通りです。

フロッピーディスク	容量	Windows Me		Windows 98	
の種類		読み書き	フォーマット	読み書き	フォーマット
2DD	640KB	×	×	×	×
	720KB				
2HD	1.2MB		×		×
	1.44MB				

- ✓ チェック! Windows Meで1.2MBの媒体を利用する場合)3モード対応フロッピー ディスクドライバのセットアップが必要です。
 - 多照 3モード対応フロッピーディスクドライバのセットアップ 『活用ガイド ソフトウェア編』他のOSを利用する J Windows Meを利用する J フロッ ピーディスクドライバのセットアップ(お使いの機種の項目をご覧ください)

- クアップがとれません。また、「ディスクのコピー」のコピー先で使用する フロッピーディスクは、コピー元のフロッピーディスクと同じ容量で フォーマットされたフロッピーディスクを使用してください。(これは MS-DOSプロンプトのDISKCOPYコマンドでも同様です。)
 - ・ 未フォーマットのフロッピーディスクをフォーマットする場合、ディスク のチェックに時間がかかる場合があります。フォーマット開始後にフロッ ピーディスクドライブのアクセスランプがつきっぱなしになった場合は、 しばらくするとフォーマット処理が開始されます。
 - ・マイコンピュータまたはエクスプローラで2DDのフロッピーディスクを 720KBでフォーマットした場合、フロッピーディスクをドライブから一度 取り出し、再度入れてからご使用ください。フォーマット後、フロッピー ディスクを取り出さずにファイルを書き込もうとすると、フォーマットが 正常に終了していてもエラーが発生する場合があります。クイックフォー マットされたフロッピーディスクにはこの手順は必要ありません。
 - 参照 / フロッピーディスクのフォーマット Windowsのヘルプ

メモ

1.2MBは、1.2MB(512バイト/セクタ)と1.25MB(1.024バイト/セクタ) の2種類があります。1.25MB(1.024バイト/セクタ)は、PC-9800シリーズ でサポートしているモードです。

フロッピーディスクの内容の保護

フロッピーディスクは保存したデータを誤って消してしまわないように するために、ライトプロテクト(書き込み禁止)ができるようになってい ます。ライトプロテクトされているフロッピーディスクは、データの読み 出しはできますが、フォーマットやデータの書き込みはできません。重要 なデータの入っているフロッピーディスクは、ライトプロテクトしてお く習慣をつけましょう。

ライトプロテクトノッチを、図のように穴の開く方にスライドさせると、 書き込み禁止になります。



スーパーディスクドライブ

スーパーディスクドライブが標準で搭載されているモデルでは、従来の フロッピーディスクに加えて、120MBの記憶容量を持つスーパーディス クが使用できます。

使用上の注意

- スーパーディスクまたはフロッピーディスクに飲み物等をこぼした場合は使用しないでください。
- スーパーディスクまたはフロッピーディスクは、利用するときにだけ スーパーディスクドライブに入れてください。スーパーディスクまた はフロッピーディスクをスーパーディスクドライブに入れたままで使 用すると、ほこりによって読み書きエラーの原因になります。
- ・同じスーパーディスクまたはフロッピーディスクを連続して使用しないでください。連続使用によりスーパーディスクまたはフロッピーディスクに劣化が生じ、読み書きエラーの原因になります。

使用できるディスク

本機では、2DD、2HDの2種類のフロッピーディスクと、スーパーディス クが使用できます。本機で読み書きおよびフォーマットできるディスク は次の通りです。

ディスクの種類	容量	Windows Me		Windows 98	
		読み書き	フォーマット	読み書き	フォーマット
フロッピーディスク	640KB	×	×	×	×
2DD	720KB				
フロッピーディスク	1.2MB	×	×		×
2HD	1.44MB				
スーパーディスク	120MB				

- - 1.2Mバイトのフロッピーディスクおよびスーパーディスクは、Windows のディスクのコピー」でバックアップがとれません。また、「ディスクのコ ピー」のコピー先で使用するフロッピーディスクは、コピー元のフロッ ピーディスクと同じ容量でフォーマットされたフロッピーディスクを使 用してください。(これはMS-DOSプロンプトのDISKCOPYコマンドで も同様です)

メモ

1.2MBは、1.2MB(512バイト/セクタ)と1.25MB(1,024バイト/セクタ) の2種類があります。1.25MB(1,024バイト/セクタ)は、PC-9800シリーズ でサポートしているモードです。

ディスク内容の保護

ディスクは保存したデータを誤って消してしまわないようにするため に、ライトプロテクト(書き込み禁止)ができるようになっています。ライ トプロテクトされているディスクは、データの読み出しはできますが、 フォーマットやデータの書き込みはできません。重要なデータの入って いるディスクはライトプロテクトしておく習慣をつけましょう。 ライトプロテクトノッチを、図のように穴の開く方にスライドさせると、 書き込み禁止になります。



ディスクのフォーマット

市販のフロッピーディスク、スーパーディスクには、フォーマット済みの ものと、未フォーマットのものがあります。未フォーマットのディスクを 購入した場合は、使用する前にフォーマット処理(初期化)を行う必要が あります。

 ✓チェック // スーパーディスクをMS-DOSプロンプトからフォーマットする場合は、 FORMATコマンドにはオプションを付けないでください。

メモ

容量、フォーマットの種類は必要に応じて設定してください。詳しくは、 MS-DOSプロンプトから「FORMAT /?」と入力して表示されるヘルプを ご覧ください。

非常時のディスクの取り出し

停電やソフトウェアの異常動作などにより、ディスクイジェクトボタン を押してもディスクが取り出せない場合は、次の手順で強制的に取り出 すことができます。

▼チェック / 本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。

 細くて丈夫な針金を用意する ペーパークリップを伸ばしたものが使えます。



2 スーパーディスクドライブの非常時ディスク取り出し穴(直径約1.5mm)に針金を差し込み、強く押す ディスクが少し飛び出します。



3 ディスクを取り出す

CD-ROM**ドライブ**

CD-ROMはデータやプログラムが書き込まれているCDです。本機では 音楽用のCDを再生することもできます。なお、CDにラベルを貼ったり、 信号面(文字などが印刷されていない面)に傷を付けないようにしてくだ さい。

⚠警告

CD-ROM、CD-R、CD-RWは、CD-ROM対応プレーヤ以外では絶対に使用しないでく ださい。大音量により耳に障害を被ったりスピーカがこわれたりする原因となります。

再生できるCDの種類

本機に標準で内蔵されているCD-ROMドライプでは、ISO9660に準拠し たCD、または下記の表中のCDを再生・表示することができます。CD TEXTのTEXTデータ部は、読み出せません。

CD-ROM**のサイズ**

本体の刑	CD-ROMのサイズ		
本体の室	8センチ	12センチ	
省スペース型	1		
デスクトップ型			
ミニタワー型	2		

- 省スペース型で8センチCDを利用する場合は、横置きにしてください。
- 2 ミニタワー型を横置きにして8センチCDを利用する場合は、5イン チベイ用内蔵機器の向きを変更してください。詳しくは『ハード ウェア拡張ガイド』をご覧ください。

CD-ROMの規格

規格	概 要
Photo CD マルチセッション	写真を100枚まで記録できる追記型のCD
CD-DA(CD-Digital Audio)	一般の音楽CD
	プログラム用のCD-ROMでは音楽トラックの部
	分のこと
CD-ROM XA	CD-Iで提案されたマルチメディアシステムを、
(CD-ROM eXtended Architecture)	既存のパーソナルコンピュータでも実現できる
	ようにした規格
ビデオCD	MPEG1という圧縮方式を用いて記録された、
	動画用のCD-ROM
CD Extra(CD PLUS)	一般の音楽CDに文字や画像などを記録できる
	ようにした規格
CD-R(CD-Recordable)	書き込みができるCD-ROM
	マルチセッション対応の場合は、複数回に分けて
	の書き込みも可能
CD-RW(CD-Rewritable)	書き込み/書き換えができるCD-ROM

CD-ROMのセット(省スペース型の場合)

- ディスクトレイイジェクトボタンを押す トレイが出てきます。
- 2 CD-ROMをトレイに置く 文字が書かれている面が見えるように置いてください。
- 3 ディスクトレイのツメを出す ツメには代表的なものとして、下記のようなタイプなどがあります。





4 ディスクトレイイジェクトボタンを押す ディスクトレイイジェクトボタンは、ボタンを軽く押せばトレイ が収納されます。

非常時のディスクの取り出し

停電やソフトウェアの異常動作などにより、ディスクトレイイジェクト ボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、次の手順で強制 的に取り出すことができます。

▼チェックタ ・本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。

- ・省スペース型をご利用の場合、筐体カバーを取り外した後で作業を行って ください。筐体カバーの取り外しについては、『ハードウェア拡張ガイド』
 をご覧ください。
- 細くて丈夫な針金を用意する
 ペーパークリップを伸ばしたものが使えます。



2 非常時ディスク取り出し穴(直径約1.5mm)に針金を差し込み、 強く押す

ディスクトレイが15mmほど飛び出します。



3 ディスクトレイを手で引き出し、ディスクを取り出す



4 ディスクトレイをドライブの中に押し込む



CD-R/RW**ドライブ**

CD-R/RW(Compact Disc Recordable/Compact Disc ReWritable) ドライブが標準で搭載されているモデルでは、CD-RおよびCD-RWへ大 量のデータやプログラムを記録することができます。なお、CDにラベル を貼ったり、信号面(文字などが印刷されていない面)に傷を付けないよ うにしてください。

⚠警告

CD-ROM、CD-R、CD-RWは、CD-RW対応プレーヤ以外では絶対に使用しないでくだ さい。大音量によって耳に障害を被ったりスピーカがこわれたりする原因となります。 また、ディスクがこわれて書き込むことができなくなる場合があります。

再生できるCDの種類

本機に標準で内蔵されているCD-R/RWドライブでは、ISO9660に準拠し たCDを再生・表示することができます。CD TEXTのTEXTデータ部は、 読み出せません。再生できるCDについては、「CD-ROMドライブ」「再生 できるCDの種類(P.96)の表をご覧ください。

CD-RおよびCD-RWへの書き込みおよびCD-RWのフォーマット

本機に内蔵されているCD-R/RWドライブは、CD-ROMドライブの機能 に加えて、CD-Rへの書き込み機能とCD-RWへの書き換え機能を加えた ものです。

使用できるディスク

CD-RおよびCD-RWについては、ISO9660、Orange Book Part2(CD-R) およびPart3(CD-RW)に準拠したディスクをご利用ください。 書き込みできる容量は、使用するソフトウェアによって異なります。詳し くは、「Easy CD Creator」および DirectCD」のヘルプをご覧ください。

使用するソフトウェア

本機のCD-R/RWドライブを使って、CD-Rへの書き込み、CD-RWへの フォーマット/書き換えをするには、「Easy CD Creator」または 「DirectCD」が必要です。使用方法については『活用ガイド ソフトウェ ア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の「Easy CD Creator」また は「DirectCD」をご覧ください。



- チェック // ・書き込みに失敗したCD-Rは再生できなくなります。書き損じによるCD-Rの補償はできませんのでご注意ください。
 - ・ 作成したメディアのフォーマット形式や装置の種類などにより、他のCD-ROM ドライブ、CD-R ドライブ、CD-R/RW ドライブでは使用できない場 合がありますのでご注意ください。
 - ・お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオCDなどの複製や改変を 行う場合、オリジナルのCD等について著作権を保有していなかったり、著 作権者から複製・改変の許諾を得ていない場合は、著作権法または利用許 諾条件に違反することがあります。複製等の際は、オリジナルのCD-ROM などの利用許諾条件や複製等に関する注意事項に従ってください。

非常時のディスクの取り出し

停電やソフトウェアの異常動作などにより、ディスクトレイイジェクト ボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、強制的に取り出 すことができます。

非常時のディスクの取り出し手順については、「CD-ROMドライブ」非 常時のディスクの取り出し(P.95)をご覧ください。



サウンド機能

本機には音声を録音、再生するためのサウンド機能が内蔵されています。 音声は内蔵スピーカまたは外部のオーディオ機器などから再生すること ができます。

- 参照 ボリュームコントロールのヘルプ
- デスクトップ型およびミニタワー型をご利用の場合、再生には外付けスピー
 カが必要です。

音量の調節

音量の調節には内蔵スピーカボリューム(省スペース型の場合)または 「ボリュームコントロール」による方法があります。どちらかの方法で音 量が最小になっていると、音が出ないので注意してください。

- 本機のCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブは、ご購入時はデジタル設定になっています。
 次のような場合には、『活用ガイド ソフトウェア編』トラブル解決Q&A」の「CD-ROMドライブを使っていたら…」「音がおかしい…」をご覧の上、 デジタル設定をアナログ設定に変更してください。
 - ・ CD-ROM ドライブのヘッドホン端子から音楽CDを聞く場合
 - ・ダイレクトサウンドを使用するアプリケーションを利用中に音が飛ぶ 場合
 - 録音方法をデジタル設定からアナログ設定に変更する場合

LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード

LANボードまたは100BASE-TX/10BASE-Tコネクタが標準で内蔵され ているモデルでは、LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続すること により、離れた所にあるコンピュータ同士で、データやプログラムなどを 共有したり、メッセージを送受信することができます。ここではLANへの 接続手順を簡単に説明します。

LAN(ローカルエリアネットワーク)への接続

接続前の確認

LANボードまたは100BASE-TX/10BASE-Tコネクタが標準で内蔵され ているモデルでは、100BASE-TXまたは10BASE-Tに対応したLANに接 続することができます。本機をネットワークに接続するには、別売のマル チポートリピータ(ハブ)と、別売の専用ケーブル(リンクケーブル)が必 要です。

100BASE-TXで使用するためには、カテゴリ5のリンクケーブルが必要で す。

参照 「PART5 付録] 機能一覧 (P.220)

接続方法

リンクケーブルの接続方法については『はじめにお読みください』をご覧 ください。

◆ チェック // 本機を稼働中のLANに接続するには、システム管理者またはネットワーク管 理者の指示に従って、リンクケーブルの接続を行ってください。

LANの設定(Windows Meの場合)

ここではLANに接続するために必要なネットワークのセットアップ方法 を簡単に説明します。必要な構成要素の詳細については次の通りです。 Windows Meの「ヘルプとサポート」の中にあるオンライン形式の 「Windows Millennium Editionを使う」の中にある「Windows Meスター トガイド」のネットワーク関連の項目をご覧ください。

ネットワークのセットアップ

- 1 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2 「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をク リック
- 3 「ネットワーク」をダブルクリック
- 4 「ネットワークの設定」タブの「追加」ボタンをクリック
- 5 必要な機能を追加する

ネットワーク上で自分のコンピュータを認識させる

- 1 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2 「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をク リック
- 3 「ネットワーク」をダブルクリック
- 4 「ネットワーク設定」タブの「追加」ボタンをクリック
- 5 共有サービスを追加する
- 6 「識別情報」タブをクリック
- 7 「コンピュータ名」、「ワークグループ」、「コンピュータの説明」 に、必要な情報を入力する

8 「OK」ボタンをクリック

♥チェック// 設定方法がわからない場合は、システム管理者またはネットワーク管理者に 相談してください。

LANの設定(Windows 98の場合)

ここではLANに接続するために必要なネットワークのセットアップ方法 を簡単に説明します。必要な構成要素の詳細については次の通りです。 『Microsoft® Windows® 98ファーストステップガイド』またはWindows 98のヘルプの中にあるオンライン形式の『Microsoft® Windows® 98 ファーストステップガイド』の「第5章 高度な機能」の「ネットワークを 使う」をご覧ください。

ネットワークのセットアップ

- 1 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2 「ネットワーク」をダブルクリック
- 3 「ネットワークの設定」タブの「追加」ボタンをクリック
- 4 必要な機能を追加する

ネットワーク上で自分のコンピュータを認識させる

- 1 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2 「ネットワーク」をダブルクリック
- 3 「ネットワーク設定」タブの「追加」ボタンをクリック
- 4 共有サービスを追加する
- 5 「識別情報」タブをクリック
- 6 「コンピュータ名」、「ワークグループ」、「コンピュータの説明」 に、必要な情報を入力する

7 「OK」ボタンをクリック

♥チェック // 設定方法がわからない場合は、システム管理者またはネットワーク管理者に 相談してください。

ネットワークパスワードの変更について(Windows Meの場合)

ここではLAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するためのパスワードの変更方法について説明します。ご利用になっているネットワークの 設定によって、操作方法が異なりますのでネットワークの設定にあった 説明を参照してください。

「Microsoftネットワーククライアント」で Windows NTのドメイン にログオンする」を設定している場合で、Windowsパスワードと同一 のパスワードを使用する場合

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリック
- 2 「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をク リック
- **3** 「パスワード」をダブルクリック
- 4 「パスワードの変更」タブをクリックし、「Windowsパスワード の変更」ボタンをクリック
- 5 「Windowsパスワードの変更」の画面で Microsoftネットワー ク」を選択し、「OK」ボタンをクリック
- 6 「パスワードの変更」の画面で「古いパスワード」、「新しいパス ワード」、「新しいパスワードの確認入力」を正しく入力し、「OK」 ボタンをクリック
- 7 「Windowsパスワードが変更されました」と表示されたら、 「OK」ボタンをクリック

「Microsoftネットワーククライアント」で「Windows NTのドメイン にログオンする」を設定している場合で、Windowsパスワードと異な るパスワードを使用する場合

- 1 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2 「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリック
- 3 「パスワード」をダブルクリック
- 4 「パスワードの変更」タブをクリックし、「ほかのパスワードの変更」ボタンをクリック
- 5 「パスワードの選択」の画面で Microsoftネットワーク」を選択 し、「変更」ボタンをクリック
- 6 「パスワードの変更」の画面で「古いパスワード」、「新しいパス ワード」、「新しいパスワードの確認入力」を正しく入力し、「OK」 ボタンをクリック
- 7 「Windowsパスワードが変更されました」と表示されたら、 「OK」ボタンをクリック

「Microsoftネットワーククライアント」で Windows NTのドメイン にログオンする」を設定していない場合

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリック
- 2 「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をク リック
- 3 「パスワード」をダブルクリック
- 4 「パスワードの変更」タブをクリックし、「Windowsパスワード の変更」ボタンをクリック

- 5 「パスワードの変更」の画面で「古いパスワード」、「新しいパス ワード」、「新しいパスワードの確認入力」を正しく入力し、「OK」 ボタンをクリック
- 6 「Windowsパスワードが変更されました」と表示されたら、 「OK」ボタンをクリック

ネットワークパスワードの変更について(Windows 98の場合)

ここではLAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するためのパスワードの変更方法について説明します。ご利用になっているネットワークの 設定によって、操作方法が異なりますのでネットワークの設定にあった 説明を参照してください。

「Microsoftネットワーククライアント」で「Windows NTのドメイン にログオンする」を設定している場合で、Windowsパスワードと同一 のパスワードを使用する場合

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリック
- **2** 「パスワード」をダブルクリック
- 3 「パスワードの変更」タブをクリックし、「Windowsパスワード の変更」ボタンをクリック
- 4 「Windowsパスワードの変更」の画面で Microsoftネットワーク」を選択し、「OK」ボタンをクリック
- 5 「パスワードの変更」の画面で「古いパスワード」、「新しいパス ワード」、「新しいパスワードの確認入力」を正しく入力し、「OK」 ボタンをクリック
- 6 「Windowsパスワードが変更されました」と表示されたら、 「OK」ボタンをクリック
「Microsoftネットワーククライアント」で Windows NTのドメイン にログオンする」を設定している場合で、Windowsパスワードと異な るパスワードを使用する場合

- 1 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2 「パスワード」をダブルクリック
- 3 「パスワードの変更」タブをクリックし、「ほかのパスワードの変 更」ボタンをクリック
- 4 「パスワードの選択」の画面で Microsoftネットワーク」を選択 し、「変更」ボタンをクリック
- 5 「パスワードの変更」の画面で「古いパスワード」、「新しいパス ワード」、「新しいパスワードの確認入力」を正しく入力し、「OK」 ボタンをクリック
- 6 「Windowsパスワードが変更されました」と表示されたら、 「OK」ボタンをクリック

「Microsoftネットワーククライアント」で Windows NTのドメイン にログオンする」を設定していない場合

- 1 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2 「パスワード」をダブルクリック
- 3 「パスワードの変更」タブをクリックし、「Windowsパスワード の変更」ボタンをクリック
- 4 「パスワードの変更」の画面で「古いパスワード」、「新しいパス ワード」、「新しいパスワードの確認入力」を正しく入力し、「OK」 ボタンをクリック
- 5 「Windowsパスワードが変更されました」と表示されたら、 「OK」ボタンをクリック

リモートパワーオン機能の設定について(Windows Meの場合)

本機におけるLANによるリモートパワーオン機能については、次の表の 通りです。なお、MA66H/Lをご利用の場合、別売のDMITOOL Ver8.1 (pcAnywhere™ 9.0 EXホスト専用版付)が必要です。

LANボードによる電源の自動操作/本機		省スペース型	デスクトップ型	ミニタワー型
リモート	電源の切れている状態から電源		v	v
パワーオン	を入れる(パワーオン)		×	×
	スタンバイ(サスペンド)状態から			
	復帰(レジューム)する			
	休止状態から復帰する			

電源が切れている状態からのリモートパワーオンの設定

電源が切れている状態からリモートパワーオン機能を利用するには、以 下の設定を行ってください。なお、本設定は省スペース型のみ有効です。

- デスクトップ型およびミニタワー型では、電源が切れている状態からリモー トパワーオン機能で電源を入れることはできません。
 - 1 コンピュータの電源を入れる
 - **2** NECのロゴ画面が表示されたら、【F2】を押す
 - 3 メニューバーの「Boot」「On PME」を「Power On」に設定 する
 - **4** 【F10】を押す
 - 5 「Yes」を選択し、【Enter】を押す
- ✓ チェック ?? 必要に応じて、「Network Boot Setting (P.149)の設定も行ってください。
 以上で完了です。

スタンバイ状態および休止状態からリモートパワーオンの設定

スタンバイ状態および休止状態からリモートパワーオン機能を利用する には、以下の設定を行ってください。

- 1 Windows Meを起動する
- 2 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル をクリック
- 3 「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をク リック
- **4** 「システム」をダブルクリック
- 5 「デバイスマネージャ」タブの「ネットワークアダプタ」をダブル クリック
- 6 以下のアダプタを選択し、「プロパティ」ボタンをクリック

MA10T/C、MA86T/C、MA80T/C、MA15S/M、MA10T/M、 MA80T/M**の場合**

- ・「Intel(R)PRO/100+ Alert On LAN2* Adapter 」または
- Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter(10/100)

MA66H/C、MA66H/Z、MA66H/L、MA10T/S、MA80T/S、 MA66H/S**の場合**

- Accton EN1207D Series PCI Fast Ethernet Adapter
- 7 「電源の管理」タブをクリック
- 8 「節電のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフに できるようにする」のチェックボックスをオンにする
- 9 「コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う」のチェックボックスをオンにする
- **10** 「OK」ボタンをクリック
- **11** 「OK」ボタンをクリック

- 12 「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリック
- 13 「ネットワーク設定」タブの「現在のネットワークコンポーネント」の一覧から以下のアダプタを選択し、「プロパティ」ボタンを クリック

MA10T/C、MA86T/C、MA80T/C、MA15S/M、MA10T/M、 MA80T/M**の場合**

- ・「Intel(R)PRO/100+ Alert On LAN2* Adapter 」または
- Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter(10/100)_

MA66H/C、MA66H/Z、MA66H/L、MA10T/S、MA80T/S、 MA66H/S**の場合**

Accton EN1207D Series PCI Fast Ethernet Adapter

14 「詳細設定」タブをクリックし、以下の設定を行う

MA10T/C、MA86T/C、MA80T/C、MA15S/M、MA10T/M、 MA80T/M**の場合**

・「プロパティ」の一覧から「Enable PME」を選択し、「値」を「No Action」に設定する

MA66H/C、MA66H/Z、MA66H/L、MA10T/S、MA80T/S、 MA66H/S**の場合**>

- ・「プロパティ」の一覧から「PME Enable」を選択し、「値」を 「Enable」に設定する
- ・「プロパティ」の一覧から「Wakeup Frame」を選択し、「値」を 「Disable」に設定する
- ・「プロパティ」の一覧から「Link-up Wakeup」を選択し、「値」を 「Disable」に設定する
- **15** 「OK」ボタンをクリック
- **16** 「OK」ボタンをクリック
- 17 Windows Meを再起動する

以上で完了です。

リモートパワーオン機能の設定について(Windows 98の場合)

本機におけるLANによるリモートパワーオン機能については、次の表の 通りです。なお、MA66H/Lをご利用の場合、別売のDMITOOL Ver8.1 (pcAnywhere™ 9.0 EXホスト専用版付)が必要です。

LANボードによる電源の自動操作/本機		省スペース型	デスクトップ型	ミニタワー型
リモート	電源の切れている状態から電源			
パワーオン	を入れる(パワーオン)			
	スタンバイ状態から復帰する			

ACPIモードでは、電源の切れている状態からリモートパワーオンで電源を入れることはできません。

Windows 98 APMモードの場合

電源が切れている状態およびスタンバイ状態からリモートパワーオン 機能を利用するには、以下の設定を行ってください。

- 1 コンピュータの電源を入れる
- **2** NECのロゴ画面が表示されたら、【F2 】を押す
- 3 以下の設定を行う

MA10T/C、MA86T/C、MA80T/C、MA66H/C、MA66H/Z、 MA66H/L**の場合**

・メニューバーの「Boot」「On PME」を「Power On」に設定する

MA10T/S、MA80T/S、MA66H/Sの場合

・メニューバーの「Power Management Setup」「Resume By PME From Soft Off **jを「**Enabled **」に設定する**

MA15S/M、MA10T/M、MA80T/Mの場合

- ・メニューバーの「Power」「Resume On PME」を「On」に設定 する
- **4**【F10】を押す
- 5 「Yes」を選択し、【Enter】を押す

✓ チェック // 必要に応じて、「Network Boot Setting (P.149)の設定も行ってください。

- 6 Windows 98を起動する
- 7 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル をクリック
- 8 「ネットワーク」をダブルクリック
- 9 「ネットワーク設定」タブの「現在のネットワークコンポーネント」の一覧から以下のアダプタを選択し、「プロパティ」ボタンを クリック

MA10T/C、MA86T/C、MA80T/C、MA15S/M、MA10T/M、 MA80T/M**の場合**

- ・「Intel(R)PRO/100+ Alert On LAN2* Adapter」または
- Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter(10/100)

MA66H/C、MA66H/Z、MA66H/L、MA10T/S、MA80T/S、 MA66H/S**の場合**

r Accton EN1207D Series PCI Fast Ethernet Adapter

10 「詳細設定」タブをクリックし、以下の設定を行う

MA10T/C、MA86T/C、MA80T/C、MA15S/M、MA10T/M、 MA80T/M**の場合**

・「プロパティ」の一覧から「Enable PME」を選択し、「値」を 「Enabled」に設定する

MA66H/C、MA66H/Z、MA66H/L、MA10T/S、MA80T/S、 MA66H/S**の場合**>

- ・「プロパティ」の一覧から「PME Enable」を選択し、「値」を
 「Enable」に設定する
- **11** 「OK」ボタンをクリック
- **12** 「OK」ボタンをクリック
- **13** Windows 98を再起動する

以上で完了です。

Windows 98 ACPIモードの場合

スタンパイ状態からリモートパワーオン機能を利用するには、以下の 設定を行ってください。

- 1 Windows 98を起動する
- 2 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 3 「システム」をダブルクリック
- 4 「デバイスマネージャ」タブの「ネットワークアダプタ」をダブル クリック
- 5 以下のアダプタを選択し、、プロパティ」ボタンをクリック

MA10T/C、MA86T/C、MA80T/C、MA15S/M、MA10T/M、 MA80T/M**の場合**

- ・「Intel(R)PRO/100+ Alert On LAN2* Adapter 」または
- Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter(10/100)

MA66H/C、MA66H/Z、MA66H/L、MA10T/S、MA80T/S、 MA66H/S**の場合**

- r Accton EN1207D Series PCI Fast Ethernet Adapter
- 6 「電源の管理」タブをクリック
- 7 「節電のためにコンピュータの電源を自動的に切る」のチェックボックスをオンにする
- 8 「コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う」のチェックボックスをオンにする
- **9** 「OK」ボタンをクリック
- **10** 「OK」ボタンをクリック
- 11 「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリック

12 「ネットワーク設定」タブの「現在のネットワークコンポーネント」の一覧から以下のアダプタを選択し、「プロパティ」ボタンを クリック

> MA10T/C、MA86T/C、MA80T/C、MA15S/M、MA10T/M、 MA80T/M**の場合**

- ・「Intel(R)PRO/100+ Alert On LAN2* Adapter 」または
- Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter(10/100)

MA66H/C、MA66H/Z、MA66H/L、MA10T/S、MA80T/S、 MA66H/S**の場合**

r Accton EN1207D Series PCI Fast Ethernet Adapter

13 「詳細設定」タブをクリックし、以下の設定を行う

MA10T/C、MA86T/C、MA80T/C、MA15S/M、MA10T/M、 MA80T/M**の場合**

・「プロパティ」の一覧から「Enable PME」を選択し、「値」を「No Action」に設定する

MA66H/C、MA66H/Z、MA66H/L、MA10T/S、MA80T/S、 MA66H/S**の場合**

- ・「プロパティ」の一覧から「PME Enable」を選択し、「値」を
 「Enable」に設定する
- ・「プロパティ」の一覧から「Wakeup Frame」を選択し、「値」を 「Disable」に設定する
- ・「プロパティ」の一覧から「Link-up Wakeup」を選択し、「値」を 「Disable」に設定する
- **14** 「OK」ボタンをクリック
- 15 「OK」ボタンをクリック
- **16** Windows 98を再起動する

以上で完了です。

FAXモデムボード

FAXモデムボードが標準で内蔵されているモデルでは、FAX通信機能、 データ通信機能などを利用できます。また市販の電話機を接続するため のコネクタがついています。ATコマンドについては、『ATコマンド(ここ をクリック)をご覧ください。

FAX モデムボードについて

ここでは、FAXモデムボードの機能を説明します。

データ通信機能

本機にインストールされている次のデータ通信ソフトウェアを使用する ことにより、パソコン通信などのデータ通信を行うことができます。

・ハイパーターミナル

その他のデータ通信ソフトウェアでは動作しない可能性があります。

FAX通信機能

本機のデータをダイレクトにFAXに送信できます。 また、本機でFAXを受信でき、効率的にFAX送受信をサポートします。

最高56,000bpsまでの各種通信

FAXモデムは、米国CONEXANT SYSTEMS社等提唱のK56flex、および V.90を採用しています。K56flex、およびV.90では、受信時最高56,000bps、 送信時最高33,600bpsのデータ通信が可能です。

電話回線を利用して、最高56,000bpsの全二重データ通信と最高 14,400bpsの半二重FAX通信ができます。

K56flexおよびITU-T V.90の最大受信速度56,000bpsは、理論値であり、 加入電話回線での通信速度とは異なります。

FAX モデムボードを使用するときの注意

適用電話回線について

回線は、電話回線(以降、加入電話回線と呼びます)、総合デジタル通信網 (ISDN)、ファクシミリ通信網、専用回線に区別することができます。FAX モデムボードは、加入電話回線に適合するように設計され、端末機器の設 計についての認証を受けています。

「技術基準等適合認定について(P.7)

加入電話回線以外と接続すると、FAXモデムボードやパソコン本体等を 破損する場合があります。

コードレスホンや親子電話、構内回線など、加入電話回線以外の回線をご 使用の場合は、正常なデータの送受信ができない場合があります。 FAXモデムボードは、ファクシミリ通信網には対応していません。

送信レベルについての注意

加入電話回線を使用する場合、送信レベルは工場出荷時の設定から変更 する必要はありません。ただし、回線状態が悪く、うまく接続できない場 合は送信レベルの調整が必要な場合があります。送信レベルの調整は、認 定された工事担任者以外が行うことは法律で禁じられていますので、送 信レベルの調整については、当社指定のサービス窓口にお問い合わせく ださい。

当社指定のサービス窓口の電話番号、受付時間については、『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

通信するときの注意

- 本体にアース線を接続していない場合や、回線の状態によっては、希望の通信速度で通信できないことや、接続しにくい場合があります。
- ・FAXモデムボードに接続できる電話機などは2線式の回線用のみです。 電話機などの種類によっては動作しない機種がありますので注意して ください。また、接続する電話機などによっては、FAXモデムボードが 正常に通信できない場合があります。正常に通信できない場合は、次の いずれかの方法で正常に通信できるようになります。
 - ・ 接続する電話機などにアース接続用の端子がある場合は、アース線 をつなぐ。
 - 電話機などに別の電話を接続するためのコネクタがある場合は、接続の順番を変える(加入電話回線==電話機==本機のようにする)。接続については、電話機などのマニュアルをご確認ください。
 - ・モデムによる通信の際は、電話機などを取り外す。
- 次のような接続を行っている場合は、モデムによる通信の前に電話機 などを使用していないことを確認してください。
 - ・FAXモデムボードの電話機用モジュラーコネクタに電話機などを 接続している場合
 - 市販の分岐コネクタを使用して電話機などと本機とを加入電話回 線に接続している場合
 - パソコン本体と電話機用モジュラーコネクタに接続されている外付け電話機など(コードレスホン、親子電話)が離れている場合

また、モデムで通信中は電話機などを操作しないようにしてください。 電話機などを操作すると、通信が妨害され、切断されることがあります。

- ・電話機用モジュラーコネクタには、他のモデムを接続しないでください。他の外付けモデムなどが、電話機用モジュラーコネクタに接続されている場合は取り外してください。
- ・FAXモデムボードのダイヤル信号は、ご使用になる加入電話回線のダ イヤル信号にあわせた調整が必要です。加入電話回線がトーン式かパ ルス式かわからないときは電話装置メーカや保守業者、第1種通信事業 者(NTTなど)に確認してください。
- データ通信を行う場合、フロー制御はハードウェア(RTS/CTS)工場
 出荷時の設定)に設定してください。それ以外に設定するとデータ抜けが生じる可能性があります。
- ・通信中は、電話機用モジュラーコネクタに接続した電話機の受話器を 外さないようにしてください。受話器が外れると、受話器から通信中の 音が聞こえ、通信が中断されることがあります。
- キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がか かってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。
- ・ FAXを送信する相手が音声応答機能付きのFAXの場合、相手からの音 声の内容によってはFAXの送信ができなくなることがあります。
- 電話局の交換機の種類によっては、14,400bpsでFAXの通信ができないことがあります。この場合は通信速度を9,600bps以下にしてください。
- 海外と直接接続した場合、伝送路の特性のため正常に通信できない可能性があります。
- ・回線の状態によっては希望の通信速度で通信できない場合があり ます。

COMポートの設定について

FAXモデムボードが標準で搭載されているモデルのモデムのポート番号は、工場出荷時の状態ではWindows Meの場合はCOM3、Windows 98の場合はCOM2が割り当てられています。通常はこのままご使用ください。 COMポート番号とI/Oの範囲は次の通りです。

- COM1**の場合**: 03F8~03FF COM2**の場合**: 02F8~02FF COM3**の場合**: 03E8~03EF
- COM4の場合: 02E8~02EF

Mateセキュリティ/マネジメント機能

本機は、システム管理者が効率よく本機をセキュリティ/マネジメントす るための機能を備えています。

セキュリティ/マネジメント機能の概要

システム管理者が、効率よくパソコンをセキュリティ/マネジメントする ためには、次のような手段・機能を利用することが効率的であるといわれ ています。

- 機密データの漏洩、改ざん防止、コンピュータウィルスの侵入を防ぐため、外部からデータを取り込むフロッピーディスクドライブを使用できないようにする(ロックする)、(1/〇ロック)
- ・メモリやPCIボードなどパソコンのハードウェア構成を変更させない ようにする。(筐体ロック)
- ・システム管理者向けと一般ユーザ向けの利用環境を設定し、使用できる機能を制限する。(CyberAccess)
- システム管理者のパソコンから管理するパソコンの電源、システムを 遠隔操作できる。(リモートパワーオン/オフ機能)
- ・ ソフトウェアのバージョンアップのために、必要なパソコンのハードウェア構成情報(メモリ容量、ハードディスクの空き容量など)、ソフトウェア構成情報を管理する。(Intel® LANDesk® Client Manager 6 (with NEC Extensions))
- ハードウェアに異常が発生したことを一般ユーザやシステム管理者に 通知する。(Intel[®] LANDesk[®] Client Manager 6(with NEC Extensions))

本機には、このような手段・機能を利用するために、次のような機能を備 えています。

セキュリティ機能

BIOS LOCK

BIOSレベルで本機の使用者を限定し、本機の起動を制限します。これに より、コンピュータウイルスやデータ改ざんなどからパソコンを守りま す。

- - BIOS LOCKには、次の方法があります。

指紋認証を利用する

別売の指紋認証ユニット(シリアル)(PK-FP002)を利用することで、本体の起動時やパスワードの入力を要求されるような場合、かわりに指紋を照合することで、ユーザーの不正使用やデータの漏洩を防止します。また、パスワードを忘れる、パスワードを解読されるといったことを未然に防ぎます。なお、MA66H/L、MA10T/S、MA80T/S、MA66H/ SではBIOSレベルでの認証(BIOS LOCK)はできません。

- 参照 指紋認証ユニット(シリアル) PK-FP002) に添付のマニュアル
- 98... スマートカードを利用する 以下の別売のオプションを利用することで、本体起動時にスマート カードを差し込むだけでWindowsのログイン、スクリーンセーバの ロック解除の際の個人認証をすることができます。なお、MA66H/L、 MA10T/S、MA80T/S、MA66H/SではBIOSレベルでの認証(BIOS LOCK)はできません。
 - スマートカードリーダ/ライタ(シリアル)(PK-SM001)
 - ・スマートカードアプリケーション(管理者)(PK-SM005)
 - ・スマートカードアプリケーション(ユーザ)(PK-SM006)
 - スマートカード(PK-SM003)
- 参照 スマートカードアプリケーション(管理者)(PK-SM005)に添付のマニュアル

パスワードの設定

スーパバイザパスワード/ユーザパスワードを設定することで、本機の使用者を制限するとともに、本機の不正使用を防止することができます。 BIOSセットアップメニューでそれぞれのパスワードを設定し、 「Password On Boot」を「Enabled」に設定してください。

- 、 デ記の状態で、管理者側のパソコンからリモートパワーオン機能で本機を起動するには、BIOSセットアップメニューの「Security」の「Network Boot Setting」の「BIOS LOCK」を「Disabled」にしなければなりません。
 - スーパバイザパスワード、ユーザパスワードが設定され、BIOSセットアップメニューの「Security」の「Password On Boot」が「Enabled」に設定されている場合
 - ・本機に指紋認証ユニットが接続され、指紋認証ユニットのBIOS LOCKが 設定されている場合
 - 本機にスマートカードリーダが接続され、スマートカードのBIOS LOCK
 が設定されている場合
 - 98... ファイル暗号化

PGP(PGP Personal Privacy)は、ファイルやフォルダをパスワード付き で暗号化し、データの漏洩防止やプライバシーを保護します。また、Windowsのログオン/ログオフ時にファイルやフォルダを暗号化/復号化し たり、暗号化したファイルを電子メールなどで相手に送信したときもパ スワードを入力するだけで復号化できます。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「PGP」

1/0**ロック**

1/0ロックは、外部とのデータ交換の手段である1/Q(フロッピーディス クドライブ、シリアルボート、パラレルボートなど)を利用できないよう にする機能です。

この機能を利用することで、部外者のデータアクセスを防止したり、シス テムに影響を及ぼすアプリケーションソフトをインストールすることを 防止することができます。

ハードディスクパスワード機能

本機で使用するハードディスクドライブにパスワードを設定することに より、本機以外のパーソナルコンピュータでハードディスクドライブの 不正使用を防止することができます。万一、ハードディスクドライブが盗 難にあって、他のパーソナルコンピュータに設置された場合でも、パス ワードが必要となるため、重要なデータの漏洩を防ぐことができます。省 スペース型およびミニタワー型の場合に利用できます。

参照 ハードディスクパスワードの設定「PART2 システム設定(省スペース型、 ミニタワー型の場合)」Securityの設定(P.147)

ウイルス検出・駆除

コンピュータウイルスの検出、識別、および駆除を行うには「VirusScan」 を使用します。

参照
『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の
「VirusScan for Windows Me」「VirusScan for Windows 98」

エンドユーザ管理

本機に添付されているCyberAccessを使用することで、使用できるアプ リケーションやシステムに影響を与える動作を制限することができま す。また、別売のCyberAccess Ver3.0(11月発売予定)により、管理者PC から一括して設定、変更することができます。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「CyberAccess」

筐体ロック

筐体ロックを使用することで、本体カバーをロックし、本体のハードウェ ア構成の変更や内蔵機器の盗難防止、パスワードの解除防止に役立てる ことができます。また、市販のロック付き盗難防止ケーブルを使用するこ とで、本体の開閉や盗難防止にも役立てることができます。 省スペース型およびミニタワー型をご利用の場合、筐体ロックはキー ケーブルロック等のセキュリティワイヤーに対応しており、別途購入していただく必要があります。入手方法については、次の国内総販売代理店にお問い合わせください。

日本ポラデジタル株式会社 第3営業部

〒104-0032 東京都中央区八丁堀1-5-2はごろもビル5F TEL:03-3537-1070 FAX:03-3537-1071

デスクトップ型をご利用の場合、セキュリティプレートを取り付けることで本体カバーをロックすることができます。セキュリティプレートの 取り付けについてば「ハードウェア拡張ガイド」をご覧ください。

ルーフカバーオープン検知

カバーセンサにより、ルーフカバーの開閉を検知します。開閉が検知され た場合は、Intel® LANDesk® Client Manager & with NEC Extensions) により通知されます。メモリ、ハードディスクドライブが盗難されていな いか、スーパバイザパスワード・ユーザパスワードが解除されていない か、データの改ざん、コンピュータウイルスの侵入がないか調査してくだ さい。MA66H/Lではご利用になれません。

 [®]活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の
 「Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC Extensions)」

 「PART2 システム設定(省スペース型、ミニタワー型の場合)」Advanced
 の設定(P.137)またば Securityの設定(P.147)「PART3 システム設定
 (デスクトップ型の場合)」Hardware Monitor Setupの設定(P.187)

日 ターブルストッパ

キーボードなどのケーブルが抜けるのを防止したり、ケーブル接続した 機器の盗難を防止します。省スペース型およびミニタワー型の場合に利 用できます。

参照/『ハードウェア拡張ガイド』

マネジメント機能

ハードウェアモニタ

ハードウェア(筐体内温度、電源・ファン)の状態を監視して異常が発生した場合、アラームで利用者に知らせます。MA66H/Lではご利用になれません。

参照
『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の
「Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC Extensions)」

ハードディスクドライブ障害時のバックアップ機能

ハードディスクドライブの異常を監視します(SMART機能)。標準装備されているハードディスクドライブは、S.M.A.R.T(Self Monitoring, Analysis and Reporting Technology)に対応しています。また、「Masty Data Backup/F」との連携によってバックアップをとることができます。 MA66H/Lではご利用になれません。

- 参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「Masty Data Backup」
- 98... ソフトウェアパワーOFF機能

Windows動作中に誤って電源スイッチに触れるなど、不用意に電源を切ってしまうことにより生じるファイルの破壊を防止します。

参照/『電源(Windows 98の場合)(P.47)

リモートパワーオン機能(Remote Power On機能)

LAN(ローカルエリアネットワーク)経由で、離れたところにあるパソコンの電源を入れる機能です。

本体およびLANボードがリモートパワーオン機能に対応しているシステ ムでは、本体の電源が切れているときも、リモートパワーオン用の専用 コントローラは通電されています。管理パソコンはIntel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)からのリモートパワーオン のコマンド指示により、パワーオンを指示する特殊なパケットを離れた ところにあるパソコンに送信します。そのパケットを離れたところにあ るパソコンの専用コントローラが受信すると、専用コントローラはパ ワーオン動作を開始します。これにより離れたところにある管理パソコ ンから、LAN接続された本機の電源を入れることができます。

リモートパワーオン機能を利用するためには、パワーオンメッセージを 発信する管理パソコンに別売のDMITOOL Ver8.1(pcAnywhere[™] 9.0 EXコンプリート版付)が必要です。パワーオンメッセージを受信するパ ソコンにはリモートパワーオンの設定が必要です。MA66H/Lで利用す る場合は、別売のDMITOOL Ver8.1(pcAnywhere[™] 9.0 EXホスト専用 版付)が必要です。

- 「活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の
 「Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC Extensions)」
 リモートパワーオンの設定「PART2 システム設定(省スペース型、ミニタ
 ワー型の場合)」「Bootの設定(P.160)および「Securityの設定(P.147)、
 「PART3 システム設定(デスクトップ型の場合)」「Power Management
 Setupの設定(P.175)および「Security Setupの設定(P.189)
 「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード」「リモートパワーオン機能の設
 定について(Windows Meの場合)」(P.110)またば「リモートパワーオン機
 能の設定について(Windows 98の場合)」(P.113)
- チェック
 ジチェック
 ジ・前回のシステム
 終了が正常に行われなかった場合、リモートパワーオン機能にて
 電源を入れることはできません。一度
 電源スイッチを
 押して
 起動させ、
 再度、正常な方法で
 電源を切ってください。
 - デスクトップ型およびミニタワー型でWindows Meの場合、電源が切れている状態からリモートパワーオン機能で電源を入れることはできません。省スペース型のみ可能です。
 - Windows 98のACPIモードではリモートパワーオン機能で電源を入れる ことができません。APMモードでのみ可能です。ただし、スタンバイ状態 からの復帰についてはACPIモードでも可能です。

リモートコントロール

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「pcAnywhere 9.2 EX」

本機のデータやシステムファイルなどのバックアップ、ファイル転送、ア プリケーションのインストール、アプリケーションの実行などの操作 ()を離れたところにあるシステム管理者のマシンから、本機を操作す ることができます。その際にはシステム管理者のマシンに別売の DMITOOL Ver 8.1(pcAnywhere[™] 9.0 EXコンプリート版付)、または pcAnywhere(Symantec社製)が必要です。MA66H/Lで利用する場合は、 別売のDMITOOL Ver8.1(pcAnywhere[™] 9.0 EXホスト専用版付)が必 要です。

なお、商品の最新情報は、インターネットの次のホームページで提供して います。

http://121ware.com/

アプリケーションによっては、できないものがあります。

ネットワークブート

別売のESMPRO/ClientManager Ver3.1以上により、OSのセットアッ プ、BIOSフラッシュ(BIOS ROMの書き換え)、BIOS設定変更の操作を 管理者側のパソコンから複数のクライアントPCに対して一括でリモー ト操作することができます。MA66H/Lではご利用になれません。

参照「PART2 システム設定(省スペース型、ミニタワー型の場合)」Advanced
の設定(P.137)

一括ファイル配信

管理者PCからリモート操作で、複数のクライアントPCに対して一括で ファイルやアプリケーションの配信が行えます。管理者PCには別売の ESMPRO/DeliveryManager、クライアントPCには別売のESMPRO/ DeliveryManagerクライアントが必要です。

クライアントモニタリング

Intel[®] LANDesk[®] Client Manager 6(with NEC Extensions)により、 離れたところにあるマシンから本機の状態を知ることができます。また、 システム管理者が別売のPCMANAGER Ver3.0などを利用して一括でク ライアントPCの障害情報を監視できます。 MA66H/Lで利用する場合は、別売のDMITOOL Ver8.1(pcAnywhere[™] 9.0 EXホスト専用版付 が必要です。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC Extensions)」

資源管理

本機のメモリ容量、PCIスロットの使用状況などのハードウェア構成 およびインストールされているソフトウェアについての情報が得られ ます。また、離れたところにあるマシンから、本機の情報を知ることが できます。

状態監視

筐体内温度、電圧、CPUファン監視機能から障害監視機能が異常値を 検出すると、本機の状態監視アイコンやポップアップメッセージによ り異常を通知し、バックアップツールの連携操作などができます。また、 離れたところにあるマシンから、本機の状態を知ることができます。

OFF state Alert II機能

本機の電源が切れている状態での筐体の開閉、CPU/LANケーブル抜け 等の異常を検出し、LANで接続された管理者側パソコンに通知します。ま た、オペレーティングシステムがハングアップした場合、LANで接続され た管理者側パソコンに通知し、管理者側パソコンからリモートで電源を 切ったり、再起動させることができます。なお、この機能を使用する場合、 管理者側パソコンに別売のESMPRO/ClientManager Ver3.2以上また はDMITOOL Ver8.1(pcAnywhere™ 9.0 EXコンプリート版付)をイン ストールする必要があります。

MA66H/C、MA66H/Z、MA66H/L、MA10T/S、MA80T/S、MA66H/Sで はご利用になれません。なお、商品の最新情報は、インターネットの次の ホームページで提供しています。

http://121ware.com/

<u>参照</u>『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC Extensions)」



システム設定(省スペース型、ミニタワー型の場合)

この章では、BIOSセットアップメニューについて説明します。BIOSセットアップメニューは、セキュリティ、省電力など本機の使用環境を設定することができます。

デスクトップ型をご利用の場合は、「PART3 システム設定(デスクトップ型の場合)(P.163)をご覧ください。

この章の読み方

次ページの「BIOSセットアップメニューについて」を読んだ後に、目的に あわせて該当するページをお読みください。

この章の内容

BIOSセットアップメニューについて	130
Main の設定	133
Advanced の設定	137
Security の設定	147
Power の設定	153
Boot の設定	160

BIOSセットアップメニューについて

本機には、使用環境を設定するためにBIOSセットアップメニューが内蔵 されています。

BIOSセットアップメニューの起動と初期画面

 電源を入れた直後に表示される「NEC」ロゴの画面で、「Press F2 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot. () と表示されたら、【F2】を押す 以下の画面が表示されます。

> メニューを日本語に設定した場合は、「F2:BIOSセットアップ メニューを起動します、F12:ネットワークプートします。」と 表示されます。

	Phoe	enixBIOS Setu	ıp Utility			1	
Main Adv	anced Security	/ Power	Boot	Exit			メニューバー
System Time	:	[hh:mm:ss]			Item Specific Help	=	
System Date		[mm/dd/yy	/y]		<tab>, <shift-tab>, or</shift-tab></tab>		
Language : Legacy Diske Legacy Diske Primary Mast Primary Slave Secondary M Secondary Slave	tteA : tteB : er : s: aster : ave :	[English(US [1.44/1.25 M [Disabled] [××××MI [None] [CD-ROM] [None]	5)] B 3.5"] B]		<enter> selects field</enter>		パラメータ
Keyboard Fea Boot-time Dia	atures Ignostic Screen	[Disabled]					
System Mem	ory	640KB					
Extended Me	mory	× × KB					
BIOS Revisio	n	* * * * * *	< × ×			_	
F1 Help	Select Item	-/+ Ch	ange Valu	es	F9 Step Defaults	1-	+
Esc Exit	Select Menu	Enter Sele	ct 🕨 Sub-N	lenu	F10 Save and Exit		+-,,-,,,,,

メモ

BIOSセットアップメニューの基本操作

- ・【 】 】 】 】で設定項目および設定項目内を選択します。
- ・「Date J Time 」の設定ではカーソル移動は Tab Jで行います。
- ・【Enter】で設定項目を表示します。

BIOSセットアップメニューの終了

メニューバーの^FExit 」の選択項目

選択項目	説明
Exit Saving Changes	変更した内容を保存してから終了します。
	(【F10】を押す終了方法と同じ)
Exit Discarding Changes	変更した設定を保存せずに終了します。
Load Setup Defaults	省スペース型およびMA15S/Mの場合、す
	べての選択項目を工場出荷時の設定値に戻
	します。MA10T/M、MA80T/Mの場合、
	すべての選択項目をデフォルト値に戻します。
	なお、ここでの「デフォルト値」は工場出荷時
	の設定値ではありません。(【F9】を押す方
	法と同じ)
Discard Changes	変更前の値に戻します。
Save Changes	変更した値を保存します。

▲ デフォルト値を読み込むときの注意

MA10T/M、MA80T/Mの場合、「デフォルト値」は工場出荷時の設定 値ではありません。工場出荷時の設定値に戻すには、デフォルト値を 読み込んだ後、ご使用のモデルにあわせて設定を変更する必要があり ます。必ず、次の「工場出荷時の設定値に戻す」に進み、手順に従っ てください。

工場出荷時の設定値に戻す

工場出荷時の設定値に戻す方法について説明します。

- **省スペース型および**MA15S/M**の場合**
 - 1 電源を入れる
 - 2 「NEC」ロゴの画面で、「Press F2 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot.」と表示されたら、【F2】を押す BIOSセットアップメニューが表示されます。
 - 3 【F9】を押す

「Setup Confirmation」のダイアログボックスが表示されます。

- Yes」を選択し、[Enter]を押す
 工場出荷時の設定値を読み込みます。
- 5 【F10】を押す 「Setup Confirmation」のダイアログボックスが表示されます。
- Yes」を選択し、【Enter】を押す 設定値が保存され、BIOSセットアップメニューが終了します。

以上で作業は終了です。



MA10T/M、MA80T/M**の場合**

- 1 電源を入れる
- 2 「NEC」ロゴの画面で、「Press F2 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot.」と表示されたら、【F2】を押す BIOSセットアップメニューが表示されます。
- 3 【F9】を押す

「Setup Confirmation」のダイアログボックスが表示されます。

- 4 「Yes」を選択し、【Enter】を押す デフォルト値を読み込みます。
- 5 メニューバーの「Advanced」「Plug & Play O/S」を「Yes」 に設定する
- 6 メニューバーの「Advanced」「I/O Device Configuration」 「Serial port A」を「Enabled」、「Serial port B」を「Disabled」、「Parallel port」を「Enabled」、「Parallel port」「Mode」を「Bi-directional」に設定する
- 7 メニューバーの「Power」「Power Savings」を「Customized」 に設定する
- 8 【F10】を押す
- 9 「Yes」を選択し、【Enter】を押す
 設定値が保存され、BIOSセットアップメニューが終了します。

以上で作業は終了です。

Mainの設定

Mainの設定

()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで起動したとき に変更可能な項目です。

System Time() 現在の時刻を「時:分:秒」で入力します。

System Date**()** 日付を「月/日/年」で入力します。

Language()

BIOSで使用する言語を設定します。日本語または英語を選択できます。工場出荷時は「English(US)」に設定されています。

Legacy Diskette A

フロッピーディスクドライブのモードを選択します。

省スペース型でスーパーディスクドライブが搭載されているモデルは 「Disabled」に設定されています。フロッピーディスクドライブが搭載 されているモデルおよびNetPCモデルば 1.44/1.25MB 3 1/2 "」に 設定されています。

「Disabled」にするとフロッピーディスクドライブが使用できなくな ります。(1/0ロック)

設定項目	設定内容	
Legacy Diskette A	Disabled	
	360 Kb	5 1/4"
	1.2 MB	5 1/4"
	720 Kb	3 1/2"
	1.44/1.25 MB	3 1/2"
	2.88 MB	3 1/2"

Legacy Diskette B

「Legacy Diskette A」の設定と同じです。工場出荷時は「Disabled」に 設定されています。本項目が表示されない機種もあります。

Primary Master

現在接続されているIDEデバイス(工場出荷時に内蔵されているハードディスクドライブ)が表示されます。この項目にカーソルをあわせ 【Enter】を押すと設定画面となります。

▼チェック / 本項目の設定は変更しないでください。

Primary Slave プライマリマスタの設定と同様です。3.5インチベイに増設されるIDE デバイスの設定画面になります。追加ハードディスクドライブが搭載さ れたモデルでは、追加ハードディスクドライブの設定画面になります。

▼チェック!/ 本項目の設定は変更しないでください。

Secondary Master

プライマリマスタの設定と同様です。工場出荷時に内蔵されている CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブの設定画面となります。

▼チェック// 本項目の設定は変更しないでください。



Secondary Slave プライマリマスタの設定と同様です。5インチベイに増設されるIDEデ バイスの設定画面になります。

▼チェック / 本項目の設定は変更しないでください。

SMART Device Monitoring ハードディスクドライブに対してSMART機能を設定します。工場出 荷時は Enabled」に設定されています。本項目はミニタワー型の場合 に表示されます。

Keyboard Features

キーボード機能を設定します。この項目にカーソルをあわせ【Enter 】を 押すとサブメニュー設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
NumLock	Auto /On/Off	起動時にNum lockを有
		効にするかを設定します。
Key Click	Disabled /Enabled	キークリック音を使用す
		るかどうかを設定します。
Keyboard auto-	30/sec.26.7/sec.21.8/sec.	キーリピート間隔を設定
repeat rate	18.5/sec、13.3/sec、10/sec、	します。
	6/sec、2/sec	
Keyboard auto-	1/4sec、1/2sec、	キーリピートが開始され
repeat delay	3/4sec、1sec	るまでの待ち時間を設定
		します。
Legacy USB	Enabled /Disabled	USBレガシー機能を設定し
Support		ます。Windows Meおよび
		Windows 98の場合は、
		「Enabled」に設定してくだ
		さい。Windows 2000の
		場合は「Enabled」、
		Windows NTでPS/2接
		続のキーボードの場合は
		「Disabled」、USB接続のキー
		ボードの場合は「Enabled」
		に設定してください。

設定項目	設定内容	説明
Select USB	Channel 1 /Channel 2	USBレガシー機能の切り替
Channel		えを行います。「Legacy
		USB Support」を「Enabled」
		にした場合、システム設定で
		本体背面のUSBコネクタを
		使用する場合は「Channel
		1」、本体前面のUSBコネク
		タを使用する場合は
		「Channel 2」に設定します。
		Windows NTでUSB接続
		の キ ー ボ ード の 場 合 は
		「Channel 1」に設定して
		本体背面のUSBコネクタを
		利用してください。本項目は
		MA15S/Mの場合に表示
		されます。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

Boot-time Diagnostic Screen

起動時に自己診断画面を表示するかを設定します。「Enabled」にする とNECのロゴを表示せずに自己診断画面を表示します。工場出荷時は Disabled JCJ.



● チェック パ エラーメッセージが表示された場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』トラ ブル解決Q&A」をご覧ください。

> System Memory 搭載されているシステムメモリ容量を表示します。

Extended Memory 搭載されている拡張メモリ(メインRAM)を表示します。

BIOS Revision 搭載されているBIOSのリビジョンを表示します。



Processor Serial Number

CPU Serial Number() 「Processor Serial Number」機能を設定します。工場出荷時は 「Disabled」に設定されています。MA15S/Mの場合は表示されません。

Advancedの設定

Advancedの設定

()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで起動したとき に変更可能な項目です。ミニタワー型をユーザパスワードで起動した場 合、「Advancedの設定」が選択できなくなります。

Plug & Play O/S

プラグ&プレイ対応のオペレーティングシステムを使用している場合は、「Yes」を選択します。工場出荷時は「Yes」に設定されています。 Windows NTをご利用の場合は「No」に設定してください。

Reset Coniguration Data

PCIボードなどのプラグ&プレイ機器の設定値のみを初期化したい場合には、「Yes」を選択します。工場出荷時ば No」に設定されています。 ただし、「Yes」に設定した後、再度BIOSセットアップメニューを起動 すると「No」に戻ります。

PCI Configuration

各PCIデバイスの割込み番号(IRQ)を設定します。この項目にカーソル をあわせ【Enter】を押すとサブメニューの設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
PCI IRQ line 1	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 1で使用す
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	るIRQ番号を設定します。
PCI IRQ line 2	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 2で使用す
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	るIRQ番号を設定します。
PCI IRQ line 3	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 3で使用す
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	るIRQ番号を設定します。
PCI IRQ line 4	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 4で使用す
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	るIRQ番号を設定します。

設定項目	設定内容	説明
PCI IRQ line 5	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 5で使用す
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	るIRQ番号を設定します。
		本項目はMA15S/Mの場
		合に表示されます。
PCI IRQ line 6	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 6で使用す
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	るIRQ番号を設定します。
		本項目はMA15S/Mの場
		合に表示されます。
PCI IRQ line 7	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 7で使用す
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	るIRQ番号を設定します。
		本項目はMA15S/Mの場
		合に表示されます。
PCI IRQ line 8	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 8で使用す
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	るIRQ番号を設定します。
		本項目はMA15S/Mの場
		合に表示されます。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

PCI Configurationの設定項目とPCIスロットは、次のように対応して います。

設定項目	省スペース型	MA10T/M、 MA80T/M	MA15S/M
PCI IRQ line 1	LANボードまたは	PCIスロット#4	PCIスロット#1、
	FAXモデムボード		PCIスロット#5
	専用スロット		
PCI IRQ line 2	PCIスロット#1	PCIスロット#1、	
		PCIスロット#5	-
PCI IRQ line 3	PCIスロット#2	PCIスロット#2	PCIスロット#2
PCI IRQ line 4	-	PCIスロット#3	-
PCI IRQ line 5	-	-	-
PCI IRQ line 6	-	-	PCIスロット#3
PCI IRQ line 7	-	-	PCIスロット#4
PCI IRQ line 8	-	-	-

NetPC**の場合は、**LANボードのみ



▼チェック // 本項目の設定は変更しないでください。

CPU Level2 Cache ECC Check 本項目はMA10T/M、MA80T/Mの場合に表示されます。

▼チェック // 本項目の設定は変更しないでください。

Cache Memory

▼チェック // 本項目の設定は変更しないでください。

I/O Device Configuration

入出力機器の設定を行います。この項目にカーソルをあわせ【Enter 】を 押すとサブメニューの設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
Serial port A	Disabled	シリアルポートAが使用で
(シリアルコネク		きなくなり(1/0ロック)、
タまたはシリア		割り込みが開放されます。
ルコネクタ1)	Enabled	1/0ベースアドレスと割り
		込みが設定できます。
	Auto	1/0ベースアドレスと割り
		込みを自動的に設定します。
Base I/O	3F8/2F8/3E8/2E8	I/Oベースアドレスを設定
Address		します。
Interrupt	IRQ3/ IRQ4	割込み番号を設定します。
Serial port B	「Serial port A」と同様	工場出荷時は、「Disabled」
(シリアルコネクタ	です。	です。省スペース型の場
2)		合は表示されません。
Mode	Normal /IR	シリアルポートBのモード
		を設定します。

設定項目	設定内容	説明
Parallel port	Disabled	パラレルポートが使用でき
(パラレルコネクタ)		なくなり(1/0ロック)、割り
		込みが開放されます。
	Enabled	パラレルポートのモード、
		1/0ベースアドレス、割込
		み番号を設定できます。
	Auto	自動的にパラレルポートを
		設定します。
Mode	Output only/	モードを設定します。ミニ
	Bi-directional /	タワー型のみ「EPP」が表
	EPP/ECP	示されます。ご利用のプリ
		ントのモードについては、
		プリンタのマニュアルをご
		覧ください。
DMA Channel	DMA 1 /DMA 3	パラレルポートがECPモー
		ドのときに使用するDMA
		チャネルを設定します。
		「Mode」で「ECP」を選
		択した場合に表示されます。
Base I/O	378/278/3BC	オプションを使用してパラ
Address		レルポートに1/0アドレス
		を設定します。
Interrupt	IRQ5/IRQ7	パラレルポートに割込み番
		号を設定します。

設定項目	設定内容	説 明
Floppy Disk	Disabled/	フロッピーディスクコント
Controller	Enabled /Auto	ローラの使用を設定します。
		工場出荷時は、フロッピー
		ディスクドライブが搭載さ
		れているモデルの場合は
		「Enabled」、省スペース
		型のスーパーディスクドラ
		イブが搭載されているモ
		デルおよびNetPCモデル
		の場合は「Disabled」です。
		「Disabled」ではフロッピー
		ディスクコントローラが使用
		できなくなります(1/0ロック)。
Base I/O	Primary /Secondary	フロッピーディスクコント
Address		ローラの1/0ベースアドレ
		スを設定します。省スペー
		ス型の場合に表示されます。
Game Port &	Disabled 注意	Midiポートが使用できな
Midi		くなり、割り込みが開放さ
(MIDI/Joystic		れます。本項目はミニタワー
コネクタ)		型の場合に表示されますが、
		変更しないでください。
	Enabled	1/0ベースアドレスと割り
		込みが設定できます。 本項
		目はミニタワー型の場合
		に表示されますが、変更し
		ないでください。
	Auto 注意	1/0ベースアドレスと割り
		込みを自動的に設定します。
		本項目はミニタワー型の
		場合に表示されますが、変
		更しないでください。

注意 工場出荷時は、MA15S/Mが「Disabled」、MA10T/Mおよび MA80T/Mが「Auto」に設定されています。

設定項目	設定内容	説明
Base I/O	200/208/210/218	MidiポートのI/Oベースア
Address	(201 /209/211/219)	ドレスを設定します。本項
		目はミニタワー型の場合
		に表示されますが、変更し
		ないでください。()内
		はMA15S/Mの場合の表
		示です。
Base I/O	300 IRQ_5/310 IRQ_10/	Midiポートの割り込みを
Address/IRQ	320 IRQ_5/330 IRQ_10	設定します。本項目はミニ
		タワー型の場合に表示さ
		れますが、変更しないでく
		ださい。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

参照 I/O ロック 「Securityの設定 (P.151)

Large Disk Access Mode

▼チェック!/ 本項目の設定は変更しないでください。

Local Bus IDE adapter

内蔵用のIDEアダプタを使用するかを設定します。工場出荷時は 「Both」に設定されています。「Primary」ではセカンダリマスタ/スレー プ接続のIDEデバイスが、「Secondary」ではプライマリマスタ/スレー プ接続のIDEデバイスが、「Disabled」ではすべてのIDEデバイスが使 用できなくなります(I/Oロック)。



Advanced Chipset Control 本項目はミニタワー型の場合に表示されます。

▼チェック / 本項目の設定は変更しないでください。

QuickBoot Mode

「Enabled」に設定した場合、本機起動時の一部のテストをスキップします。システム起動時間が短縮されます。工場出荷時は「Enabled」に設定されています。



Sound

サウンドのリソースを設定します。本項目は、省スペース型の場合に表 示されます。

設定項目	設定内容	説明
Sound	Disabled	サウンドを切り離します。
	Enabled	サウンドが使用できます。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。



Summarv Screen

「Enabled」に設定すると起動時にシステム設定状況を表示します。工 場出荷時ば Disabled」に設定されています。本項目はMA15S/Mの場 合に表示されます。

AC97 Audio

内蔵サウンドの使用を設定します。工場出荷時は Enabled です。本項 目はミニタワー型の場合に表示されます。



AC97 Modem

本項目はミニタワー型の場合に表示されます。

▼チェック // 本項目の設定は変更しないでください。

DMI Event Logging

起動時に起きたイベントログを参照できます。この項目にカーソルを あわせて【Enter】を押すとサブメニューの設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
View DMI	(設定項目はありません)	【Enter】を押すとDMIイ
Event Log		ベントログを表示します。
Clear All DMI	No /Yes	「Yes」を選択すると、再
Event Logs		起動後すべてのDMIイベ
		ントログをクリアします。
Event Logging	Enabled /Disabled	「Enabled」ではDMIイベ
		ントログを記録します。
ECC Event	Disabled/ Enabled	「Enabled」ではメモリエ
Logging		ラーのDMIイベントログを
		記録します。ミニタワー型
		の場合に表示されます。

設定項目	設定内容	説明
Mark DMI	Yes/No	【Enter】を押し、「Yes」
Events As		を選択すると表示されて
Read		いるログは既読状態となり
		ます。

×E

DMI(Desktop Management Interface)とは、システム管理を行うため に各PCの管理を容易に行うためのハードウェア/ソフトウェアのインタ フェースの標準仕様のことです。

LANDesk(R)Service() 本体BIOSに標準搭載しているLANDeskService機能の設定を行いま す。工場出荷時ば Enabled」に設定されています。本項目は、MA10T/C、 MA86T/C、MA80T/Cの場合に表示されます。

- Serviceを使用するには、管理者側のパソコンに別売の ESMPRO/ClientManagerが必要です。
 - 参照 ネットワークブート 「PART1 本体の構成各部」の「Mateセキュリティ/マ ネジメント機能(P.120)

Preboot Management()

Preboot Management機能の設定を行います。工場出荷時は 「Disabled」に設定されています。本項目はMA15S/Mの場合は表示さ れません。



Default Primary Video Adapter

プライマリのグラフィックカードの設定をします。「AGP」では本体内 蔵のグラフィックカードを、「PCI」ではPCIスロットに挿入された別売 のグラフィックカードを優先して使用します。工場出荷時は「AGP」で す。本項目はミニタワー型の場合に表示されます。


Hardware Monitor Control

本機の状態監視を設定します。この項目にカーソルをあわせ【Enter】を 押すとサプメニューの設定画面となります。本項目はミニタワー型の 場合に表示されます。

設定項目	設定内容	説 明
System Temperrature	(設定項目はありません)	筐体内の温度を表示します。本
		項目はMA15S/Mの場合は表
		示されません。
CPU Temperrature		CPUの温度を表示します。本項
		目はMA15S/Mの場合は表示
		されません。
CPU Fan Speed		スピードは表示されません。本項
Power Fan Speed		目はMA15S/Mの場合は表示
System Fan Speed		されません。
VCore Voltage		CPUのコア電圧を表示します。
		本項目はMA15S/Mの場合は
		表示されません。
Vtt1.5 Voltage		ホストバスの駆動電圧を表示し
		ます。本項目はMA15S/Mの場
		合は表示されません。
+3.3V Voltage		システムの駆動電圧を表示します。
+5.0V Voltage		本項目はMA15S/Mの場合は
+12V Voltage		表示されません。
+5Vsb Voltage		サブ駆動電圧を表示します。本
		項目はMA15S/Mの場合は表
		示されません。
Battery Voltage		バッテリーの電圧を表示します。
		本項目はMA15S/Mの場合は
		表示されません。
Chassis Intrusion	Disabled / Enabled	筐体の開閉監視を設定します
		(ルーフカバーオープン検知)。
		工場出荷時は、MA15S/Mが
		「Disabled」、MA10T/Mおよ
		びMA80T/Mが「Enabled」に
		設定されています。なお、メッセー
		ジを解除する場合は、「Reset
		Chassis Intrusion」を「Yes」
		にして再起動してください。

は、工場出荷時の設定値です。

設定項目	設定内容	説明
Reset Chassis	No /Yes	筐体の開閉監視の初期化を設定し
Intrusion		ます。「Yes」で初期化します。 再
		起動時には「No」に設定されます。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

● チェック // MA10T/MおよびMA80T/Mは、メモリやハードディスクドライブ、PCIボードなどの内蔵機器を取り付ける目的などで、本体のレフトカバーを取り外した場合、次回から起動するごとに、NECロゴ画面の後に、「The system chassis has been opened.」または「本体カバーが開かれました。」のメッセージが表示されます。

これは、本装置のルーフカバーオープン検知機能により、レフトカバーが取り 外されたことを警告するものです。この場合は、メモリ、ハードディスクドラ イブが盗難されていないか、スーパバイザパスワード・ユーザパスワードが解 除されていないか、データの改ざん、コンピュータウイルスの侵入がないか調 査した後、問題がないようでしたら下記の手順により警告を解除してください。次回起動時より、メッセージは表示されなくなります。

起動時、NECロゴの画面で、「Press <F2> to Enter BIOS Setup, <F12> to Network Boot.」と表示されたら、【F2】を押す

BIOSセットアップメニューが起動します。

メニューバーの「Advanced」「Hardware Monitor Control」の「Reset chassis intrusion」を「Yes」に設定する

【F10】を押す

「Yes」を選択し、【Enter】を押す

設定値が保存され、BIOSセットアップメニューが終了します。

以上で作業は終了です。

本機能を使用しない場合は、メニューバーの「Advanced」「Hardware Monitor Control 」の「Chassis intrusion 」を「Disabled 」に設定してく ださい。

次回起動時から、本機能は無効になります。

また、Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extentions) をご使用の場合、カバーが取り外されたことが通知されますが、「資産管 理」のクリアボタンを押しても通知を解除することはできません。通知の クリアは上記の手順で解除してください。

Securityの設定

Securityの設定

セキュリティに関する各種設定を行います。 項目の右側に()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで 起動したときに変更可能な項目です。

 ジチェック パスワード/オーザパスワード、BIOS LOCK、ハードディスク パスワードを設定する場合は、パスワードやパスワードの解除の方法を忘れ たときのために、事前にこの「Securityの設定」および『ハードウェア拡張ガ イド』 PART5 付録」の「ストラップスイッチの設定」を印刷しておくことを おすすめします。

Supervisor Password Is

スーパバイザパスワードの設定状態を表示します。工場出荷時は 「Clear」です。

設定項目	設定内容	説明
Supervisor	(設定項目は	「Set」が表示された場合、スー
Password Is	ありません)	パバイザパスワードが設定され
		ています。
		「Clear」が表示された場合、スー
		パバイザパスワードが設定され
		ていません。

Set Supervisor Password スーパバイザパスワードを設定します。

設定項目	設定内容	説明
Set Supervisor	(パスワード	項目にカーソルをあわせて
Password	を設定します)	【Enter】を押すとスーパバイ
		ザパスワードの設定画面になり
		ます。

User Password Is スーパバイザパスワードと同じ表示です。

Set User Password() スーパバイザパスワードと同じ設定です。

- ぐチェック
 デ購入元、NECに本機の修正を依頼される際は、設定したパスワードを解除、 および無効にしておいてください。
 - 参照 NECの問い合わせ先 『NEC PCあんしんサポートガイド』

メモ

スーパバイザパスワードとはBIOSセットアップメニューの使用者を制 限するための機能です。

スーパパイザパスワードの設定を行うとBIOSセットアップメニュー起 動時、パスワードの入力画面となり設定されたスーパパイザパスワード を入力しない限りBIOSセットアップメニューの起動はできません。 ユーザパスワードとはBIOSセットアップメニューの使用者を制限 し、BIOSセットアップメニューで設定可能な項目も制限するための 機能です。

Security Mode

セキュリティモードを選択します。「Password」と「SmartCard」と「FingerPrint」が選択できます。工場出荷時は「Password」です。

- ・「Password」 スーパバイザ/ユーザパスワード設定時に設定 します。
- ・「SmartCard」…… スマートカード使用時に設定します。
- ・「FingerPrint」 ... 指紋認証ユニット使用時に設定します。

Password On Boot

起動時にパスワード入力を行うかの設定をします。「Security Mode」 が Password の場合に表示されます。リモートパワーオン機能を利用 するときは、「Network Boot Setting 」の「BIOS LOCK」を「Disabled」 に設定します。工場出荷時は「Disabled」です。

Fixed disk boot sector

ハードディスク起動セクタを書き込み禁止にするかの設定をします。 「Write Protect」にすると起動セクタをウィルスから保護します。工場 出荷時は「Normal」です。 Diskette Access

下記の設定の後、「Supervisor」に設定するとスーパバイザ以外フロッ ピーディスクドライブにアクセスできなくなります。工場出荷時は 「Supervisor」です。

- ・スーパバイザ/ユーザパスワードを設定
- ・「Password On Boot」を「Enabled」に設定

Network Boot Setting

この項目にカーソルをあわせ、【Enter】を押すと、サブメニュー設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
Keyboard/	Disabled/ Enabled	「Enabled」を選択すると、
Mouse Lock		リモート起動時(OSが起
		動されるまで)にキーボー
		ド/マウスをロックします。
BIOS LOCK	Enabled/ Disabled	「Disabled」を選択すると、
		「Password On Boot」
		で「SmartCard」または
		「FingerPrint」が設定さ
		れていてもリモート起動時
		にパスワード入力を要求し
		ません。この項目は、パス
		ワードを設定した場合、ス
		マートカードリーダまたは
		指紋認証ユニットを接続し
		た場合に表示されます。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

- ジチェック // ここでのリモート起動時とは、管理者側のパソコンからクライアントPC(本
 機)をリモートパワーオン機能により起動することを指します。
 - 参照 リモートパワーオン機能「PART1 本体の構成各部」の「Mateセキュリ ティ/マネジメント機能(P.120)

Virus check reminder

起動時に警告メッセージを表示します。表示するタイミングは 「Disabled」「Daily」「Weekly」「Monthly」の中から選択します。工場 出荷時は「Disabled」に設定されています。 System backup reminder

起動時に警告メッセージを表示します。表示するタイミングは 「Disabled」「Daily」「Weekly」「Monthly」の中から選択します。工場 出荷時ば「Disabled」に設定されています。二度と同じものを作れない ような大切なデータがある場合には、定期的にバックアップをとれる よう、設定を変更することをおすすめします。

Cover Open Check

「Enabled」を選択すると、本体のカバーが取り外された状態では起動 できなくなります。なお、メッセージを解除する場合は、「Disabled」に 設定して再起動してください。工場出荷時は「Disabled」に設定されて います。本項目は、省スペース型の場合に表示されます。

Assign HDD Password

ハードディスクドライブ(プライマリマスタ、プライマリスレーブ)に パスワードを設定します。ハードディスクパスワードには、ハードディ スクマスタパスワード(HDD Master Password)とハードディスク ユーザパスワード(HDD User Password)の2つがあります。【Enter】 を押すとハードディスクマスタパスワードの設定画面が表示され、 ハードディスクマスタパスワードを設定すると、ハードディスクユー ザパスワードの設定画面が表示されます。次にプライマリマスタまた はプライマリスレーブの設定を【+【-】で行います。なお、プライマリマ スタまたはプライマリスレーブの設定を変更されないよう、スーパバ イザパスワードを設定してください。

- ジチェック // ご購入元、NECに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除、 および無効にしてください。
 - 参照 NECの問い合わせ先 『NEC PCあんしんサポートガイド』
 - ハードディスクマスタパスワード(HDD Master Password) ハードディスクマスタパスワードは、ハードディスクユーザパスワー ドを解除するためのパスワードです。ハードディスクマスタパスワー ドの解除方法については、後述の「ハードディスクパスワードの場合」 (P.152)をご覧ください。
 - ・ハードディスクユーザパスワード(HDD User Password)
 ハードディスクユーザパスワードは、本機とハードディスクドライブの認証を行うためのパスワードです。ハードディスクユーザパスワードを設定することにより、本機以外でハードディスクドライブの不正使用を防止できます。

⚠注意

設定したパスワードを忘れないように控えておくことをおすすめしま す。パスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデー タは、当社でも取り出せなくなります。また、パスワードを忘れたため に使用できなくなったハードディスクドライブを交換する場合は有償 になります。ハードディスクドライブのパスワードは忘れないように 十分に注意して下さい。

設定項目	設定内容	説明
Primary	Enabled/ Disabled	ハードディスクドライブ(プ
Master HDD		ライマリマスタ)へ、ハード
Password		ディスクパスワードを設定
		します。
Primary Slave	Enabled/ Disabled	追加ハードディスクドライ
HDD Password		ブ(プライマリスレーブ)へ、
		ハードディスクパスワード
		を設定します。追加ハード
		ディスクドライブを搭載し
		たミニタワー型の場合に表
		示されます。

網かけの部分というは、工場出荷時の設定値です。

本機、プライマリマスタにインストールされたWindows)を起動する場 合、「Primary Master HDD Password」を「Enabled」にしても、設定した ハードディスクマスタパスワードやハードディスクユーザパスワードを 入力する必要はありません。

メモ

I/Oロックは、外部とのデータ交換の手段であるI/Oを使用しないように する(ロックする)機能です。BIOSセットアップメニューのI/Oを 「Disabled」に設定することでロックを有効にすることができます。対象 となるインターフェイスは、フロッピーディスクドライブA、シリアル ポートA、シリアルポートB、パラレルポート、MIDIポートです。

パスワードの解除

スーパバイザ/ユーザパスワードおよびハードディスクマスターパス ワードの場合 本機では、BIOSセットアップメニューの使用者をスーパバイザパス ワード/ユーザパスワードの設定により制限したり、本機以外のパーソ ナルコンピュータでのハードディスクドライブの不正使用をハード ディスクパスワードで防止しています。パスワードを入れて【Enter】を 押すと解除されます。もし、スーパバイザ/ユーザパスワードを忘れて しまった場合のパスワードの解除方法についてば、ハードウェア拡張 ガイド』PART5 付録」の「ストラップスイッチの設定」をご覧ください。

> ハードディスクパスワードの場合 次の手順でハードディスクドライブのパスワードをすべて解除してく ださい。

1 BIOSセットアップメニューを起動する

参照 「PART2 システム設定」の「BIOSセットアップメニューについて(P.130)

- 2 「Security」を選ぶ
- 3 「Assign HDD Password」を選んで、【Enter】を押す ハードディスクパスワードの入力画面が表示されます。
- 4 ハードディスクマスタパスワードを入力する
- 5 【Enter】を押す
- 6 【Enter】を押す セットアップ通知画面が表示されますので、BIOSセットアップメニューの変更を保存して終了してください。

以上でハードディスクドライブのパスワードがすべて解除されます。

Powerの設定

Powerの設定 Windows MeおよびWindows 98のACPIモードの場合)

Windows MeおよびWindows 98をACPIモードに変更した場合の本機 の省電力管理設定を行います。

表示が異なるところは、省スペース型、ミニタワー型の順に記述してあり ます。

ミニタワー型をユーザパスワードで起動した場合、「Powerの設定」の項目は設定できなくなります。

「Power Savings」「Standby Timeout」「Auto Suspend Timeout」 「Hard Disk Timeout」「System Switch」「Power Button Behavior」 の設定は「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」「電源の 管理」で行ってください。

参照 / 電源の管理」の設定 Windowsのヘルプ

ジチェック!!
 「System Switch」、「Power Button Behavior」の設定は無効になり、「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」の「電源の管理」の「詳細設定」タブの「コンピュータの電源ボタンを押したとき」の設定が有効になります。Windows Meの工場出荷時およびWindows 98のACPIモード変更後は、「電源オフ」、「シャットダウン」に設定されています。
 「コンピュータの電源ボタンを押したとき」の設定を「電源オフ」、「シャットダウン」から「スタンバイ」または「休止状態」に変更した場合、電源を切る操作は次のようになります。

正しく電源を切る方法

「スタート」ボタン 「Windwsの終了」をクリック

「終了」、「電源を切れる状態にする」を選択して「OK」ボタンをクリック 自動的に電源が切れます。

強制的に電源を切る方法

Windows 98のAPMモードと同じ方法(P.155)で切ってください。

Power Savings

本項目の設定は無効になります。

Auto Suspend Timeout 本項目の設定は無効になります。

Hard Disk Timeout 本項目の設定は無効になります。

System Switch、Power Button Behavior 本項目の設定は無効になります。



Power Loss Resume() AC電源(AC100V)が失われ、再投入したとき、どの状態に復旧するかを 設定します。本項目はミニタワー型の場合に表示されます。

設定項目	設定内容	説明
Power Loss	Keep Off	AC投入時に電源は入りま
Resume		せん。
	Keep Loss	AC電源が失われたときの
		状態に戻します。電源が入っ
		ている状態でAC電源が切
		られた場合は、電源が入り
		ます。電源が切れている状
		態でAC電源が切れた場合
		は、電源は入りません。
	Keep On	AC投入時に電源が入り
		ます。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。MA15S/Mは Keep Loss 、MA10T/MおよびMA80T/Mは Keep Off 」に設定されてい ます。

Keyboad Power On 本項目はミニタワー型の場合に表示されます。本項目の設定は変更し ないでください。



本項目はミニタワー型の場合に表示されます。本項目の設定は変更し ないでください。

Resume On Modem Ring **本項目の設定は無効になります。**



Resume On PME

PCIデバイス(LANボード等)によって電源を操作します。リモートパ ワーオン機能を利用するには、本項目を「On」に設定します。工場出荷 時は「On」です。本項目はミニタワー型の場合に表示されます。 メモ

PME(PCI Power Management Event)とは管理者のパソコンからクラ イアントPC(本機)をリモートパワーオン機能で起動することです。

参照 リモートパワーオン機能「PART1 本体の構成各部」の「Mateセキュリ ティ/マネジメント機能(P.120)「PART1 本体の構成各部」LAN(ローカ ルエリアネットワーク ボード」の リモートパワーオン機能の設定について (Windows Meの場合)(P.110)

> Resume On Time 本項目の設定は無効になります。

> **Resume Time** 本項目の設定は無効になります。

Powerの設定 Windows 98のAPMモードの場合)

Windows 98のAPMモード 工場出荷時 の場合の本機の省電力管理設定 を行います。

表示が異なるところは、省スペース型、ミニタワー型の順に記述してあり ます。

()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで起動したとき に変更可能な項目です。ミニタワー型をユーザパスワードで起動した場 合、「Powerの設定」の項目は設定できなくなります。

Power Savings()

パワーマネジメントモードを選択します。モードを選択することに よって本機のパワーマネジメント設定を変更します。

設定項目	設定内容	説 明
Power Savings	Disabled	パワーマネジメント機能
		を停止します。
	Customized	自動サスペンドおよびハー
		ドディスクのタイムアウ
		ト時間をユーザが選択で
		きます。
		Auto Suspend Timeout : Off
		Hard Disk Timeout : Disabled

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

設定項目	設定内容	説明
Power Savings	Maximum Power Savings	消費電力を最小限におさ
		えることができます。 この
		ときのタイムアウト時間は
		以下の通りです。
		Auto Suspend Timeout: 5 Minutes
		Hard Disk Timeout: 1 Minute
	Maximum Performance	電力をより多く消費しますが、
		性能は最大限に発揮します。
		このときのタイムアウト時間
		は以下の通りです。
		Auto Suspend Timeout: 60 Minutes
		Hard Disk Timeout: 15 Minutes

♥ チェック?/「Customized」、「Maximum Power Savings」で10分未満に設定した場合、 設定した時間になってもハードディスクの電源が切れないこともありますの でご注意ください。

> Auto Suspend Timeout() 本機が自動的にサスペンド状態に移行するまでの時間を設定します。 工場出荷時は「Off」に設定されています。

- Hard Disk Timeout() ハードディスクの電源が切れるまでの時間を設定します。工場出荷時 は Disabled」です。本項目は省スペース型の場合に表示されます。
- ◆チェック? 10分未満に設定した場合、設定した時間になってもハードディスクの電源が 切れないこともありますのでご注意ください。また、Windows 98のAPM モードで「Hard Disk Timeout」の時間を設定しても、Windowsの電源管理 と「Hard Disk Timeout」で設定時間の短い方の設定が優先されます。



System Switch()

Power Button Behavior

「System Switch」、「Power Button Behavior」は、本体前面にある電 源スイッチをパワーボタンまたはスリープボタンとして利用できるようにする機能です。

工場出荷時の設定は、電源の管理モードが APM モード _かシステムス イッチが Power Button 「On/Off」に設定されています。

- 「Power Button」、「On/Off」に設定した場合は、電源スイッチを押すことによって電源を入れる/切ることができます。
- ・「Sleep Button」「Wake/Sleep」に設定した場合は、電源スイッチを 押すことによってスタンバイ/スタンバイから復帰することができ ます。

「System Switch」、「Power Button Behavior」の設定を「Power Button」、「On/Off (工場出荷時)から「Sleep Button」、「Wake/Sleep」 に変更した場合、または「コンピュータの電源ボタンを押したとき」の 設定を「スタンバイ」に変更した場合の電源を切る操作は、次のように なります。

正しく電源を切る方法

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリック
- 2 「電源を切れる状態にする」を選択して OK」ボタンをクリック 自動的に電源が切れます。

強制的に電源を切る方法

次の方法で強制的に電源を切ることができます。「方法1」で切れない場合は、「方法2」を行ってください。なお、強制的に電源を切った場合は、 本機の電源を入れ直してWindows 98を起動させ、再度、正しく電源を 切ってください。

方法1

1 電源スイッチを押す

電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンパイ状態になり ます。 2 電源スイッチを4秒以上押し続ける 電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、電源が切れると 電源ランプが点灯しなくなります。

方法2

電源スイッチを4秒以上押し続ける
 電源が切れると電源ランプが点灯しなくなります。

Power Loss Resume() AC電源(AC100V)が失われ、再投入したとき、どの状態に復旧するかを

設定します。本項目はミニタワー型の場合に表示されます。

設定項目	設定内容	説明
Power Loss	Keep Off	AC投入時に電源は入りま
Resume		せん。
	Keep Loss	AC電源が失われたときの
		状態に戻します。電源が入っ
		ている状態でAC電源が切
		られた場合は、電源が入り
		ます。電源が切れている状
		態でAC電源が切れた場合
		は、電源は入りません。
	Keep On	AC投入時に電源が入り
		ます。

網かけの部分 は、工場出荷時の設定値です。MA15S/Mば Keep Loss 、MA10T/MおよびMA80T/Mば Keep Off 」に設定されてい ます。

Keyboad Power On 本項目はミニタワー型の場合に表示されます。

▼チェック // 本項目の設定は変更しないでください。



Mouse Power On 本項目はミニタワー型の場合に表示されます。

▼チェック!/ 本項目の設定は変更しないでください。

Resume On Modem Ring()

「On」に設定すると、モデムが呼出し信号を受信したときに、本機をスタンバイ状態から復帰します。なお、この項目は本機でWindows NTをご利用の場合は使用できません。工場出荷時ば「Off」に設定されています。

Resume On PME

PCIデバイス(LANボード等)によって電源を操作します。リモートパ ワーオン機能を利用するには本項目を「On」に設定します。工場出荷時 は「On」です。本項目はミニタワー型の場合に表示されます。

メモ

PME(PCI Power Management Event)とは管理者のパソコンからクラ イアントPC(本機)をリモートパワーオン機能で起動することです。

参照 リモートパワーオン機能「PART1 本体の構成各部」の「Mateセキュリ ティ/マネジメント機能(P.120)「PART1 本体の構成各部」「LAN(ローカ ルエリアネットワーク)ボード」の「リモートパワーオン機能の設定について (Windows 98の場合)(P.113)

Resume On Time()

「On」に設定すると、レジューム時刻設定時間(Resume Time)で本機 をスタンバイ状態から復帰します。工場出荷時ば Off」に設定されてい ます。

Resume Time() レジュームする時刻を設定します。

Boot の設定

電源の設定

AC電源投入時の電源状態や、PCIデバイスにより電源を入れるための設定を行います。

()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで起動したとき に変更可能な項目です。



Restore On AC/Power Loss

AC電源(AC100V)が失われ、再投入されたとき、どの状態に復旧する かを設定します。省スペース型の場合に表示されます。

設定項目	設定内容	説明
Restore On	Power Off	AC投入時に電源は入りま
AC/Power		せん。
Loss	Last state	AC電源が失われたときの
		状態に戻します。電源が入っ
		ている状態でAC電源が切
		れた場合は、電源が入りま
		す。電源が切れている状
		態でAC電源が切れた場合
		は、電源は入りません。
	Power On	AC投入時に電源が入り
		ます。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

On PME()

PCIデバイス(LANボード等)によって電源を操作します。リモートパ ワーオン機能を利用するには、本項目を「Power On」に設定します。工 場出荷時ば Stay Off 」に設定されています。本項目は、省スペース型の 場合に表示されます。

メモ

PME(PCI Power Management Event)とは管理者のパソコンからクラ イアントPC(本機)をリモートパワーオン機能で起動することです。 参照 リモートパワーオン機能「PART1 本体の構成各部」の「Mateセキュリ ティ/マネジメント機能(P.120)「PART1 本体の構成各部」LAN(ローカ ルエリアネットワーク)ボード」の「リモートパワーオン機能の設定について (Windows Meの場合)(P.110)または「リモートパワーオン機能の設定に ついて(Windows 98の場合)(P.113)

起動順位の設定

起動するデバイスを優先順に従ってリスト表示します。本機を起動する デバイス(ブートデバイスともいいます)を設定します。

()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで起動した場合のみ変更可能です。

ミニタワー型をユーザパスワードで起動した場合、「起動順位の設定」の 項目は設定できなくなります。

起動順位(次の表が表示されます)

÷n ⇔	設定内容		説明
設 正	省スペース型および	MA10T/M、	本機を起動するデバイスの
- × H	MA15S/M	MA80T/M	順番を決めます。1~4の
1	Removable Devices	Removable Devices	数字に設定したデバイスの
2	ATAPI CD-ROM Drive	Hard Drive	順番に起動されます。ミニ
3	Hard Drive	ATAPI CD-ROM Drive	タワー型の場合、設定項目
4	Network Boot	Network Boot	は表示されません。

起動するデバイスを変更するには【 】 】を使用して変更したいデバ イスにカーソルをあわせます。【 + 】を押すとリストの上側に移動し、 【 - 】を押すとリストの下側に移動します。 複数のデバイスが存在する「Hard Drive」 Removable Devices 」につ

いてはさらにその中で起動する順位を設定することができます。ミニ タワー型の場合、【Enter】で下位の項目を表示します。

 ◆チェック // 使用環境にあわない起動順序に変更すると正常に動作しなくなる場合があり ますので、変更には十分注意してください。



Hard Drive()

ハードディスクドライブの検索する順番を設定します。 本機は、オペレーティングシステムを検出するまで、表示されたリスト の上から順に検索を続けます。本項目は省スペース型の場合に表示さ れます。なお、SCSIインタフェースボードに接続された機器からブー トする場合は、「PART4 SCSI設定」「SCSI SELECTについて」「使用 上の注意(P.192)をご覧ください。

- Removable Devices()
 取り外し可能なデバイスのうち、内蔵フロッピーディスクドライブ、 スーパーディスクドライブの検索する順番を設定します。
 本機は、フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブが1台なので設定を変更する必要はありません。本項目は省スペース 型の場合に表示されます。
- Removable Format(この項目はスーパーディスクドライブを搭載している装置のみ表示)
 取外し可能なデバイスに挿入されているメディアのフォーマットが、ハードディスクか、取り外し可能デバイスかを設定します。本項目は、省スペース型の場合に表示されます。

Summary Screen

「Enabled」に設定すると起動時にシステム設定状況を表示します。工 場出荷時ば Disabled 」に設定されています。本項目は、省スペース型の 場合に表示されます。



システム設定(デスクトップ型の場合)

この章ではデスクトップ型のBIOSセットアップメニューについて説明 します。BIOSセットアップメニューは、セキュリティ、省電力など本機の 使用環境を設定することができます。

この章の読み方

次ページの「BIOSセットアップメニューについて」を読んだ後に、目的に あわせて該当するページをお読みください。

この章の内容

BIOSセットアップメニューについて	164
Standard CMOS Setup の設定	166
Advanced CMOS Setup の設定	169
Advanced Chipset Setup の設定	174
Power Management Setup の設定	175
PCI / Plug and Play Setup の設定	183
Peripheral Setup の設定	184
Hardware Monitor Setup の設定	187
Auto-Detect Hard Disks の設定	188
Security Setup の設定	189

BIOSセットアップメニューについて

本機には、使用環境を設定するためにBIOSセットアップメニューが内蔵 されています。

BIOSセットアップメニューの起動と初期画面

 本体の電源を入れた直後に表示される「NEC」のロゴ画面で、
 「Press F2 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot.」と表示されたら、【F2】を押す
 以下の画面が表示されます。



×E

BIOSセットアップメニューの基本操作

- ・【 】 】 】 で設定項目を選択します。
- ・設定項目内の選択は Page Up I Page Down Jで設定します。
- ・「Date J Time 」の設定ではカーソル移動は Tab Jで行います。
- ・【Enter】で設定項目を表示します。

BIOSセットアップメニューの終了

終了の選択項目

選択項目	説明
Save Settings and Exit	変更した設定を保存してから終了します。
	(【F10】を押す終了方法と同じ)
Exit Without Saving	変更した設定を保存せずに終了します。
	(【Esc】を押す終了方法と同じ)
Auto Configuration	すべての選択項目をデフォルト値(初期値)
with Optimal Settings	に戻します。(【F9】を押す終了方法と同じ)

▲デフォルト値を読み込むときの注意

「デフォルト値」は、工場出荷時の設定値ではありません。工場出荷時の設定値に戻すには、デフォルト値を読み込んだ後、ご使用のモ デルにあわせて設定を変更する必要があります。必ず、次の「工場 出荷時の設定値に戻す」へ進み、手順に従ってください。

工場出荷時の設定値に戻す

工場出荷時の設定値に戻す方法について説明します。

- 1 本体の電源を入れ、「NEC」ロゴ画面が表示されたら【F2】を押す BIOSセットアップメニューが表示されます。
- 2 「Auto Configuration with Optimal Settings」を選択し、 【Enter】を押す
- 3 「Load high performance settings(Y/N)?」と表示されたら 【Y】を押し、【Enter】を押す
- 4 「Save Settings and Exit」を選択し、【Enter】を押す
- 5 「Save Current Settings and exit(Y/N)?」と表示されたら 【Enter】を押す 設定値が保存され、自動的に再起動します。

Standard CMOS Setupの設定

Standard CMOS Setupの設定

Standard CMOS Setupでは、日付と時刻の設定や、本機の基本的なハードウェア(フロッピーディスクドライブやハードディスクドライブなどのIDEデバイス)の設定を行います。

項目の右側に()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで 起動したときに変更可能な項目です。

Date (mm/dd/yyyy)() 現在の日付を「月/日/年」で入力して設定します。

Time (hh/mm/ss)() 現在の時刻を24時形式の「時:分:秒」で入力して設定します。

Floppy Drive A ()

標準で搭載されているフロッピーディスクドライブのモードを設定し ます。本項目の設定は変更しないでください。

設定項目	設定内容	説明
Floppy Drive A	Not Installed	「Not Installed」の場
	1.2 MB 5 1/4	合、フロッピーディスクド
	720 KB 3 1/2	ライブが接続されていて
	1.44/1.25MB 3 1/2	も使用することができま
		せん。工場出荷時は
		「1.44/1.25MB 3 1/2」
		です。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

Floppy Drive B ()

別売のフロッピーディスクドライブを接続したときのモードを設定します。設定項目はFloppy Drive Aと同じですが、工場出荷時には「Not Installed」に設定されています。 Pri Master()

現在接続されているIDEデバイス(Primary Master:ハードディスク ドライブ)が表示されます。本項目の設定は変更しないでください。

設定項目	設定内容	説明
Туре	User	「Auto」に設定すると
	Auto	BIOSが自動的にシリンダ、
	CDROM	ヘッド、セクタを設定します。
	FLOPTICAL	「User」に設定すると以
	Not Installed	下の(*)の項目でユーザ
	1 ~ 4 6	による指定ができます。
Size	(表示項目です)	ハードディスクの容量(MB)
		を表示します。
Cyln (*)	0 ~ 6 5 5 3 5	シリンダ数を設定します。
Head(*)	0 ~ 2 5 5	ヘッダ数を設定します。
WPcom(*)	0 ~ 6 5 5 3 5	書き込み補正(Write
		Precompensation)を
		開始するヘッド退避シリン
		ダ番号を設定します。
Sec(*)	0 ~ 2 5 5	1トラック当たりのセクタ
		数を設定します。
LBA Mode(*)	Off	LBAモードを使用するか
	On	を設定できます。
Blk Mode(*)	Off	ブロック転送モードを使用
	On	するかを設定できます。
PIO Mode(*)	Auto	CPUが直接I/Oポートと
	0、1、2、3、4、5	アクセスしてIDEとのデー
		タ交換時のデータ転送モー
		ドを設定できます。
32Bit Mode	Off	32ビットIDEデータ転送
(*)	On	を使用するかを設定します。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

Pri Slave()

3.5インチベイに増設されるIDEデバイス(Primary Slave:モデルに よっては追加ハードディスクドライブ)の設定を行います。「Pri Master」と同じ設定です。 Sec Master()

現在接続されているIDEデバイス(Secondary Master:CD-ROMドラ イブまたはCD-R/RWドライブ)が表示されます。「Pri Master」と同じ 設定です。本項目の設定は変更しないでください。

Sec Slave()

5インチベイに増設されているIDEデバイス(Secondary Slave)の設 定をします。「Pri Master」と同じ設定です。本項目の設定は変更しない でください。

Boot Sector Virus Protection()

ハードディスクドライブのブートセクタの設定をします。

設定項目	設定内容	説明
Boot Sector	Disabled	ハードディスク起動セクタ
Virus Protection	Enabled	を書き込み禁止にするか
		の設定をします。書き込み
		禁止(Enabled)にすると
		起動セクタをウィルスから
		保護します。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

Advanced CMOS Setupの設定

Advanced CMOS Setupの設定

Advanced CMOS Setupでは、DMIイベントログの設定、起動デバイスの設定、その他のハードウェアの機能を設定します。

×E

各設定内容で起動する装置は次の通りです。

- ・ Disabled 使用しない
- IDE-0~1 工場出荷時に内蔵されているハードディスクドライブ IDE-0:Pri Master(ハードディスクドライブ) IDE-1:Pri Slave(追加ハードディスクドライブ) IDE-2、IDE-3は設定しないでください。
- ・ Floppy 工場出荷時に内蔵されているフロッピーディスクド ライブ
- ・ Super Disk ... 工場出荷時に内蔵されているスーパーディスクドラ イブ
- ・ CDROM 工場出荷時に内蔵されているCD-ROMドライブまた はCD-R/RWドライブ
- SCSI 工場出荷時に内蔵されているSCSIインタフェース
 ボード
- NETWORK … 工場出荷時に内蔵されているLANボード

なお、SCSIインタフェースボードに接続された機器からブートする場合 は、「PART4 SCSI設定」「SCSI SELECTについて」「使用上の注意」 (P.192)をご覧ください。

設定項目	設定内容	説明
Event log	(表示項目です)	DMIイベントログの容量(サイズ)を
capacity		表示します。
Event log	(表示項目です)	DMIイベントログの有効性を表示し
validity		ます。
View DMI	(表示項目です)	【Enter】を押すと、DMIイベントログ
event log		情報(履歴)が表示されます。

設定項目	設定内容	記明
Clear all DMI	No	DMIイベントログの消去を設定します。
event logs	Yes	消去する(Yes)に設定し、設定を保
5		存して終了しても再起動後は消去し
		ない(No)になります。
Event logging	Disabled	DMIイベントログの記録を設定します。
	Enabled	
Mark DMI	No	DMIイベントログのマーキングを設
events as read	Yes	定します。DMIイベントログがない場
		合は選択できません。
Quick Boot	Disabled	コンピュータ起動時のクイックブート
	Enabled	の使用を設定します。「Enabled」の
		場合、一部のテストをスキップするので、
		本機の起動時間が短縮されます。
1st Boot	Disabled	本機を起動するために使用するデバ
Device	IDE-0	イスの優先順位を指定します。起動
	IDE-1	順位は1st Boot Deviceに指定し
	IDE-2	たディスク装置から順番に起動され
	IDE-3	ます。
	Floppy	
	Super Disk	
	CDROM	
	SCSI	
	NETWORK	
2nd Boot	Disabled	1st Boot Deviceの説明をご覧く
Device	IDE-0	ださい。
	IDE-1	
	IDE-2	
	IDE-3	
	Floppy	
	Super Disk	
	CDROM	
	SCSI	
	NETWORK	

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

設定項目	設定内容	説明
3rd Boot	Disabled	1st Boot Deviceの説明をご覧く
Device	IDE-0	ださい。
	IDE-1	
	IDE-2	
	IDE-3	
	Floppy	
	Super Disk	
	CDROM	
	SCSI	
	NETWORK	
4th Boot	Disabled	1st Boot Deviceの説明をご覧く
Device	IDE-0	ださい。
	IDE-1	
	IDE-2	
	IDE-3	
	Floppy	
	Super Disk	
	CDROM	
	SCSI	
	NETWORK	
Try Other	Yes	「1st Boot Device」から「4th
Boot Devices	No	Boot Device」で設定された以外の
		デバイスから起動します。
Initial Display	BIOS	BIOSチェック画面のモードを設定し
Mode	Silent	ます。「BIOS」ではBIOSのチェック
		情報を表示します。「Silent」では
		NECのロゴ画面が表示されます。
Display Mode	Force BIOS	SCSIインタフェースボードなど内蔵
at Add-On	Keep Current	ROMを搭載した機器の起動時の
ROM Init		ROM情報の表示を設定します。「Force
		BIOS」ではROM情報が表示されます。
		「Keep Current」ではNECロゴの
		画面に隠れます。

網かけの部分

は、工場出荷時の設定値です。

設定項目	設定内容	説明
Floppy Access	Read-Write	フロッピーディスクの読み書きについ
Control	Read-Only	て設定します。「 Read-Only 」の場合、
		書き込み不可、読み込み専用となり
		ます。
S.M.A.R.T for	Disabled	ハードディスクに対してSMART機能
Hard Disks	Enabled	を設定します。「Enabled」の場合、ハー
		ドディスクの異常を検知します。
BootUp Num-	Off	コンピュータ起動時にNum Lockす
Lock	On	るか設定します。「Auto」の場合、起
	Auto	動時にテンキーありキーボード
		(USB109キーボード、USB98配
		列キーボード、PS/2 109キーボー
		ド、テンキー付きPS/2小型キーボード)
		が接続されているとNum Lockされ
		ます。起動時にUSB小型キーボード(テ
		ンキーなし)が接続されていると
		Num Lockされません。「On」の場
		合、接続されているキーボードの種類
		に関わらず、起動時にNum Lockさ
		れます。「Off」の場合、接続されてい
		るキーボードの種類に関わらず、起動
		時にNum Lockされません。
Floppy Drive	Disabled	フロッピーディスクドライブのAドライ
Swap	Enabled	ブとBドライブを入れ替える設定をし
		ます。本項目の設定は変更しないで
		ください。
Floppy Drive	Disabled	本機の起動時にフロッピーディスクド
Seek	Enabled	ライブをチェックするかを設定します。
PS/2 Mouse	Disabled	PS/2マウスの認識を設定します。
Support	Enabled	PS/2キーボードとマウスの場合は
		「Enabled」に設定されています。本
		項目の設定は変更しないでください。
CPU Serial	Disabled	^r Processor Serial Number」
Number	Enabled	機能を設定します。MA66H/Sでは、
		本項目の設定は無効です。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

設定項目	設定内容	説明
System BIOS	Disabled	BIOSシステムのキャッシングを設
Cacheable	Enabled	定します。本項目は変更しないでく
		ださい。
Hardware	Disabled	本機のハードウェアの監視を設定し
Monitor	Enabled	ます。「Enabled」に設定して保存す
		ると、再起動時に「Hardware
		Monitor Setup」の項目が表示され
		ます。詳細については、「Hardware
		Monitor Setupの設定」(P.187)
		をご覧ください。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

メモ

DMI(Desktop Management Interface)とは、システム管理を行うため に各PCの管理を容易に行うためのハードウェア/ソフトウェアのインタ フェースの標準仕様のことです。

Advanced Chipset Setupの設定

Advanced Chipset Setupの設定

Advanced Chipset Setupでは、USBの機能を設定します。

USB Function

USB機能の有効/無効を設定します。工場出荷時は、有効(Enabled)に 設定されています。

USB Legacy Support

USBレガシー機能の有効/無効を設定します。工場出荷時は、有効 (Enabled)です。

Windows NT 4.0を利用する場合は、キーボードの種類によって、次のようになります。

無效 Disabled) … PS/2 109キーボード、テンキー付きPS/2小型 キーボード

有效 Enabled) ... USB 109キーボード、USB小型キーボード、 USB98配列キーボード

Power Management Setupの設定

Power Management Setupの設定 Windows MeおよびWindows 98のACPIモードの場合)

Windows MeおよびWindows 98をACPIモードに変更した場合の電力 を節約するためのさまざまな設定をします。

「Video Power Down Mode」、「Hard Disk Power Down Mode」、 「Suspend Timeout(Minute)」、「Power Button Function」の設定は、「ス タート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」「電源の管理」で行っ てください。

<u>参照</u>「電源の管理」の設定 Windowsのヘルプ 電源スイッチの設定「Power Button Function」について(P.177)

r		
設定項目	設定内容	説明
Power	Disabled	BIOSによる省電力機能(電源管理が
Management/	Enabled	APMモード)の使用を設定します。
APM		変更しないでください。
Green PC LED	Single Color	本項目の設定は無効になります。
Status	Dual Color	
Green PC	Suspend	
Monitor	Off	
Power State		
Video Power	Disabled	
Down Mode	Suspend	
Hard Disk	Disabled	
Power Down	Suspend	
Mode		
Suspend	Disabled	
Time Out	1、2、4、8、10、	
(Minute)	20、30、40、	
	50、60r	
		1

網かけの部分

は、工場出荷時の設定値です。

設定項目	設定内容	説明
Keyboad &	lgnore	本項目の設定は無効になります。
PS/2 Mouse	Monitor	
Access		
FDC/LPT/COM	lgnore	
Ports Access	Monitor	
SB & MSS	Ignore	
Audio Ports	Monitor	
Access		
MIDI Ports	Ignore	
Access	Monitor	
ADLIB Ports	Ignore	
Access	Monitor	
Primary	Ignore	
Master IDE	Monitor	
Access		
Primary Slave	Ignore	
IDE Access	Monitor	
Secondary	Ignore	
Master IDE	Monitor	
Access		
Secondary	Ignore	
Slave IDE	Monitor	
Access		
PIRQ[A] IRQ	Ignore	
Active	Monitor	
PIRQ[B] IRQ	Ignore	
Active	Monitor	
PIRQ[C] IRQ	Ignore	
Active	Monitor	
PIRQ[D] IRQ	Ignore	
Active	Monitor	
System	Ignore	
Thermal	Monitor	
Power Button	On/Off	
Function	Suspend	

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

設定項目	設定内容	説明
Restore on	Power Off	AC電源(AC100V)が失われ、電源
AC/Power	Power On	を再投入したときの復旧状態を設定し
Loss	Last State	ます。「Power Off」はAC電源投入
		時に電源は入らないように、「Power
		On」はAC電源投入時に電源が入るよ
		うに、「Last State」はAC電源が失
		われたときの状態に設定します。
Resume By PME	Disabled	リモート起動(PME)で電源を操作す
From Soft Off	Enable	るかを設定します。
Ring Resume	Disabled	本項目の設定は無効になります。
From Soft Off	Enable	
RTC Alarm	Disabled	
Resume From	Enable	
Soft Off		

網かけの部分

は、工場出荷時の設定値です。

下記の項目は、「RTC Alarm Resume From Soft Off 」が有効(Enabled)の場合に設定することができます。

設定項目	設定内容	説明
RTC Alarm	Every Day	本項目の設定は無効になります。
Date	01~31	
RTC Alarm	00~23	
Hour	0 0	
RTC Alarm	00~59	
Minute	0 0	
RTC Alarm	00~59	
Second	0 0	

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

Power Button Function」について

「Power Button Function」の設定は無効になり、「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」の「電源の管理」の「詳細設定」タブの「コン ビュータの電源ボタンを押したとき」の設定が有効になります。Windows Meの工場出荷時およびWindows 98のACPIモード変更後は、「電源オ フ」、「シャットダウン」に設定されています。 「コンピュータの電源ボタンを押したとき」の設定を「電源オフ」、「シャットダウン」から「スタンバイ」または「休止状態」に変更した場合、電源を切る操作は次のようになります。

正しく電源を切る方法

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリック
- 2 「次の中から選んでください」で「シャットダウン」を選択して 「OK」ボタンをクリック 自動的に電源が切れます。

強制的に電源を切る方法

Windows 98のAPMモードと同じ方法(P.182)で切ってください。

Power Management Setupの設定(Windows 98のAPMモードの場合)

Windows 98のAPMモード(工場出荷時)の場合の電力を節約するための さまざまな設定をします。

● BIOSセットアップメニューの「Power Management Setup」「Hard Disk Power Down Mode」が「Suspend」での「Suspend Time Out(Minute)」の設定は、Windows 98の「コントロールパネル」「電源の管理」の「ハード ディスクの電源を切る」でも設定できますが、これらの設定は、設定時間の短 い方が有効になります。「Suspend Time Out(Minute)」の設定を10分未満 にした場合、設定した時間になってもハードディスクのモータが停止しない ことがあります。

×E

「Video Power Down Mode」で設定する「Suspend」とは、VESA(Video Electronics Standards Association)で定義されているディスプレイの 省電力モードのことです。VESAでは、ディスプレイの電源の状態をオン (電源が入っており、画面表示している状態)、省電力モード(スタンバイ、 サスペンド、オフ)、コンプリートオフ(電源が切れた状態)と定義してい ます。

設定項目	設定内容	説明
Power	Disabled	BIOSによる省電力機能(電源管理が
Management/	Enabled	APMモード)の使用を設定します。 変
APM		更しないでください。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

設定項目	設定内容	説明
Green PC LED	Single Color	スタンバイ時の電源ランプの表示を設
Status	Dual Color	定します。「Single Color」はスタン
		バイ時は緑、「Dual Color」はスタン
		バイ時はオレンジです。
Green PC	Suspend	スタンバイ時の省電力対応のディスプ
Monitor	Off	レイの状態を設定します。「 Suspend 」
Power State		ではスタンバイ状態に、「Off」ではディ
		スプレイの電源を一時的に切ります。
Video Power	Disabled	ディスプレイの省電力機能を
Down Mode	Suspend	Suspendモードで使用する(Suspend)
		/使用しない(Disabled)を設定します。
Hard Disk	Disabled	ハードディスクの省電力機能を
Power Down	Suspend	Suspendモードで使用する
Mode		(Suspend)、使用しない(Disabled)
		を設定します。
Suspend	Disabled	ディスプレイの省電力機能のタイムア
Time Out	1、2、4、8、10、	ウト時間を分単位で設定します。本機
(Minute)	20、30、40、	への操作をしない状態で設定した時
	50、60	間が経過すると、スタンバイ状態にな
		ります。「 Disabled 」の場合スタンバ
		イしません。
Keyboad &	Ignore	キーボードとPS/2マウスが動作中に
PS/2 Mouse	Monitor	スタンバイ状態へ遷移しないように監
Access		視するかを設定します。
FDC/LPT/COM	lgnore	フロッピーディスクドライブ、シリアルポー
Ports Access	Monitor	ト、パラレルポートへのアクセス中に
		スタンバイ状態へ遷移しないように監
		視するかを設定します。
SB & MSS	Ignore	別売サウンドカードのオーディオポー
Audio Ports	Monitor	トへのアクセス中にスタンバイ状態へ
Access		遷移しないように監視するかを設定し
		ます。
MIDI Ports	Ignore	MIDIポートへのアクセス中にスタン
Access	Monitor	バイ状態へ遷移しないように監視する
		かを設定します。

網かけの部分

は、工場出荷時の設定値です。

設定項目	設定内容	説明
ADLIB Ports	Ignore	ADLIBポートへのアクセス中にスタ
Access	Monitor	ンバイ状態へ遷移しないように監視す
		るかを設定します。
Primary	lgnore	Primary Masterに接続したIDEデ
Master IDE	Monitor	バイス(ハードディスクドライブ)への
Access		アクセス中にスタンバイ状態へ遷移し
		ないように監視するかを設定します。
Primary Slave	Ignore	Primary Slaveに接続したIDEデバ
IDE Access	Monitor	イスへのアクセス中にスタンバイ状態
		へ遷移しないように監視するかを設定
		します。
Secondary	Ignore	Secondary Masterに接続したIDE
Master IDE	Monitor	デバイス(CD-ROMドライブまたは
Access		CD R/RWドライブ)へのアクセス中
		にスタンバイ状態へ遷移しないように
		監視するかを設定します。
Secondary	Ignore	Secondary Slaveに接続したIDEデ
Slave IDE	Monitor	バイスへのアクセス中にスタンバイ状
Access		態へ遷移しないように監視するかを設
		定します。
PIRQ[A] IRQ	Ignore	PCIバス(INT A)のIRQ割り込みを
Active	Monitor	監視して、スタンバイ状態へ遷移しな
		いようにするかを設定します。
PIRQ[B] IRQ	Ignore	PCIバス(INT B)のIRQ割り込みを
Active	Monitor	監視して、スタンバイ状態へ遷移しな
		いようにするかを設定します。
PIRQ[C] IRQ	Ignore	PCIバス(INT C)のIRQ割り込みを
Active	Monitor	監視して、スタンバイ状態へ遷移しな
		いようにするかを設定します。
PIRQ[D] IRQ	Ignore	PCIバス(INT D)のIRQ割り込みを
Active	Monitor	監視して、スタンバイ状態へ遷移しな
		いようにするかを設定します。
System	Ignore	筐体内温度を監視して、スタンバイ状
Thermal	Monitor	態へ遷移しないようにするかを設定し
		ます。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。
設定項目	設定内容	説明
Power Button	On/Off	詳細については「Power Button
Function	Suspend	Functionについて」(P.182)をご
		覧ください。
Restore on	Power Off	AC電源(AC100V)が失われ、電源
AC/Power	Power On	を再投入したときの復旧状態を設定し
Loss	Last State	ます。「Power Off」はAC電源投入
		時に電源は入らないように、「Power
		On」はAC電源投入時に電源が入るよ
		うに、「Last State」はAC電源が失
		われたときの状態に設定します。
Resume By PME	Disabled	リモート起動(PME)で電源を操作す
From Soft Off	Enable	るかを設定します。
Ring Resume	Disabled	FAXモデムのリング機能で電源オン、
From Soft Off	Enable	スタンバイから復帰するかを設定します。
RTC Alarm	Disabled	内蔵時計(RTC:リアルタイムクロック)
Resume From	Enable	で、電源オン、スタンバイから復帰する
Soft Off		かどうかを設定します。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

下記の項目は、「RTC Alarm Resume From Soft Off」が有効(Enabled) の場合に設定することができます。

設定項目	設定内容	説 明
RTC Alarm	Every Day	内蔵時計の電源を入れる日を設定し
Date	01~31	ます。
RTC Alarm	00~23	内蔵時計の電源を入れる時間(1時間
Hour	0 0	単位)を設定します。
RTC Alarm	00~59	内蔵時計の電源を入れる時間(1分単位)
Minute	0 0	を設定します。
RTC Alarm	00~59	内蔵時計の電源を入れる時間(1秒単位)
Second	0 0	を設定します。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

Power Button Function」について

「Power Button Function」は、本体前面にある電源スイッチをパワーボ タンまたはスリープボタンとして利用できるようにする機能です。 工場出荷時の設定は、「On/Off」に設定されています。

- 「On/Off」に設定した場合は、電源スイッチを押すことによって電源を 入れる/切ることができます。
- ・「Suspend」に設定した場合は、電源スイッチを押すことによってスタンパイ/スタンパイから復帰することができます。

「Power Button Function」の設定を「On/Off (工場出荷時)から 「Suspend」に変更した場合、または「コンピュータの電源ボタンを押した とき」の設定を「スタンバイ」に変更した場合の電源を切る操作は、次のようになります。

正しく電源を切る方法

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリック
- **2**「電源を切れる状態にする」「OK」ボタンをクリック 自動的に電源が切れます。

強制的に電源を切る方法

次の方法で、強制的に電源を切ることができます。「方法1」で切れない場 合ば「方法2」を行ってください。なお、強制的に電源を切った場合は、本機 の電源を入れ直してWindows 98を起動させ、再度、正しく電源を切って ください。

方法1

1 電源スイッチを押す

電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンバイ状態になります。

2 電源スイッチを4秒以上押し続ける 電源ランプが、オレンジ色から緑色に変わり、電源が切れると電源 ランプが点灯しなくなります。

方法2

電源スイッチを4秒以上押し続ける 電源ランプがオレンジ色に点灯し、一瞬だけ緑色に変わり、電源が 切れるとランプが切れます。

PCI / Plug and Play Setupの設定

PCI / Plug and Play Setupの設定

PCI / Plug and Play Setupでは、プラグ&プレイに関しての設定をします。

設定項目	設定内容	説明
Plug and Play	No	プラグアンドプレイ対応のOSかどうか
Aware O/S	Yes	を設定します。工場出荷時は「Yes」
		です。
Clear NVRAM	No	PCIボードなどのプラグ&プレイ機器
	Yes	の設定値の初期化を設定します。「Yes」
		で初期化します。ただし、再起動時に
		は「No」に設定されます。
Primary	OnBoad VGA	プライマリのグラフィックカードの設定
Graphic	Add-on VGA	をします。「OnBoard VGA」で本体
Adapter		内蔵のグラフィックを、「Add-on VGA」
		では別売のグラフィックカードを優先
		して使用します。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

Peripheral Setupの設定

Peripheral Setupの設定

Peripheral Setupでは、周辺装置に関しての設定をします。

設定項目	設定内容	説明
OnBoard FDC	Auto	内蔵フロッピーディスクコントローラ
	Disabled	を使用する(Enabled)、使用しない
	Enabled	(Disabled:I/Oロックが有効)、自動
		(Auto)を設定します。
OnBoard	Auto	シリアルポート(COMポート、シリアル
Serial Port A	Disabled	コネクタ)の設定をします。「Auto」
	3F8/COM1	の場合は空きリソースが自動的に割り
	2F8/COM2	当てられます。「Disabled」に設定す
	3E8/COM3	ると、1/0ロックが有効になり、他のデ
	2E8/COM4	バイスにリソースを開放し、PnP対応
		OSがシリアルポートを使用できない
		ようにします。
OnBoard	Auto	パラレルポート(プリンタポート、パラ
Parallel Port	Disabled	レルコネクタ)の設定をします。「Auto」
	378	の場合は空きリソースが自動的に割り
	278	当てられます。「Disabled」に設定す
	3BC	ると、1/0ロックが有効になり、他のデ
		バイスにリソースを開放し、PnP対応
		OSがパラレルポートを使用できない
		ようにします。
Parallel Port	Normal	パラレルポートの動作モードを設定し
Mode	Bi-Dir	ます。ご利用のプリンタのモードにつ
	EPP	いてはプリンタのマニュアルをご覧く
	ECP	ださい。

網かけの部分

は、工場出荷時の設定値です。

設定項目	設定内容	説明
EPP Version	EPP 1.9	Parallel Port ModeのEPP Version
	EPP 1.7	を設定します。「Parallel Port Mode」
		の設定が「EPP」の場合に設定可能とな
		ります。
Parallel Port	5	パラレルポートで使用するIRQを設定
IRQ	7	します。
Parallel Port	0	パラレルポートで使用するDMAチャ
DMA Channel	1	ネルを設定します。「Parallel Port
	3	Mode」の設定が「ECP」の場合に設
		定可能となります。
OnBoard Midi	Disabled	MIDIポート
Port	330	(MIDI/Joystickコネクタ)の設定を
	300	します。本項目は利用できないので変
	290	更しないでください。
	292	
Midi IRQ	5	MIDIポート
Select	7	(MIDI/Joystickコネクタ)に割り当
	9	てるIRQの設定をします。「OnBoard
	10	MIDI Port」の設定が「330」「300」
		「292」「290」の場合に設定可能と
		なります。本項目は変更しないでくだ
		ວເ ນ .
OnBoard	Disabled	ゲームポート
Game Port	200	(MIDI/Joystickコネクタ)の設定を
	208	します。本項目は変更しないでください。
OnBoard IDE	Disabled	IDEコントローラの設定をします。I/O
	Primary	ロックを有効(Disabled)にするとき
	Secondary	以外は、設定内容を変更しないでくだ
	Both	さい。
OnBoard	Enabled	内蔵サウンド機能の使用を設定します。
AC'97 Audio	Disabled	

網かけの部分

は、工場出荷時の設定値です。

メモ

I/Oロックは、外部とのデータ交換の手段であるI/Oを使用しないように する(ロックする)機能です。BIOSセットアップメニューの「Peripheral Setup」で以下のI/Oを「Disabled」に設定することでロックを有効にする ことができます。対象となるインターフェイスは、フロッピーディスクド ライブ(OnBoard FDC)、シリアルポート(OnBoard Serial Port A)パ ラレルポート(OnBoard Parallel Port)です。

Hardware Monitor Setupの設定

Hardware Monitor Setupの設定

Hardware Monitor Setupでは、ハードウェアの監視機能を設定します。 「Advanced CMOS Setup」「Hardware Monitor (P.173)を「Enabled」 に設定後、設定を保存して再起動すると表示されます。

設定項目	設定内容	説 明
Chassis	Disabled	筐体の開閉監視を設定します(ルーフ
Intrusion	Enabled	カバーオープン検知)。「 Enabled 」を
	Reset	選択すると、一度本体のカバーを取り
		外すと、カバーを取り付けた後でもカバー
		が取り外された旨のメッセージを表示
		します。なお、メッセージを解除する場
		合は、「Reset」に設定して再起動して
		ください。
		再起動時には「Disabled」に設定さ
		れます。
CPU	CPU	CPUの温度監視を設定します。本項
Temperature	Themistor	目は変更しないでください。
Detected by		

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。



Auto-Detect Hard Disksの設定

Auto-Detect Hard Disksでは、接続された各IDE機器を自動的に設定 します。設定できる項目は、「Standard CMOS Setupの設定(P.166) と同じです。ユーザパスワードでも設定可能です。

Security Setupの設定

Security Setupの設定

Security Setupでは、スーパバイザパスワードおよびユーザパスワード の設定をします。パスワードに使用できる文字は半角英数字のみで、6文 字以内でなければなりません。また、大文字/小文字の区別はありません。

参照 / NECの問い合わせ先 『NEC PCあんしんサポートガイド』

起動したときに変更可能な項目です。		
設定項目	設定内容	説明
Password	Setup	パスワードを入力する場面を設定しま
Check	Always	す。「Setup」ではBIOSセットアップ
		メニュー起動時に、「Always」ではシ
		ステム起動時とBIOSセットアップメ

項目の右側に()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで

Password	Setup	パスワードを入力する場面を設定しま
Check	Always	す。「 Setup 」ではBIOSセットアップ
		メニュー起動時に、「Always」ではシ
		ステム起動時とBIOSセットアップメ
		ニュー起動時にパスワードの入力を要
		求します。
Change User	(パスワード入力)	ユーザパスワードの設定を行います。
Password		スーパバイザパスワードが設定されて
()		いないときは設定できません。
Change	(パスワード入力)	スーパバイザパスワードの設定を行い
Supervisor		ます。設定した場合、BIOSセットアッ
Password		プメニュー起動時にスーパバイザパス
		ワードを入力する必要があります。

網かけの部分 は、工場出荷時の設定値です。

[▼]チェック! ご購入元、NECに本機の修正を依頼される際は、設定したパスワードは解除、 および無効にしておいてください。

パスワードの解除

本機では、BIOSセットアップメニューの使用者をスーパバイザパスワード/ユーザパスワードの設定により制限することができます。パスワードを入れて【Enter】を押すと解除されます。もし、これらのパスワードを忘れてしまった場合のパスワードの解除方法についてば、ハードウェア拡張ガイド』PART5 付録」の「ストラップスイッチの設定」をご覧ください。



SCSI**設定**

この章では、SCSI SELECTについて説明します。SCSI SELECTは、 Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)を搭載しているモデルの ユーティリティで、Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)に対し てさまざまな設定を行うものです。

この章の読み方

「SCSI SELECT**について」を読んだ後に、「**SCSI SELECT**での設定項目」** をお読みください。

この章の内容

SCSI	SELECT について	 192
SCSI	SELECTでの設定項目	 194

SCSI SELECT CONT

Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応) PC-M-SCUWS2)が標 準で内蔵されているモデルでは、Ultra SCSIインタフェースに対してさ まざまな設定を行うためのユーティリティとして、SCSI SELECTが搭 載されています。ここではSCSI SELECTの使用方法や注意事項を説明 します。

SCSI SELECTでの設定が必要な場合

SCSI SELECTを使用して設定することが必要になるのは次の場合です。 接続されているSCSI機器のSCSI IDを変更した場合 使用するSCSI機器を増設・変更した場合 これらの場合、SCSI SELECTを使用して、データ転送に関しての設定変

更や、使用するSCSI機器によっては低レベルフォーマットを行う必要があります。

使用上の注意

- SCSI SELECTを使用して設定を変更するためには、SCSIに関する知識を必要とすることが多数あります。設定する内容を十分理解した上で変更してください。間違った設定を行うと、データの破壊や本体が起動しないなどのトラブルの原因となります。
- ・ SCSI SELECTで可能なデータ転送に関しての設定は、接続している SCSI機器の種類、台数、総ケーブル線長によって変わります。これらの 制限に関しては、『ハードウェア拡張ガイド』 PART5 付録」の「別売 のSCSIインタフェース機器の増設」をご覧ください。
- ディスク装置に低レベルフォーマットを行う場合は、誤って他のSCSI 機器をフォーマットしてしまわないように注意してください。ディス ク装置を低レベルフォーマットすると、すべてのデータが消えてしま います。
- ・ 内蔵Ultra SCSIインタフェースボードを持つ本機に別売のSCSIボードを実装して使用することはできません。
- 参照 SCSIボードのBIOSの起動について「SCSI SELECTでの設定項目」 (P.194)

- ・Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)を搭載したモデルで Windows Meをご利用の場合、SCSI機器を利用しているときは休止状 態にはできませんので休止の設定はしないでください。
- ・ Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)を搭載したモデルでは、 初回起動時にEMM386エラーが表示される場合があります。SCSIイン タフェースボードに接続した機器をブートする場合、EMM386.exeが 使えませんので、デバイスドライバを設定しているファイル (config.sys)から外して(rem文にするなど)ください。なお、 EMM386.exeをご利用になる場合、SCSIインタフェースボードに接続 した機器からはブートできませんので、SCSI BIOSのブートを無効 (Disabled)にしてください。設定の詳細についてば Advanced Configuration Options of Host Adapter BIOS (P.209)をご覧ください。

SCSI SELECTでの設定項目

ここではSCSI SELECTで設定可能なすべての項目について説明します。

SCSI SELECTの設定項目一覧と初期設定

SCSI SELECTで設定できる項目と、その工場出荷時の設定値は次の通り です。また、SCSI SELECTでは低レベルフォーマットとディスクのベリ ファイを行うことができます。

		工場出荷時の設定
		Ultra SCSI(Wide対応)
SCSIボードの設定	ボードのSCSIID設定	7
	パリティ機能の有効/無効設定	Enabled(有効)
	終端機能設定	Automatic(自動)
	起動チャネルの設定	A First
	起動SCSIIDを指定	0
	起動LUNを指定	0
デバイスの設定	転送速度の設定	40.0MB/Sec
	Wide転送の有効/無効設定	Yes(有効)*
	ディスコネクトの有効/無効設定	Yes(有効)
	スタートユニットコマンドの有効/	No(無効)
	無効設定	
	ライトバックキャッシュの有効/無	N/C(無効)
	効設定	
	マルチプルLUNの有効/無効設定	No(無効)
	BIOSスキャンの有効/無効設定	Yes(有効)
SCSIボードの拡張	SCAMの有効/無効設定	Disabled(無効)
設定	SCSIバスリセットの有効/無効設定	Enabled(有効)
	<ctrl><a>メッセージ表示有効/</ctrl>	Enabled(有効)
	無効設定	
	1GB以上デバイスサポートの有	Enabled(有効)
	効/無効設定	
	Verbose/Silent設定	Verbose
	BIOSの有効/無効設定	Enabled(有効)
	リムーバブルディスク設定	Boot Only(起動デバイスのみ)
	起動CD-ROM機能有効/無効設定	Enabled(有効)
	INT13サポートの有効/無効設定	Enabled(有効)
フォーマット/	低レベルフォーマット	
ベリファイ	ディスクのベリファイ	

工場出荷時の設定は通常使用する上で、推奨する設定になっています。 (*を除く)

*は接続するSCSI機器によって設定を変更する必要があります。

SCSI SELECTの画面の説明

SCSI SELECTの画面はすべて英語で表示されます。ここではSCSI SE-LECTを起動して表示される各画面に対して次のように説明しています。



各部の説明

画面名称 :説明が書かれている各画面の説明です。

- 表示画面
 :SCSI SELECTを起動し、操作したときにディスプレイに表示される画面(一部)です。
- ____操作__ :表示画面で行うキー操作について説明しています。

選択肢 :画面で選択可能な選択肢を選択した場合、次にどの画面説明 に進めばよいかを示す画面名称を記述しています。

| 画面説明 | :画面に表示されている選択肢の説明をしています。

SCSI SELECTの構造

SCSI SELECTは次のような階層構造になっています。設定や処理を行う 場合はSCSI SELECTを起動し、下図を参照して各設定項目の画面へ移動 してください。

SCSI SELECTを起動する。



各画面の説明

SCSI SELECTを起動する

1 本体の電源を入れる 「NEC」のロゴ画面が表示した後に、次の画面が表示されます。

Adaptec AHA-29XX XXXX BIOS v x.xx (c)1998 Adaptec, Inc. All Right Reserved

Press<Ctrl><A>for SCSI Select (TM) Utility!

2 【Ctrl 】を押しながら【A 】を押す

SCSI SELECTが起動し、次の画面が表示されます。もし、画面が表示されずOSが起動してしまった場合は、OSを正常終了した後にシステムを再起動させ、少し早めに【Ctrl 】を押しながら【A 】を押してください。

[SCSI SELECT起動画面]



【 】 を使用して、変更したい設定を反転させて【Enter】を押してく ださい。



画面説明

- Configure/View Host Adapter Settings(ホストアダプタ設定)
 この項目を選択するとボードの各設定を変更する項目画面が表示されます。
- SCSI Disk Utilities(SCSIディスクユーティリティ)-この項目を 選択すると、接続されているSCSIデバイスに対して低レベルフォー マットを行う、またはベリファイを行う画面が表示されます。
- 【F5】を押すとモノクロモードとカラーモードを切り換えることができます。

[コンフィグレーション画面]



【 】 】を使用して、変更したい設定を反転させて【Enter】を押してく ださい。工場出荷時の設定に戻す場合は【F6】を押してください。

― ~澤切	時~	
L 1	ボードのSCSI ID設定	[ボードのSCSI ID設定画面](P.199)へ
11	パリティ機能の有効/無効設定	[パリティ有効/無効設定画面](P.200)へ
- 111	終端機能設定	[終端機能設定画面](P.200)へ
IV	起動デバイス指定	[起動コンフィグレーション起動画面](P.201)へ
V	SCSI デバイスの個別設定	[SCSIデバイスコンフィグレーション画面](P.203)へ
VI	ボードの拡張設定	[拡張設定画面](P.208)へ
【F6】	工場出荷時の設定に戻す。	[初期設定変更画面](P.212)へ
[ESC]	】前の画面に戻る。	[SCSI SELECT 起動画面](P.197)へ
[ESC]	】設定の保存(設定変更した場合)	[設定保存画面](P.213)へ
-		

画面説明

 Host Adapter SCSI ID(ホストアダプタSCSI ID)- この項目を 選択するとボードのSCSI IDを変更する画面が表示されます。
 工場出荷時の設定はSCSI ID#7に設定されています。これはSCSI バスの中でボードが最も高い優先順位を持つ設定です。このまま変更しないで使用することを推奨します。

- SCSI Parity Checking(SCSIパリティチェック)-この項目を選 択するとボードのパリティチェック機能を有効(Enabled)/無効 (Disabled)に設定する画面が表示されます。 パリティチェックは、SCSIパス上のデータ転送が正確に行われたか をチェックする機能です。ボードにパリティ機能をサポートしない SCSIデバイスを接続する場合は、無効にしてください。ほとんどの SCSIデバイスは、パリティ機能をサポートしています。 SCSIデバイスがサポートしているかわからない場合は、SCSIデバ イスの説明書を参照してください。
- Host Adapter SCSI Termination(ホストアダプタSCSIターミネーション)-この項目を選択すると、ボードの終端状態を変更する画面が表示されます。本機のボードのターミネーション設定は、Automatic(自動)のままにしてください。
- Boot Device Options(ブートデバイスオプション)- この項目を 選択すると、起動させたいSCSIデバイスを指定する画面が表示され ます。
- SCSI Device Configuration(SCSIデバイスコンフィグレーション)-この項目を選択すると、ボードと接続しているSCSIデバイス 間の設定を行う画面が表示されます。
- Advanced Configuration Options(アドバンスドコンフィグレー ションオプション)-この項目を選択すると、ボードの拡張設定の 変更を行う画面が表示されます。

[ボードのSCSIID設定画面]



【 】 を使用して、変更したい値を反転させて【Enter】を押してください。

┏ <選択肢	>	
	ボードのSCSI ID 設定を行う。	[コンフィグレーション画面] P.198)へ
[ESC]	変更を中止する。	[コンフィグレーション画面] P.198)へ

画面に表示されている0~15の値はボードに設定可能なSCSIIDです。 ここで、値を選択することによりボードのSCSIIDを変更します。 * 工場出荷時の設定値を表しています。

[パリティ有効/無効設定画面]



【 】 】を使用して、変更したい値を反転させて【Enter】を押してください。

	< j	豊択	肢	>	1
--	-----	----	---	---	---

パリティ機能を有効にする。	[コンフィグレーション画面](P.198)へ
パリティ機能を無効にする。	[コンフィグレーション画面](P.198)へ
【ESC】 変更を中止する。	[コンフィグレーション画面](P.198)へ

画面説明

パリティチェック機能の有効(Enabled)、無効(Disabled)を選択します。 * 工場出荷時の設定値を表しています。

[終端機能設定画面]



【 】 】を使用して、変更したいモードを反転させて【Enter】を押して ください。

- < 選択)	枝 >	
	自動に設定する。	[コンフィグレーション画面](P.198)へ
П	すべて有効にする。	[コンフィグレーション画面] P.198)へ
III	すべて無効にする。	[コンフィグレーション画面 <u>]</u> P.198)へ
IV	上位8ビットだけ有効にする。	[コンフィグレーション画面] P.198)へ
[ESC]	変更を中止する。	[コンフィグレーション画面] P.198)へ

終端設定を自動にする場合は、Automaticを選択してください。 終端設定をすべて有効にする場合は、Low ON/High ONを選択して ください。

終端設定をすべて無効にする場合は、Low OFF/High OFFを選択し てください。

終端設定をデータビットの上位8ビットのみ有効にする場合は、Low OFF/High ONを選択してください。

* 工場出荷時の設定値を表しています。

・終端設定について

SCSIインタフェースは電送路の両端を終端する必要があります。お 使いのボードにより、下記のコネクタがあります。これらのコネク タに接続するSCSIデバイスの構成により終端設定は変わります。 Automatic以外の設定を行う場合は以下の表を参照して正しく終端 設定を行ってください。

コネクタ 終端設定	内蔵Wide コネクタ	内蔵Narrow コネクタ	外付け コネクタ
Low ON/High ON		-	-
	-		-
	-	-	
Low OFF/High ON			-
	-		
Low OFF/High OFF		-	

:SCSIデバイスを接続している -:SCSIデバイスを接続しない

Automaticの設定にすると、ボードが自動的にSCSIデバイスの接続状況を判断して、適した終端設定を行います。

[起動コンフィグレーション起動画面]



【 】 】を使用して、変更したいモードを反転させて【Enter】を押して ください。

<	選択肢	2
``	きかない	-

I	起動SCSI IDを指定する。	[起動SCSI ID設定画面]へ
Ш	起動LUNを指定する。	[起動LUN設定画面] P.203)へ
[ESC]	前の画面へ戻る。	[コンフィグレーション画面] P.198)へ

- Boot SCSI ID(ブートSCSI ID)- この項目を選択すると、起動させたいSCSI デバイスのSCSI IDを指定する画面が表示されます。
 ここで選択されたSCSI IDは起動デバイスで構成されたIDと対応している必要があります。
- Boot LUN Number(ブートLUNナンバー) この項目を選択する と、起動させたいSCSIデバイスのLUN(Logical Unit Numbers)を 指定する画面が表示されます。
 起動デバイスに複数のLUNを持っている場合は、起動させたい

SCSIデバイスのLUNを指定する必要があります。 (このとき、Multiple LUN Supportが有効になっている必要があり ます。)

[起動SCSI ID設定画面]



【 】 】を使用して、変更したいモードを反転させて【Enter】を押して ください。

1	- <選択肢:	>	
		起動するSCSIIDを選択する。	[起動コンフィグレーション起動画面] P.201)へ
	[ESC]	前の画面へ戻る。	[起動コンフィグレーション起動画面) P.201)へ

画面説明

画面に表示されている0~15の中から、起動させたいSCSIデバイスの SCSI IDを選択します。

* 工場出荷時の設定値を表しています。

[起動LUN設定画面]



【 】 】を使用して、変更したいモードを反転させて【Enter】を押して ください。

<選択肢 >	
I 起動するLUNを選択する。	[起動コンフィグレーション起動画面](P.201)へ
【ESC】前の画面へ戻る。	[起動コンフィグレーション起動画面](P.201)へ

画面説明

画面に表示されている0~7の中から、起動させたいSCSIデバイスの LUN(Logical Unit Numbers)を選択します。

* 工場出荷時の設定値を表しています。

[SCSIデバイスコンフィグレーション画面]

SCSI Device ID #0 #1 #2 #3 #4 #5 #6 #7 Sync Transfer Rate (MB/Sec) • • 40.0<	SCSI Device Configuration		1
Sync Transfer Rate (MB/Sec) + 40.0 40.0	SCSI Device ID #0 #1 #2 #3 #4 #5	#6 #7	
Initiate Wide Negotiation • • • • • • • Yes	Sync Transfer Rate (MB/Sec) • • • • • • • 40.0 40.0 40.0 40.0 40.0	0 40.0 40.0	→
Enable Disconnection Yes	Initiate Wide Negotiation • • • • • • • Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes	s Yes Yes	◄ ॥
Send Start Unit Command ••••••• Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes ••••• Enable Write Back Cache ••••••• ••••• ••••• ••••• ••••• Options Listed Below Have NO EFFECT if the BIOS is Disabled ••••• •••• •••• •••• BIOS Multiple LUN Support ••••• •••• No No No No No No No No •••• ••• Include in BIOS Scan ••••• •••• Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes •••• •••• SCSI Device ID #8 #9 #10 #11 #12 #13 #14 #15 Sync Transfer Rate (MB/Sec) ••••••• Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes •••••• ••••• •••••• Initiate Wide Negotiation •••••••• Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes ••••••• ••••••• Send Start Unit Command ••••••••••••••••••••••••••••••••••••	Enable Disconnection • • • • • • • • Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes	s Yes Yes	← III
Enable Write Back Cache •••••••• N/C N/C N/C N/C N/C N/C N/C N/C N/C Options Listed Below Have NO EFFECT if the BIOS is Disabled ••• •• BIOS Multiple LUN Support ••• •• No No No No No No No No •• SCSI Device ID #8 #9 #10 #11 #12 #13 #14 #15 Sync Transfer Rate (MB/Sec) •••••• Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes •••• I Initiate Wide Negotiation •••••• Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes •••• III Enable Disconnection •••••• Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes ••••• ••••• Enable Write Back Cache ••••••• N/C N/C N/C N/C N/C N/C N/C N/C ••••• Options Listed Below Have NO EFFECT if the BIOS is Disabled •••••• •••••••	Send Start Unit Command ••••• Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes	s Yes Yes	🗕 IV
Options Listed Below Have NO EFFECT if the BIOS is Disabled BIOS Multiple LUN Support No	Enable Write Back Cache •••••• N/C	CN/CN/C	🗕 V
BIOS Multiple LUN Support No	Options Listed Below Have NO EFFECT if the BIOS is Disabled		
Include in BIOS Scan Yes	BIOS Multiple LUN Support • • • • • • No No No No No No	No No	🗕 VI
SCSI Device ID #8 #9 #10 #11 #12 #13 #14 #15 Sync Transfer Rate (MB/Sec) ••••••••••••••••••••••••••••••••••••	Include in BIOS Scan ••••• • • Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes	s Yes Yes	🗕 VII
SCSI Device ID #8 #9 #10 #11 #12 #13 #14 #15 Sync Transfer Rate (MB/Sec) ••••••••••••••••••••••••••••••••••••			
Sync Transfer Rate (MB/Sec) + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	SCSI Device ID #8 #9 #10 #11 #12 #13	3 #14 #15	
Initiate Wide Negotiation • • • • • • • Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes III Enable Disconnection • • • • • • • • Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes III Send Start Unit Command • • • • • • • Yes	Sync Transfer Rate (MB/Sec) • • • • • • 40.0 40.0 40.0 40.0 40.0 40	0 40.0 40.0	◄-
Enable Disconnection •••••••• Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes •••••• Send Start Unit Command •••••••• Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes ••••• Enable Write Back Cache ••••••• ••••• ••••• ••••• Options Listed Below Have NO EFFECT if the BIOS is Disabled ••••• •••••	Initiate Wide Negotiation • • • • • • • • Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes	s Yes Yes	◄-
Send Start Unit Command • • • • • • • Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Enable Write Back Cache • • • • • • • N/C N/C N/C N/C N/C N/C N/C N/C // • V Options Listed Below Have NO EFFECT if the BIOS is Disabled	Enable Disconnection • • • • • • • • Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes	s Yes Yes	← III
Enable Write Back Cache • • • • • • • N/C N/C N/C N/C N/C N/C N/C N/C / • V Options Listed Below Have NO EFFECT if the BIOS is Disabled	Send Start Unit Command ••••• Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes	s Yes Yes	🗕 IV
Options Listed Below Have NO EFFECT if the BIOS is Disabled	Enable Write Back Cache •••••• N/C	CN/CN/C	🗕 V
	Options Listed Below Have NO EFFECT if the BIOS is Disabled		1
BIOS Multiple LUN Support • • • • • • No No No No No No No No 🗸 VI	BIOS Multiple LUN Support ••••• No No No No No No	No No	🗕 VI
Include in BIOS Scan ••••• •• Yes	Include in BIOS Scan ••••• •• Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes	s Yes Yes	🗕 VII

【 X X 】を使用して、接続されているSCSIデバイスのSCSI IDに対応した設定を反転させて[Enter]を押してください。

-	- < 選択	肢 >	
L.	· 763 J/ (
L	1	転送速度の設定	[転送速度設定画面](P.206)へ
L	П	Wide 転送の有効/無効設定	[デバイス有効/無効選択画面](P.206)へ
L	111	ディスコネクトの有効/無効設定	[デバイス有効/無効選択画面](P.206)へ
L	IV	スタートユニットコマンドの有効/無効設定	[デバイス有効/無効選択画面](P.206)へ
L	V	ライトパックキャッシュの有効/無効設定	[デバイス有効/無効/変化なし選択画面](P.207)へ
L	VI	マルチプルLUNの有効/無効設定	[デバイス有効/無効選択画面 <u>)</u> P.206)へ
L	VII	BIOS スキャンの有効/無効設定	[デバイス有効/無効選択画面](P.206)へ
	[ESC]	前の画面に戻る。	[コンフィグレーション画面](P.198)へ

設定可能なデータ転送方式、データバス幅、転送速度は次の通りです。

			Lーティリティで訝	定可能な値
SCSIインタフェース		転送方式	データバス幅	転送速度
			[単位:ビット]	[単位:MB / 秒]
Wide	Ultra SCSI	非同期	8	*
			16	*
		同期	8	20.0 10.0
				16.0 8.0
				13.4 6.7
				5.0
			16	40.0 20.0
				32.0 16.0
				26.8 13.4
				10.0
	SCSI-2	非同期	8	*
			16	*
		同期	8	10.0 6.7
				8.0 5.0
			16	20.0 16.0
				13.4 10.0
Narrow *2	Ultra SCSI	非同期	8	*
		同期	8	20.0 10.0
				16.0 8.0
				13.4 6.7
				5.0
	SCSI-2	非同期	8	*
		同期	8	10.0 6.7
				8.0 5.0

* 転送方式を 非同期 "に設定した場合、転送速度を設定しても、その値 は、無効となります。

- チェック // ・ 接続するSCSI機器がどのインタフェースに該当するかは、お使いのSCSI 機器に添付されているマニュアルをご覧ください。
 - ・ 接続するSCSI機器がどのSCSIインタフェースに該当するSCSI機器であ るか不明の場合は、「Narrow」でかつ「SCSI-2」インタフェース機器として 設定を行ってください。

- Sync Transfer Rate(最大同期転送速度)-この項目を選択すると、 ボードとデバイス間の最大同期転送速度を設定する画面が表示されます。
- Initiate Wide Negotiation(Wide転送の取り決め)-この項目を 選択すると、Wide転送機能の有効(Yes)無效(No)を設定する画面 が表示されます。

Wide転送を行う(Yes)設定にしている場合は、ボードはデバイスに対して16ビットの幅でデータ転送を行います。

Wide転送を行わない(No)設定にしている場合は、ボードはデバイ スに対して8ビットの幅でデータ転送を行います。

Wide転送するには、接続されているSCSIデバイスがWideに対応している必要があります。

Wideデバイスに対しては、有効(Yes)無効(No)どちらでも設定が 可能ですが、Narrowデバイスに対しては、必ず無効(No)に設定して お使いください。

- Enable Disconnection(ディスコネクトを有効にする)-この項目を選択すると、ディスコネクト機能の有効(Yes)(#数)(No)を設定する画面が表示されます。 ディスコネクトを行う設定になっているとSCSIデバイスが一時的に切り離され、その間ボードはSCSIバスを使い、他の操作を行うこ
- とができます。 ・ Send Start Unit Command(スタートユニットコマンドを送る) - この項目を選択すると、スタートユニットコマンド機能の有効

(Yes)/無效(No)を設定する画面が表示されます。 ほとんどのデバイスでこのような設定を行う必要はありません。 スタートユニットコマンドを送る(Yes)設定にしている場合は、本 機の起動時、ボードがコマンドを送ることによって接続している SCSIデバイスが1台ずつ電源ONとなります。これにより本機の電源 にかかる負荷を軽減します。

スタートユニットコマンドを送らない(No)設定にしている場合は、 本機の起動時に接続されているSCSIデバイスすべてが一緒に電源 ONになります。

この機能を使用するためには、接続するSCSIデバイスもこの機能に 対応していなくてはなりません。

 Enable Write Back Cache(ライトバックキャッシュを有効にする)-この項目を選択すると、ライトバックキャッシュ機能の有効 (Yes)無效(No)変化なし(N/C)を設定する画面が表示されます。

- BIOS Multiple LUN Support(BIOSマルチプルLUNサポート)
 この項目を選択すると、マルチプルLUNサポート機能の有効 (Yes)/無效(No)を設定する画面が表示されます。起動デバイスに 複数のLUNがある場合は、この設定を有効にする(Yes)にしてくだ さい。
- Include in BIOS Scan(BIOSスキャン)- この項目を選択すると、 BIOSスキャン機能の有効(Yes)/無效(No)を設定する画面が表示 されます。
 BIOSスキャンを行わない(No)設定にすると、BIOSを使用している OS上からデバイスが認識されなくなります。
 BIOSスキャンを行う(Yes)設定で使用することを推奨します。

 ジチェック パ イメージスキャナ、DATユニットを接続する場合は、イメージスキャナ、DAT ユニットに接続しているSCSI ID番号に対応した「Include in BIOS Scan」 の設定を、必ず No」に設定してください。

[デバイス有効/無効選択画面]



【 】 】を使用して、変更したい設定を反転させて【Enter】を押してく ださい。

■ < 選択肢 > □

1	設定を有効にする。	[SCSIデバイスコンフィグレーション画面](P.203)へ
П	設定を無効にする。	[SCSI デバイスコンフィグレーション画面](P.203)へ
[ESC]	】 変更を中止する。	[SCSI デバイスコンフィグレーション画面](P.203)へ

画面説明

前の画面で選択した機能の有効(Yes) 無効(No)を選択します。 * 工場出荷時の設定値を表しています。

[転送速度設定画面]



【 】 】を使用して、変更したい転送速度の値を反転させ、【Enter】を 押してください。

	<	選択	肢	>	
--	---	----	---	---	--

転送速度を選択する。	[SCSI デバイスコンフィグレーション画面] P.203)へ
【ESC】 変更を中止する。	[SCSIデバイスコンフィグレーション画面] P.203)へ

画面説明

画面に表示されている転送速度の中から、デバイスに設定可能な範囲 内で値を選択します。

* 工場出荷時の設定値を表しています。

● チェック / データバス幅の設定によって、設定できる転送速度が変わります。

[デバイス有効/無効/変化なし選択画面]



【 】 】を使用して、変更したい設定を反転させて【Enter】を押してく ださい。

= <選択肢> =

I	設定を有効にする。	[SCSI デバイスコンフィグレーション画面)(P.203)へ
П	設定を無効にする。	[SCSI デバイスコンフィグレーション画面](P.203)へ
111	設定を変化なしにする。	[SCSI デバイスコンフィグレーション画面)(P.203)へ
[ESC]	変更を中止する。	[SCSI デバイスコンフィグレーション画面)(P.203)へ

画面説明

前の画面で選択した機能の有効(Yes) 無効(No) 変化なし(N/C)を 選択します。

* 工場出荷時の設定値を表しています。

[拡張設定画面]

	Advanced Configuration Options	
	Plug and Play SCAM Support • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	- 1
	Reset SCSI Bus at IC Initialization • • • • • • • • • • • • • • • Enabled	- 11
	Display <ctrl><a> Message During BIOS Initialization ••••• Enabled</ctrl>	— III
	Extended BIOS Translation for DOS Drives > 1 GByte • • • • • Enabled	— IV
	Verbose/Silent Mode • • • • • • • • • • • • • • • • Verbose 🚽	- v
	Options Listed Below Have NO EFFECT if the BIOS is Disabled	
	Host Adapter BIOS • • • • • • • • • • • • • • • • • • Enabled	— VI
	Support Removable Disks Under BIOS as Fixed Disks • • • • • Boot Only	— VII
	BIOS Support for Bootable CD-ROM · · · · · · · · · · · · Enabled	— VIII
	BIOS Support for Int13 Extensions • • • • • • • • • • • • • Enabled	— IX
1		

【 】 を使用して、変更したい設定を反転させて【Enter】を押してく ださい。

	兄時>	
- 101		
I	SCAM の有効/無効設定	[オプション有効/無効選択画面](P.210)へ
П	SCSI バスリセットの有効/無効設定	[オプション有効/無効選択画面](P.210)へ
Ш	<ctrl><a>メッセージ表示有効/無効設定</ctrl>	[オプション有効/無効選択画面](P.210)へ
IV	1GB 以上サポートの有効/無効設定	[オプション有効/無効選択画面](P.210)へ
V	Verbose/Silent の有効/無効設定	[Verbose/Silent 選択画面](P.211)へ
VI	BIOS の有効/無効設定	[BIOS の有効/無効設定画面](P.211)へ
VII	リムーパプルディスク設定	[リムーパブルディスク設定画面](P.212)へ
VIII	起動CD-ROM機能有効/無効設定	[オプション有効/無効選択画面](P.210)へ
IX	INT13 サポートの有効/無効設定	[オプション有効/無効選択画面](P.210)へ
[ESC]	変更を中止する。	[コンフィグレーション画面](P.198)へ

画面の説明

- Plug and Play SCAM Support(SCAM機能サポート)-この項目を選択すると、SCAM機能の有効(Enabled)/無効(Disabled)を設定する画面が表示されます。
 SCAM機能を使用する(Enabled)に設定した場合、ボードに接続されているSCSIデバイスのID番号が自動的に設定されます。
 ただし、この機能を使用するためには、接続したSCSIデバイスがSCAM機能に対応していなくてはなりません。
- Reset SCSI Bus at IC Initialization(SCSIバスリセット時のIC 初期化)-この項目を選択すると、SCSIバスリセット時のIC初期 化機能の有効(Enabled)無效(Disabled)を設定する画面が表示され ます。この機能は、Plug and Play SCAM Support設定でSCAM機 能を使用する設定にした場合必ず、有効(Enabled)に設定してくだ さい。SCAM機能を使用しない場合は、無效(Disabled)に設定してく ださい。

 Display <Ctrl><A> Message During BIOS Initialization(Ctrl-Aメッセージの表示) - この項目を選択すると、起動時に 「Press<Ctrl><A>for SCSI Select(TM)Utility!」メッセージを表示 する機能の有効(Enabled)(無効(Disabled))を設定する画面が表示 されます。

起動時に「Press<Ctrl><A>for SCSI Select(TM)Utility!」を表示しない(Diabled)設定にしても、起動時に【Ctrl 】を押しながら【A 】を押 すとユーティリティは起動します。

 Extended BIOS Translation for DOS Drives > 1 GByte(DOS で1GB以上のドライブ使用)-この項目を選択すると、1GB以上の 大容量デバイスを使用可能にする機能の有効(Enabled)/無効 (Disabled)を設定することができます。

この設定は、有効(Enabled)のまま使用することを推奨します。

- Verbose/Silent Mode(起動時のバナー表示) この項目を選択す ると、起動時に「Adaptec AHA-29XX XXXX BIOS v x.xx...」のメッ セージを表示する機能の有効(Verbose)/無効(Silent)を設定する 画面が表示されます。起動時にメッセージを表示しない(Silent)を 設定しても、起動時に【Ctrl】を押しながら【A】を押すとユーティリ ティは起動します。
- Host Adapter BIOS(ホストアダプタBIOS) この項目を選択す ると、SCSI-BIOSの有効(Enabled)/無効(Disabled:NOT scan)/ 無效(Disabled:scan bus)を設定することができます。この機能を 無效(Disabled:NOT scan)/無效(Disabled:scan bus)にすると、 ボードに接続されているSCSIデバイスからの起動はできなくなり ます。無效(Disabled:NOT scan)にすると、scan busも無効になり ます。

この設定は、有効(Enabled)のまま使用することを推奨します。

- ジチェック! Ultra SCSIインタフェースボード搭載モデルで、初回起動時に「EMM386 not installed」というエラーメッセージが表示された場合は、次のいずれかの方法で対応を行ってください。
 - config.sysで組み込まれているemm386.exeを無効にする。
 c:¥config.sysファイルを次のように修正してください。

(変更前)

device=c:\u00e4windows\u00e4emm386.exe ram

(変更後)

rem device=c:¥windows¥emm386.exe ram remを追加 ただし、この場合、XMSやDPMIに対応していないMS-DOSアプリ ケーションが正常に動作しなくなる場合がありますので、ご注意くだ さい。

- SCSI BIOSのプートを無効にする。
 SCSI SELECT画面の「Advanced Configuration Options」で「Host Adapter BIOS」を「Disabled」に変更してください。
 ただし、この場合、SCSIインタフェースボードに接続した機器からは プートできませんのでご注意ください。
 - Support Removable Disks Under BIOS as Fixed Disks(リ ムーバブルディスクサポート)-この項目を選択すると、BIOS上でのリムーバブルディスクの認識設定を変更する画面が表示されます。
 - BIOS Support for Bootable CD-ROM(起動CD-ROMのBIOS サポート)-この項目を選択すると、CD-ROMドライブ起動機能の 有効(Enabled)無效(Disabled)を設定する画面が表示されます。
 - BIOS Support for Int13 Extensions(BIOSのINT13サポート)
 この項目を選択すると、BIOSが1024シリンダより大きい容量の デバイスを使用可能にする機能の有效(Enabled)/無效(Disabled)
 を設定する画面が表示されます。

この設定は、有効(Enabled)のまま使用することを推奨します。

[オプション有効/無効選択画面]



【 】 】を使用して、変更したいモードを反転させて【Enter】を押して ください。

┍ < 選択肢 > -

I	選択した機能を有効にする。	[拡張設定画面] P.208)へ
II	選択した機能を無効にする。	[拡張設定画面] P.208)へ
[ESC	ン】変更を中止する。	[拡張設定画面] P.208)へ

画面説明

前の画面で選択した機能の有効(Enabled),無効(Disabled)を選択し ます。

* 工場出荷時の設定値を表しています。変更したいモードによって異 なります。

[Verbose/Silent選択画面]



【 】 **を使用して、変更したい設定を反転させて**[Enter]を押してく ださい。





[拡張設定画面](P.208)へ [拡張設定画面](P.208)へ [拡張設定画面](P.208)へ

画面説明

前の画面で選択した機能のVerbose、Silentを選択します。

* 工場出荷時の設定値を表しています。

[BIOS の有効/無効設定画面]



【 】 】を使用して、変更したい設定を反転させて【Enter】を押してく ださい。

= <選択肢>=

1	設定を有効にする。	[拡張設定画面](P.208)へ
11	設定を無効、scan bus無効にする。	[拡張設定画面](P.208)へ
111	設定を無効、scan bus 有効にする。	[拡張設定画面](P.208)へ
[ESC]	変更を中止する。	[拡張設定画面](P.208)へ

画面説明

前の画面で選択した機能の有効(Enabled)、無効(Disabled)を選択します。

* 工場出荷時の設定値を表しています。

[リムーバブルディスク設定画面]

*	Boot Only	-	I
	All Disks	-	<u>н</u>
	Disabled		
	Disabled	-	[1]

【 】 】を使用して、変更したいモードを反転させて【Enter】を押して ください。

	- ~ 選択時	>	
I			
I		起動デバイスのみハード	「拡張設定画面(P.208)へ
I			
I		ティスクに設定する。	
I		タイのリケーバブルディフクを	
I		± (0)4-/////	
I		ハードディスクに設定する。	
I			
I		無効に設定9る。	L 払張設正画面 L P.208)へ
I	[FSC]	恋雨を由止する	
I		XXCTII 7 Vo	

画面説明

- ・ 起動デバイスとして指定されるリムーバブルデバイスだけを、ハードディスクとして認識させる場合は、Boot Only(起動のみ)を選択してください。
- ・BIOSがサポートするすべてのリムーバブルデバイスをハードディ スクとして認識させる場合は、All Disks(ディスクすべて)を選択し てください。
- ・ リムーバブルディスクをハードディスクとして認識させない場合 は、Disabled(無効)を選択してください。この設定を行うと、リムー バブルディスクを認識させるために、ソフトウェアのドライバが必 要となります。
- * 工場出荷時の設定値を表しています。
- ジチェック // ハードディスクとして認識させた場合は、リムーバブルディスクの媒体を取
 り出さないでください。

[初期設定変更画面]



【 】 Jを使用して、項目を反転させて【Enter Jを押してください。

- < 澤井	< 選択肢 >			
1	工場出荷時の設定に戻す。	「コンフィグレーション画面 Y P.198)へ		
П	変更を中止する。	[コンフィグレーション画面](P.198)へ		

すべての設定を工場出荷時の設定に戻す(Yes)変更を中止する(No)のどちらかを選択してください。

[設定保存画面]



【 】 】を使用して、項目を反転させて【Enter 】を押してください。

— <選択肢> —

変更した設定を保存する。
 変更した設定を保存しない。

[SCSI SELECT起動画面)(P.197)へ [SCSI SELECT起動画面)(P.197)へ

画面説明

変更した値を保存する(Yes)中止する(No)のどちらかを選択してく ださい。

中止する(No)を選択すると、変更した設定はすべて変更前に戻ります。

[ユーティリティ終了確認画面]



【 】 】を使用して、項目を反転させて【Enter】を押してください。

___ <選択肢 > _____

1	SCSI SELECT を終了する。	②[[再起動画面](P.214)へ
II	SCSI SELECT を終了しない。	[SCSI SELECT 起動画面](P.197)へ

画面説明

SCSI SELECTを終了する(Yes)終了しない(No)を選択してください。

②[再起動画面]

Please press any key to reboot

このメッセージが画面に表示されたら、【Enter】を押してください。 本体が再起動し、設定が有効になります。

22[ディスクユーティリティ起動画面]



【 】 】を使用して、処理を行いたいSCSIデバイスを反転させて 【Enter】を押してください。このとき、デバイスは、デバイス名称ではな く、必ず設定されているSCSIID設定を元にして選択してください。 (本ボードに対してフォーマットまたはペリファイ処理を行うことは できません。)

```
- <選択肢>
I デバイスを選択する。 <sup>②</sup>[ フォーマット/ベリファイ選択画面 】(P.214 )へ
【ESC】変更を中止する。 [SCSI SELECT起動画面 】(P.197 )へ
```

画面説明

ボードに接続されているSCSIデバイスの一覧をSCSIデバイスが返す 情報を元に表示しています。(SCSI ID #7: AHA-29XX XXXXは本ボー ドを示しています。)

接続しているSCSIデバイスの種類や、ボードの設定によって表示内容 が異なります。また、ここで表示されるSCSIデバイスの名称は、使用し ている製品名と一致しないことがあります。

23[フォーマット/ベリファイ選択画面]

• •
•

【 】 】を使用して、行いたい処理項目を反転させて【Enter】を押して ください。

■ < 選択肢 >				
I	フォーマットをする。	@[フォーマット確認画面1]へ		
Ш	ベリファイをする。	28 [ペリファイ確認画面](P.216)へ		

- Format Disk(フォーマットディスク)-この項目を選択すると、指定したSCSIデバイスに対して低レベルフォーマットを行うことができます。
- Verify Disk Media(ペリファイディスクメディア)-この項目を 選択すると、指定したSCSIデバイスに対してペリファイを行うこと ができます。

④[フォーマット確認画面1]



【 】 Jを使用して、項目を反転させて【Enter 】を押してください。

< 選択服	伎>	
1	フォーマットをする。	(25) フォーマット確認画面2 (P.215)へ
11	フォーマットを中止する。	②[ディスクユーティリティ起動画面](P.214)へ

画面説明

低レベルフォーマット処理を行うSCSIID、デバイス情報そして容量 が上部に表示されます。本当に低レベルフォーマットを行うデバイス であることを確認の上、フォーマットを行う(Yes)、中止する(No)のど ちらかを選択してください。

チェック ・ フォーマットを行うと、ディスク上のすべてのデータは消されてしまいます。
 ・フォーマット中は、本体およびSCSI機器の電源を切らないでください。

25[フォーマット確認画面2]



【 】 】を使用して、項目を反転させて【Enter】を押してください。

E	· /[
	1	ノオーマットをする。	26 1 フォーマット中画面 (P.216)へ		
L.	11	フォーマットを中止する。	②[ディスクユーティリティ起動画面](P.214)へ		

4 SCSI設定

再度、低レベルフォーマットを行うかどうかを確認を求めてきますの で、再度、SCSIID、デバイス情報、そして容量等を確認の上、フォー マット処理を行う(Yes)、処理を中止する(No)のどちらかを選択して ください。

26[フォーマット中画面]

 !!! please Wait !!! !!! please Wait !!!
 Depending on your disk Capacity,formatting may take from one minute to several hours.
 !!! please Wait !!! !!! please Wait !!!

フォーマットが終了すると、迎[フォーマット終了画面 」が表示され ます。

画面説明

低レベルフォーマットが開始されます。そのまま、しばらくお待ちくだ さい。

接続されているSCSIデバイスの容量によって数分から数時間かかる ことがあります。

22[フォーマット終了画面]



何かキーを押すと²²[ディスクユーティリティ起動画面 [P.214)へ戻 ります。

画面説明

低レベルフォーマットが正常に終了するとフォーマットは完了しまし た(Formatting Complete)と表示されます。

28[ペリファイ確認画面]



【 】 】を使用して、項目を反転させて【Enter 】を押してください。
- <選択	■ <選択肢 >										
I.	ベリファイをする。	29[ベリファイ中画面]へ									
П	ベリファイを中止する。	㉒ [ディスクユーティリティ起動画面][P.214)^									

画面説明

ベリファイ処理を行うSCSIID、デバイス情報そして容量が上部に表示されます。

ベリファイ処理を行うか再度確認してきますので、ベリファイ処理を 行う(Yes)処理を中止する(No)のどちらかを選択してください。

29[ペリファイ中画面]

	Verifying	nEC	D3866						
Sector	#00003D620h		0233MBytes						
	40	% Complet	e						
Press <esc> to about</esc>									

【Esc 】を押すと処理を中止することができます。 ペリファイが終了すると®[ペリファイ終了画面」が表示されます。

- 《選択肢》	
【ESC】処理を中止する。 ③[ベリ	Jファイ中止確認画面 <u>(</u> P.218)へ

画面説明

ペリファイ処理が開始されます。画面中央のバーが右へ進んで行き、実 施状況を画面に表示しています。

③[ペリファイ終了画面]



何かキー押すと②[ディスクユーティリティ起動画面 【P.214)に戻り ます。

画面説明

ベリファイが正常に終了すると、ディスク調査は完了しました(Disk Verification Complete)と表示されます。

③[ペリファイ中止確認画面]



【 】 】を使用して、項目を反転させて【Enter 】を押してください。



画面説明

ベリファイ処理中止を行うか再度確認を求めてくるので、ベリファイ を中止する(Yes)、ベリファイを続行する(No)のどちらかを選択して ください。



順番に読んでいく必要はありません。目的にあわせて該当するページを お読みください。

この章の内容

機能一覧	220
割り込みレベル・ DMAチャネル	232
本機のお手入れ	234



型番の読み方

型番の表示場所や確認方法については、『はじめにお読みください』をご 覧ください。

仕様一覧

MA10T/C、MA86T/C、MA80T/C本体機能仕樣

機種名		MA10T/C	MA86T/C	MA80T/C		
CPU	CPU種別	インテル [®] Pentium [®] IIIプロセッサ				
	クロック周波数	1.0GHz	866MHz	800EB MHz		
	内蔵キャッシュメモリ 一次	32KB				
	二次	256KB				
	システムバス	133MHz(メモリバス:1	00MHz)			
メモリ	BIOS ROM(Flash ROM)	512KB、プラグ&プレイタ	内応			
	メインRAM	最大512MB DIMMス	ロット×2			
	ビデオRAM	メインRAMと共有して使	用(メインRAMから8~11	MB占有、表示領域として		
		使用されるのは一部)				
表示機能	ウィンドウアクセラレータ	Intel [®] 810E Chipsetに内蔵(DVMアーキテクチャ採用)				
	グラフィック表示	640×480ドット 🖁	最大1,677万色			
		800×600ドット 🗄	最大1,677万色			
		1,024×768ドット 🛔	最大1,677万色			
		1,280×1,024ドット 🖁	最大1,677万色			
		1,600×1,200ドット 最大256色				
		(使用するディスプレイに、	より表示解像度は異なります	†)		
サウンド機	能	YAMAHA社製YMF752搭載 PCM録音再生機能内蔵(ステレオ、量子化8				
		ビット/16ビット、サンプリングレート 8~48KHz)、全二重対応(モノラル、				
		量子化8ビット時)、内蔵モノラルスピーカ装備				
補助記憶	フロッピーディスクドライブまたは	3.5型フロッピーディスク	'ドライブ(3モード対応)×	1、またはスーパーディス		
装置	スーパーディスクドライブ	クドライブ×1				

継 插 夕				MA 1	OT/C	MAR6T/C		MAROT/C
城性石	<u></u>	ドディフィ	ちドライブ	Illtro				WIA OUT/C
油切心息				は載っ	オスマモリの容易か		交に トロ男	たります
衣旦		山19时2		고국니			日により共	49 4 9
			トールモテル	Offic	e 2000 Person	alモテル:約1,15		
				Offic	e 2000 Protes	sionalモテル:約	1,180ME	3
				一太民	₿10·花子10パック	7 & 1-2-3 200	0モデル:	約1,490MB
		Wind	ows 98	アフリ	リケーションレスモテ	=ル:約790MB		
		インス	トールモデル	Offic	e 2000 Person	alモデル:約1,16	60 M B	
				Offic	e 2000 Profess	sionalモデル:約1	1,200ME	3
				一太良	『10・花子10パック	7 & 1-2-3 200	0モデル:	約1,540MB
	光テ	ィスク関	連					
		CD-RO	Mドライブ	内蔵	最大40倍速			
		CD-R/I	RWドライブ	内蔵	読み込み:CD-RO	Mは最大32倍速	CD-RW	は最大20倍速
					書き込み:CD-Rは	:最大8倍速、CD-	RWは4倍	速
インタ	ディ	スプレイ						
フェース		アナログ	ŕRGB	アナロ	コグRGBセパレー	ト信号出力(75	アナログ	インタフェース)、ミニロ-
				sub1	5ピン			
		デジタル	∕RGB	デジタ	アルフラットパネル値	言号出力(TMDS), DFP20	ピン
	シリ	アル		最大1	15,200bps, D-	sub9ピン		
	パラ	レル		D-su	b25ピン			
	US	В		2(本	体正面×1、本体背	面×1)		
	サウ	ンド関連				-		
		入力	マイク入力	モノラ	ラル、ミニジャック、 (共給電源2.5Ⅴ、▼	マイク出力・	インピーダンス600、マ
				イク感度-48db				
			ライン入力	ステレ	ノオ、ミニジャック、ノ	(カインピーダン)	λ10K 、	入力レベル最大2 Vrms、
				ゲイン	/-6db			
		出力	ヘッドホン出力	ステレ	オ、ミニジャック、出	カレベル最大500	mVrms(負荷インピーダンス33)
			ライン出力	ステレ	レオ、ミニジャック、出	カレベル最大1\	/rms(負荷	新インピーダンス47K)
	通信	関連						, = ,
		LANボ	-ド	RJ4	5(100BASE-TX	/10BASE-T)L	ANコネク	タ、リモートパワーオン機
		-		能. 0	FF state Alert II	機能		
		FAXE	デムボード	電話回線用モジュラーコネクタ、電話機用モジュラーコネクタ				
	入ナ	関連						
		PS/2 1	09キーボード	キーオ	ボードは、本体PS/2	2接続キーボード:	コネクタに	接続、マウスはPS/2接続
		テンキー付き	FPS/2小型キーボード	マウス	マコネクタに接続			
		USB10)9キーボード	キーオ	ボードは、本体USB	コネクタに接続、マ	マウスはキ	ーボードに接続
		USB小	型キーボード	(バス	パワードハブ×2)			
		USB98	配列キーボード					
PCIスロッ	_ 小「空	き1		270	ット(ハーフサイズ	x 2)[2]		
	-	-			(ハーフサイズ	×1. ハーフサイズ	x 1(Ultra	SCSIインタフェースボー
					ド(Wide対応)で占有済))[1]	1	
ファイル	3.5	찐 지 기 위	2771	170	1ット(フロッピーデ	ィスクドライブまた	<u>,</u> - はスーパ	ーディスクドライブで占有
ベイ					済¥[0]			·
	内蔵	3.5型べ	イ[空き]	170	<u></u> ット(ハードディスグ	7ドライブで占有達	₹¥Γ01	
	5型	<u>ベイ</u> [空き	*]	170	wh(CD-ROME	イブまたはCD-R		イブで占有済 F01
」 <u>、「」、「」」、</u> カレンダ時計			雷池に	こよるバックアップ				
ヤキュリ	77	シリティ	勝能	スーノ	パバイザパスワード	ユーザパスワード	. ファイル	音号化(「PGP Personal
ティ/マネ				Priva)ロック ハードデ	ィスクパマ	ワード機能ウイルス検出・
ジェント					「VirusScan .槽》	単添付) エンドコ	- ボクハス	「CyberAccess」標準法
雄能				(() (- ぶっ スエンマユ カバーオープン ☆	ンロン主((「ln+o	LANDesk Client
172 112				Mana	ager 6(with NFC	Extentions)	標準添付	、ケーブルストッパ

機種名			MA10T/C	MA86T/C	MA80T/C	
セキュリ	マネ	ジメント機能	ハードウェアモニタ*、障害	時の自動バックアップ機能(「Masty Data Backup」	
ティ/マネ			標準添付)、ソフトウェア/	パワーOFF機能、リモートパ	ワーオン機能*、リモートコ	
ジメント			ントロール(「pcAnywh	ere 9.2 EX」標準添付))、ネットワークブート、一括	
機能			ファイル配信(「ESMPR	O/DeliveryManagerクラ	ライアント」)、クライアント	
			モニタリング*、OFFstate	e Alert II機能*		
			*(「Intel LANDesk Clie	nt Manager 6(with NEC	CExtentions)」標準添付)	
環境条件	電源	Ĩ.	AC100V±10%、50/6	0Hz、ソフトウェアパワース	オフ対応	
	温湿	夏 条件	10~35 、20~80%(但し結露しないこと)		
消費電力	本体	돜標準構 成時	約30W(最大約64W)			
	エネ	×ルギー消費効率	R区分 0.0091	R区分 0.010	R区分 0.011	
外形寸法	本体	Z	316(H)×320(D)×86(W)mm(スタビライザ(縦置き台)含まず)、			
			316(H)×320(D)×1	55(W)mm(スタビライサ	げ(縦置き台)使用時)	
	+-	<u>- ボード</u>				
		PS/2 109キーボード	40(H)×169(D)×45	6(W)mm		
		テンキー付きPS/2小型キーボード	39(H)×189(D)×38	2(W)mm		
		USB109キーボード	39(H)×179(D)×47	2(W)mm		
		USB小型キーボード	40(H)×178(D)×37	0(W)mm		
		USB98配列キーボード	39(H)×179(D)×47	2(W)mm		
質量	本体		約7.0Kg	約6.9Kg		
	<u>キーボード</u>					
		PS/2 109キーボード	約0.9Kg			
		テンキー付きPS/2小型キーボード	約0.9Kg			
		USB109キーボード	約1.2Kg			
		USB小型キーボード	約1.0Kg			
		USB98配列キーボード	約1.1Kg			



MA66H/C、MA66H/Z、MA66H/L本体機能仕樣

機種名				MA6	6H/C		MA66H	/L	MA	66H/Z(NetPCモデル)		
CPU	CP	U種.	別			インテ	・ル® Celeron	™プロ	コセッサ			
	クロ	ック	周波数	۶		667	MHz					
	内蔵	+7	ッシュメ	モリ	一次	32K	В					
					二次	128	КВ					
	シス	テム	バス			66M	66MHz(メモリバス:100MHz)					
メモリ	BIO	SR	OM(lasl	n ROM)	512	KB、プラグ&フ	レイ対	村応			
	メイ	ンR	AM			最大5	12MB DIN	1MZ	コット×2			
	ビデ	゙オR	AM			メイン	メインRAMと共有して使用(メインRAMから8~11MB占有、表示領域として					
						使用さ	使用されるのは一部)					
表示機能	ウィ	ンド	ウアク	セラし	ノータ	Intel	[®] 810E Chip	set	□内蔵(D\	/Mアーキテク	チャ採用	用)
	グラ	フィ	ック表	示		(640×480ドッ	ト量	最大1,67	7万色		
						8	300×600ドッ	ト量	晨大1,67	7万色		
						1,0	024×768ドッ	ト量	曼大1,6 7	7万色		
						1,28	0×1,024ドッ	ト量	晨大1,67	7万色		
						1,60	0×1,200ドッ	ト量	晨大256 €	<u>b</u>		
						(使用	するディスプレ	ィによ	より 表示解	像度は異なりま	きす)	
サウンド機	能					YAM	AHA社製YM	F752	2.搭載 P	CM録音再生樹	機能内慮	胾(ステレオ、量子化8
						ビット	/16ビット、サ	ンプリ	シグレー	► 8~48KH	lz)、全	:二重対応(モノラル、
						量子伯	と8ビット時)、「	内蔵モ	ノラルスと	ビーカ装備		
補助記憶	70	ッピー	ディス	ウドラ ・	イブまたは	3.5型	』フロッピーデ	ィスク	ドライブ(3モード対応)	×	
装置	スー	パー	ディスク	ドライ	ブ	1、ま	たはスーパーラ	ディスク	フドライブ:	< 1		
	ハー	<u>ドテ</u>	ィスク	ドラ・	イブ	Ultra	iATA66対応、	SMA	RT機能対	応		
		出花	苛時ソフ	トウェ	ア占有量	搭載するメモリの容量やセレクションの内容により異なります						
		\	Nindo	ws	Me	アプリケーションレスモデル:約850MB						
		-	インス		レモデル	Office 2000 Personalモデル:約1,150MB						
						Office 2000 Professionalモデル:約1,180MB						
						ー太郎10・花子10パック & 1-2-3 2000モデル:約1,490MB						
		\	Nindo	ws	98	アフリ	リケーションレス	スモデノ	ル:約790	мв		
		1	インス		レモデル	Offic	e 2000 Per	sona	モテル:約	51,160MB		
						Office 2000 Professionalモデル:約1,200MB						
		ĻĻ		_		一太臣	\$10・花子10	バック	& 1-2-3	2000モデル	/:約1,:	540MB
	光ァ	-17	ク関連	<u> </u>								
		CL	D-ROM	パドフ	17	内感	最大40倍速					
)-R/R	WF:	717	시厩	読み込み:CL		/1は最大32	2倍速、CD-RV	v	
									」 台述		+	
110	=,		1.2				音さ込み: しし	-ドは取	这人0旧述、		*	
1/9	71		レ1 + ロ ガ			7+1	コゲロクロセパ		信旦山力		H 1 1	A77) 2-D
77-7		· `		KGD					псцл	(75))1	242))I=X <= D-
		≓ :	じん ロ.	PCB		SUD 1 デジス	コレフラットパラ	とし、信・	무비 카/ 포		2012	
	3/11	<u>יין</u> ווק		KGD		「ノノ」	15 200600					
	ノワ					最大115,200bps、D-sub9ビン						
	USB					U-SUD23Cノ 2(太休正面-1 太休悲面-1)						
						2(**	<u>мтах1, ж</u>	仲月四	x 1)			
	, , ,		力	マイ	ク入力	<i>∓ /=</i>	テル ミージャッ	ク供	絵雷源2	5 / マイク出	カイント	パーダンス600 マ
					~ / \ / J	イク感	いて、ヘーンドン 《度-48db					
				=1	ン入力	ステレ	ノオ ミニジャッ	12. λ	カインピ・	-ダンス10K	λ	レベル最大2 Vrm s
				 	- / (/)	ゲイ	/-6db					· ·// AX/(2 / 1113)
		出	Ъ	<u>م الا م ا</u>	「ホン出力	ステレ	 /オ、ミニジャッ/	ク、出ナ	コレベル最	大500mVrm:	s(負荷	インピーダンス33)
				51	<u>ン出力</u>	ステレ	オ. ミニジャッ	ク.出	カレベル	where the second se	荷イン	$r^2 - s^2 + s^2 + c^2 $
												,

機種名			MA66H/C MA66H/L MA66H/Z(NetPCモデル)					
インタ	通信	関連		1				
フェース		LANボード	RJ45(100BASE-TX/	10BASE-T)LANコネクタ	、リモートパワーオン機能			
		FAXモデムボード	電話回線用モジュラーコオ	、クタ、電話機用モジュラー				
			コネクタ					
	入力	」 〕関連						
		PS/2 109キーボード	キーボードは、本体PS/2	接続キーボードコネクタに	接続、マウスはPS/2接続			
		テンキー付きPS/2小型キーボード	マウスコネクタに接続					
		USB109キーボード	キーボードは、本体USBI	コネクタに接続、マウスはキ	ーボードに接続			
		USB小型キーボード	(バスパワードハブ×2)					
		USB98配列キーボード						
	保守	F用FDDコネクタ			管理者用外付けFDドラ			
					イブを接続			
PCIスロッ	・ ト[空	[き]	2スロット(ハーフサイズ>	2)[2]	2スロット(ハーフサイズ			
			(ハーフサイズ×	1、ハーフサイズ×1(Ultra	×1、ハーフサイズ×1			
			SCSIインタフ	ェースボード(Wide対応)	(保守用FDDコネクタで			
			で占有済))[1]	占有済)[[1]]			
ファイル	3.5	型ベイ[空き]	1スロット(フロッピーデ	ィスクドライブまたはスー				
ベイ			パーディスクト	・ライブで占有済)[0]				
	内蔵	【3.5型ベイ[空き]	1スロット(ハードディスク	ドライブで占有済)[0]				
	5型	ベイ[空き]	1スロット(CD-ROMドラ	ライブまたはCD-R/RWド				
			ライブで占有法	斉)[0]				
カレンダ時	計		電池によるバックアップ					
セキュリ	セキ	- ユリティ機能	スーパバイザパスワード、ユーザパスワード、ファイル暗号化(「PGP Personal Privacy」					
ティ/マネ			標準添付)、I/Oロック、ハードディスクパスワード機能、ウイルス検出・駆除					
ジメント			(「VirusScan」標準添付)、エンドユーザ管理(「CyberAccess」標準添付)、筐体ロッ					
機能			ク、ルーフカバーオープン検知*(「Intel LANDesk Client Manager 6 (with NEC					
			Extentions)」標準添付)、ケーブルストッパ * MA66H/Lでは利用できません。					
	マネ	、ジメント機能	ハードウェアモニタ*3、障害時の自動バックアップ機能(「Masty Data Backup」標準					
			添付) ^{*3} 、ソフトウェアパワーOFF機能、リモートパワーオン機能 ^{*1*2} 、リモートコント					
			ロール*²(「pcAnywhere 9.2 EX」標準添付)、ネットワークプート*3、一括ファイル配					
			信(「ESMPRO/DeliveryManagerクライアント」)、クライアントモニタリング*1*2					
			*1 (「Intel LANDesk Client Manager 6 (with NEC Extentions)」標準添					
			付) *2 MA66H/Lの場合は(「別売のDMITOOL Ver8.1(pcAnywhere™					
			9.0 EXホスト専用版)」が必要) *3 MA66H/Lでは利用できません。					
環境条件	電源		AC100V±10%、50/60Hz、ソフトウェアパワーオフ対応					
	温湿	起度条件	10~35 ,20~80%(但し結露しないこと)				
消費電刀	本14	「標準構成時	約29W(最大約64W)		約29W(最大約62W)			
	<u>エ</u> イ + 4	トレキー消貨効率	R区分 0.013		R区分 0.011 俗異キム\ヘキギ、			
까形 \1 法	414	μ	310(H)×320(D)×8	o(vv)mm(スタヒフイサ(55(W))mm(フタビニノサ	縦亘さ石) ゴま9人 約 俗響きム \ 使田吽 \			
	+-	-#_k	310(H)x320(D)x1		(微旦cn)使用时)			
	+-		40(H)×160(D)×45	6(W)mm				
		F 372 103 十一 小一 I	40(H)×180(D)×43	2(W)mm				
			39(H)×179(D)×47	2(W)mm				
		USB小型キーボード	40(H)×178(D)×37	0(W)mm				
		<u>USB98配列キーボード</u>	39(H)×179(D)×47	2(W)mm				
質量	本体	Z	約6.9Kg	× ,	約5.9Kg			
~-	+-	-ボード						
	[·]	PS/2 109キーボード	約0.9Kg					
		テンキー付きPS/2小型キーボード	約0.9Kg					
		USB109キーボード	約1.2Kg					
		USB小型キーボード	約1.0Kg					
		USB98配列キーボード	約1.1Kg					



MA10T/S、MA80T/S、MA66H/S本体機能仕様

機種名				MA10T/S	MA80T/S	MA66H/S				
CPU	СР	U種別		インテル [®] Pentium [®] III	プロセッサ	インテル [®] Celeron™				
						プロセッサ				
	クロ	ック周波数	夊	1.0GHz	800EB MHz	667MHz				
	内蔵	キャッシュメ	モリー次	32KB	32KB					
			二次	256KB		128KB				
	シス	テムバス		133MHz(メモリバス:1	00MHz)	66MHz(メモリバス:				
						100MHz)				
メモリ	BIO	S ROM(Flash ROM	512KB、プラグ&プレイ	512KB、プラグ&プレイ対応					
	メイ	ンRAM		最大512MB DIMMス	.ロット×2					
	ビテ	オRAM		メインRAMと共有して使	同(メインRAMから1)	D~13MB占有、表示領域とし				
				て使用されるのは一部)						
表示機能	ウィ	ンドウアク	セラレータ	Intel [®] 810E Chipset	に内蔵(AGP相当、DV	Mアーキテクチャ採用)				
	グラ	フィック表	示	640×480ドット	最大1,677万色					
				800×600ドット	最大1,677万色					
				1,024×768ドット	最大1,677万色					
				1,280×1,024ドット	最大1,677万色					
				1,600×1,200ドット	最大256色					
				(使用するディスプレイに	より表示解像度は異ない	ります)				
サウンド機	能			PCM録音再生機能内蔵(ステレオ、量子化8ビッ	ト/16ビット、サンプリングレー				
				ト7~48KHz)、全二重文	ト7 ~ 48KHz)、全二重対応、ソフトウェアサウンド機能、 ブザー装備					
補助記憶	フロ	ッピーディ	ィスクドライブ	3.5型フロッピーディスクドライブ(3モード対応)×1						
装置	ハー	ドディスク	יドライブ	UltraATA66対応、SMART機能対応						
		出荷時ソフ	7トウェア占有量	搭載するメモリの容量や	搭載するメモリの容量やセレクションの内容により異なります					
		Windo	ows Me	アプリケーションレスモテ	アプリケーションレスモデル:約850MB					
		インス	トールモデル	Office 2000 Personalモデル:約1,150MB						
				Office 2000 Professionalモデル:約1,180MB						
				一太郎10・花子10パック & 1-2-3 2000モデル:約1,490MB						
		Windo	ows 98	アプリケーションレスモデル:約790MB						
		インス	トールモデル	Office 2000 Person	alモデル:約1,160MB					
				Office 2000 Profess	Office 2000 Professionalモデル:約1,200MB					
				一太郎10・花子10パック & 1-2-3 2000モデル:約1,540MB						
	光テ	「ィスク関連	<u> </u>							
		CD-ROI	<u>Mドライブ</u>	内蔵 最大40倍速						
		CD-R/R	Wドライブ	内蔵 読み込み:CD-RO	Mは最大32倍速、CD-	RWは最大20倍速				
<i>4</i> b	_			書き込み:CD-Rは最大8倍速、CD-RWは4倍速						
インター	ティ									
フェース		アナロク	RGB	アナロクRGBセバレー	ト信号出刀(75 アナ	ロクインタフェース)、ミニD-				
				SUD15E2		! %				
	~	<u> テシタル</u>	RGB	デジタルフラットバネル信号出力(TMDS)、DFP20ビン						
	シリ	<i>F N</i>		取入115,200DpS、D-9	SUD9E2					
			-							
	MIL	JI/JOYST	C	D-sub15ビン(利用できません)						
	03				цхı)					
	0.0	ノド 朗理	マイク入力		#絵霊酒2 51/ マイクロ	サカインピーダンフ600 フ				
				レノフル、ミーンマック、1 ノク感度-49db	六祖 电/ぶくしょくくくう	UNITE-37X000 (4				
			ラインハカ	コン窓皮=4000 フテレオ ミージャック	λ カインピーダンフィ 0	K λカレベル是キョ\/rma				
				インシートローン アックシン		、、、、、、」レ・、、、レロン、∠ ↓11115、				
		出 力	ライン出力			「自荷インピーダンフォフレー)				
				<u> ハノレカ、ニーノャック、U</u>	1/1レ ///取八://///5(、 貝丽 コンビーフン A 4 / K)				

機種名		MA10T/S MA80T/S	MA66H/S				
インタ	通信関連						
フェース	LANボード	RJ45(100BASE-TX/10BASE-T)LANコネク	ヲ、リモートパワーオン機能				
	FAXモデムボード	電話回線用モジュラーコネクタ、電話機用モジュラーコネクタ					
	入力関連						
	PS/2 109キーボード	キーボードは、本体PS/2接続キーボードコネクタに	接続、マウスはPS/2接続				
	テンキー付きPS/2小型キーボード	マウスコネクタに接続					
	USB109キーボード	キーボードは、本体USBコネクタに接続、マウスはキ	ーボードに接続				
	USB小型キーボード	(バスパワードハブ×2)					
	USB98配列キーボード						
PCIスロッ	ト[空き]	3スロット(フルサイズ×2、ハーフサイズ×1(LANボ	ードまたはFAXモデムボー				
		ドで占有済))[2]					
		(フルサイズ×1、ハーフサイズ×1(Ultra	SCSIインタフェースボー				
		ド(Wide対応)で占有済)、ハーフサイ.	ズ×1(LANボードまたは				
		FAXモデムボードで占有済))[1]					
ファイル	3.5型ベイ[空き]	1スロット(フロッピーディスクドライブで占有済)[0]				
ベイ	内蔵3.5型ベイ[空き]	2 スロット(ハードディスクドライブで1 スロット占有源	f)[1]				
		(追加ハードディスクドライブ搭載時は2ス	ロット占有済)[0]				
	5型ベイ[空き]	2 スロット(CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドラ	ライブで1スロット占有済)				
		[1]					
カレンタ時		電池によるバックアップ					
セキュリ	セキュリティ機能	スーハハイサハスワード、ユーサハスワード、ノアイル増亏化('PGP Personal					
テイ/マネ		Privacy」標準添判)、I/Oロック、ワイルス快工・駆除(VirusScan」標準添判)、					
シメント		エントユーリ管理(* CyberAccess) 标準添付)、 国体ロック、 ルーフガバーオー					
懱能		ラノ快和(Intel LANDesk Client Manager 6 (with NEC Extentions)」					
	フランジョント操作	「赤牛添刊」) リードウェマモニタ* 陪宅時の白動バックマップ機能(「Maaty Data Baakup 挿					
	マネンメント機能	パートウェアモーダ、障害时の自動パックアック機能(*Masty Data Backup」標準法は、ハフトウェアパローのEE機能 リエートパローオン機能* リエートコントロー					
		学ぶ19人ソフトリエアハリーOFF機能、リモートハリーオン機能、リモートコントロー サイトックApywhore 0.2 FX 標準添付) ネットロークゴート ービファイル 配信					
		/// FCMPRO/DeliveryManagerクライアント、) クライアントモニタリング*					
		*(「Intel LANDesk Client Manager 6 (with NEC Extentions)」標準添付)					
	雷源	AC100V+10% 50/60Hz ソフトウェアパワーオフ対応					
A& -76 /3K	温湿度冬件	$10 \sim 35$ 20 ~ 80%(但し結露しないこと)					
消費雷力	本体標準構成時	約28W(最大約169W)	約27W(最大約169W)				
	エネルギー消費効率	R区分 0.0092 R区分 0.011	R区分 0.013				
外形寸法	本体	140(H)×394(D)×430(W)mm(ゴム足以外(
	キーボード						
	PS/2 109キーボード	40(H)×169(D)×456(W)mm					
	テンキー付きPS/2小型キーボード	39(H)×189(D)×382(W)mm					
	USB109キーボード	39(H)×179(D)×472(W)mm					
	USB小型キーボード	40(H)×178(D)×370(W)mm					
	USB98配列キーボード	39(H)×179(D)×472(W)mm					
質量	本体	約9.5Kg					
	キーボード						
	PS/2 109キーボード	約0.9Kg					
	テンキー付きPS/2小型キーボード	約0.9Kg					
	USB109キーボード	約1.2Kg					
	USB小型キーボード	約1.0Kg					
	USB98配列キーボード	約1.1Kg					



MA15S/M、MA10T/M、MA80T/M本体機能仕樣

機種名				MA15S/M	MA10T/M	MA80T/M		
CPU	CPU利	重別		インテル [®] Pentium [®]	インテル [®] Pentium [®] II	プロセッサ		
				4プロセッサ				
	クロック	ク周波数		1.5GHz	1.0GHz	800EB MHz		
	内蔵キ	蔵キャッシュメモリ 一次		8KB	32KB	•		
			二次	256KB				
	システ	ムバス		400MHz(メモリバス:	133MHz(メモリバス:8	800MHz)		
				800MHz)				
メモリ	BIOS	ROM(Flas	h ROM)	512KB、プラグ&プレイ対応				
	メイン	RAM		ECC機能対応	ECC機能対応 最大512MB RIMMスロット×2			
				最大1,024MB				
				RIMMスロット×4				
	ビデオ	RAM		32MB(DDR SGRAM)	8MB(SDRAM)			
表示機能	ウィント	ドウアクセラ	レータ	nVIDIA™社製	nVIDIA™社製Vanta™	^M 搭載(AGPスロット)		
				GeForce2 GTS™搭載				
				(AGPスロット)				
	グラフ・	ィック表示		640×480ドット 1	最大1,677万色			
				800×600ドット 1	最大1,677万色			
				1,024×768ドット 🖁	最大1,677万色			
				1,280×1,024ドット 最大1,677万色				
				1,600×1,200ドット	最大1,677万色			
11 -1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -				(使用するティスフレイに	より表示解像度は異なりま	す) (#土井(ニー) ト 日マ() (*		
サワンド機	FE			YAMAHA社製YMF75	2.搭載 PCM録音冉生機	能内蔵(ステレオ、量子化8		
				ビット/16ビット、サンプ!	リンクレート 8~48KH2	Z)、全 虹が心(モノフル、		
ᅒᆂᇚᇊᇃ	70.00	2 = . 7 5	ドニノゴ	単丁化のビット時人 ノリー衣禰 9 5 利フロッピーディフクドライブ(9 エード対応)ッ1				
1111-111111111111111111111111111111111		ニーティスク ディフクドラ	<u> トライノ</u> イブ					
衣旦	1,7-1-	112010	17			ハ ハ ゴ 小戊 目と 入ゴ ルレ		
	L H	荷時リフトウ・	- ア上右景	び新するメモリの突量や+	 7レクションの内容に上115	またいます		
		Window	vs Me	活戦9るメモリの谷重やビレクションの内谷により共なりよ9 アプリケーションレスモデル・約850MB				
		インスト-	-ルモデル	クリックションレスとりル.myosomB Office 2000 Personalモデル:約1 150MB				
			<i>// こ/ //</i>	Office 2000 Profess	ionalモデル:約1.180M	В		
				ー大郎10·花子10パック & 1-2-3 2000モデル:約1 490MB				
		Window	vs 98	アプリケーションレスモデ	ル:約800MB			
		インスト-	- ルモデル	Office 2000 Persona	alモデル:約1,160MB			
				Office 2000 Profess	ionalモデル:約1,190M	В		
				- 太郎10・花子10パック	& 1-2-3 2000モデル:	:約1,540MB		
	光ディ	スク関連						
	С	D-ROMドラ	・イブ	内蔵 最大40倍速				
	С	D-R/RWド	ライブ	内蔵 読み込み:CD-ROI	Mは最大32倍速、CD-RW	は最大20倍速		
				書き込み:CD-Rは	最大8倍速、CD-RWは4倍	语速		
インタ	<u> ディス</u>	プレイ						
フェース	ア	'ナログRGE	3	アナログRGBセパレート	・信号出力(75 アナロク	「インタフェース)、ミニD-		
				sub15ピン				
	7	ジタルRGE	3		デジタルフラットバネ	ル信号出力(TMDS)、		
					DFP20ビン			
	シリア.				1.012			
		ネクタ1		最大115,200bps、D-s	ub9ビン			
		イクタ2			ub9ビン			

機種名				MA15S/M	MA10T/M	MA80T/M
インタ	ターパラレル			D-sub25ピン		•
フェース	MIDI/Joystic			D-sub15ピン(利用できません)		
	USB			3(本体正面×1、本体背面×2)	2(本体正面×1、本体	本背面×1)
	サウンド関連					
		入力	マイク入力	モノラル、ミニジャック	、入力インピーダン	ス10K、入力レベル最大
				100mVrms、ゲイン200	db	
			ライン入力	ステレオ、ミニジャック、入	、カインピーダンス10	IK 、入力レベル最大2 Vrms、
				ゲイン-6db		
		出力	ライン出力	ステレオ、ミニジャック、出	カレベル最大1Vrms	(負荷インピーダンス47K)
	通信	関連				
		LANボー	۲	RJ45(100BASE-TX	10BASE-T)LAN	コネクタ、リモートパワーオン機
				能、OFF state Alert II	幾能	
		FAXモデ	゚゙ムボード	電話回線用モジュラーコス	トクタ、電話機用モジコ	Lラーコネクタ
	入力	関連				
		PS/2 1	09キーボード	キーボードは、本体PS/2	接続キーボードコネク	7夕に接続、マウスはPS/2接続
		テンキー付きF	PS/2小型キーボード	マウスコネクタに接続		
		USB10	9キーボード	キーボードは、本体USBコネクタに接続、マウスはキーボードに接続		
		USB小型		(バスバワードハブ×2)		
		USB98	ビ列キーホード			
PCIZON	1년 오	き]		5スロット(フルサイス×4	、フルサイス×1(LA	NホードまたはFAXセテムホー
				ドで古有済)し		
				(フルサイズ×3、フルサイズ×1(Ultra SCSIインタフェースボード		
				(Wide対応)ご占有済)、フルサイス×1(LANホードまたはFAXモ ディボードでとた这)とのコ		
	w F 5	た キ 1		テムホートで百行済)しょう		
	2 5	ᅗᅋ	÷ 1	(7)		
ブノール	3.5 空へ1[空さ]		.c.」 イ「空き 1	3スロット(ハードディスクドライブで1スロット占有済)21		
			11 20 1	(追加ハードディスクドライブ搭載時は2スロット占有済)[1]		
	5型	ベイ[空き	1	2スロット(CD-ROMまた	はCD-R/RWドライフ	で1スロット占有済)[1]
カレンダ時	計		-	電池によるバックアップ		
セキュリ	セキ	ュリティ機	能	スーパバイザパスワード、	ューザパスワード、ファ	イル暗号化(「PGP Personal
ティ/マネ				Privacy」標準添付)、I/C	ロック、ハードディスク	パスワード機能、ウイルス検出・
ジメント				駆除(「VirusScan」標準	「添付)、エンドユーザ	管理(「CyberAccess」標準添
機能				付)、筐体ロック、ルーフカ	バーオープン検知(「	Intel LANDesk Client
				Manager 6 (with NEC	:Extentions)」標準	添付)、ケーブルストッパ
	マネ	ジメント機	能	ハードウェアモニタ*、障害	時の自動バックアップ	機能(「Masty Data Backup」
				標準添付)、ソフトウェア/	ペワーOFF機能、リモー	-トパワーオン機能*、リモートコ
				ントロール(「pcAnywhere 9.2 EX」標準添付)、ネットワークブート、一括フ		
				ァイル配信(「ESMPRO	DeliveryManager	クライアント」)、 クライアントモ
				ニタリング*、OFFstate Alert II機能*		
				*(「Intel LANDesk Clie	nt Manager 6(with	NEC Extentions)」標準添付)
環境条件	見る (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		AC100V±10%、50/60Hz、ソフトウェアパワーオフ対応			
****				10~35、20~80%(但し結露しないこと)		
消費電刀	」 414標準備成時		持	約69W(最大約267W)	約36W(最大約21	8W)
	⊥ イルモー 消費効率		買幼举	R区分 0.021	R区分 0.013 スマ(M()mm(ゴ/ロ	R区分 0.016
外形引法	平 14 十			447(H)×455(D)×1	//(W)mm(コム定)	以外の突起物習ます)
			00+-#-6			
		- J/ Z テンキー供売!	0 リー 一 小一 ト	30(H) 120(D) 220	2(W)mm	
			9キーボード	39(H)×179(D)×38	2(W)mm	
		USB/h#	<u></u> !+-ボード	40(H)×178(D)×37	0(W)mm	
		USB98	<u></u> 己列キーボード	39(H)×179(D)×47	2(W)mm	
	-					

機種名			MA15S/M	MA10T/M	MA80T/M
質量	本体	7	約13.7Kg	約13.6Kg	
	キーボード				
		PS/2 109キーボード	約0.9Kg		
		テンキー付きPS/2小型キーボード	約0.9Kg		
		USB109キーボード	約1.2Kg		
		USB小型キーボード	約1.0Kg		
		USB98配列キーボード	約1.1Kg		

LAN**ボード機能仕様**

ネットワーク形態	スター型ネットワーク	
伝送速度	100BASE-TX使用時:100Mbps	
	10BASE-T使用時:10Mbps	
伝送路	100BASE-TX使用時:UTPカテゴリ5	
	10BASE-T使用時:UTPカテゴリ3,4,5	
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式	
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式	
ステーション台数	最大1024台/ネットワーク	
ステーション間距離/	100BASE-TX:最大約200m/ステーション間	
ネットワーク経路長 注	10BASE-T:最大約500m/ステーション間	
	最大100m/セグメント	

注 リピータの台数など、条件によって異なります。

ATコマンドについては、『ATコマンド(ここをクリック)をご覧ください。

ATコマンド

FAXモデムボード機能仕様

注 回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

	交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置			
	適用回線	加入電話回線			
	同期方式	半二重調步同期方式			
	通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/300bps 注			
F 通信方式		ITU-T V.17/V.29/V.27ter/V.21ch2			
X	変調方式	QAM:14400/12000/9600/7200bps			
機 能 DPSF		DPSK:4800/2400bps			
100		FSK:300bps			
	送信レベル	-10~-15dBm(出荷時-15dBm)			
	受信レベル	-10~-40dBm			
	制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド(CLASS1)			
	適用回線	加入電話回線			
	同期方式	全二重調歩同期方式			
	通信速度	送受信:33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/			
		14400/12000/9600/7200/4800/2400/1200/300bps 注			
		受信のみ:56000/54667/54000/53333/52000/50667/50000/49333/			
		48000/46667/46000/45333/44000/42667/42000/41333/			
		40000/38667/38000/37333/36000/34667/34000/33333/			
		32000/30667/29333/28000bps 注			
デ	通信規格	K56flex ITU-T V.90/V.34/V.32/V.32bis/V.22/V.22bis/V.21			
	変調方式	TCM: 56000/54667/54000/53333/52000/50667/50000/49333/			
f		48000/46667/46000/45333/44000/42667/42000/41333/			
デ		40000/38667/38000/37333/36000/34667/34000/33600/			
機		33333/32000/31200/30667/29333/28800/28000/26400/			
能		24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200bps			
		QAM: 9600/7200bps			
		DPSK:4800/2400/1200bps			
		FSK: 1200/300bps			
	エラー訂正	ITU-T V.42(LAPM)MNP class4			
	データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5			
	送信レベル	-10~-15dBm(出荷時-15dBm)			
	受信レベル	-10~-40dBm			
	制御コマンド	HayesATコマンド準拠			
	適用回線	加入電話回線			
	ダイヤル方式	パルスダイヤル(10/20PPS)			
		トーンダイヤル(DTMF)			
C	NCU形式	AA (自動発信 / 自動着信型)			
U ###		MA (手動発信 / 自動着信型)			
能		MM (手動発信 / 手動着信型)			
		AM (自動発信 / 手動着信型)			
	制御コマンド	HayesATコマンド準拠			
	1	EIA-578拡張ATコマンド(CLASS1)			



割り込みレベル

工場出荷時の割り込みレベルの割り当ては、次の通りです。

Me... Windows Meの場合

実し いこん スレ	デバイス					
刮り込み レベル	MA10T/C、MA86T/C、 MA80T/C、MA66H/C、 MA66H/Z、MA66H/L	MA10T/S、 MA80T/S、 MA66H/S	MA10T/M、 MA80T/M	MA15S/M		
IRQ00		 カウンタおよびタイマ				
IRQ01		PS/2接続キ	ーボード			
IRQ02		割り込みコン	トローラ			
IRQ03	(空き)	LANまたはFAX	(空き)			
IRQ04	シリアルポートA					
	(空き)		MIDI	サウンド/SMBus		
INQU5				Controller		
IRQ06	フロッピーディスクドライブ					
IRQ07	パラレルポート					
IRQ08	リアルタイムクロック					
IRQ09	ACPIで使用されてい るSCI IRQ/サウンド/ SMBus Controller	USB	USB/LANまたはFAX/ サウンド/ACPIで使用され ているSCI IRQ/SMBus Controller	USB/ACPIで使用 されているSCI IRQ		
	グラフィック/LAN	SMBus Controller/	グラフィック	グラフィック/LAN		
	またはFAX	サウンド		またはFAX		
IRQ11	USB	ACPIで使用され ているSCI IRQ/ グラフィック	USB			
IRQ12						
IRQ13	数値演算コプロセッサ					
IRQ14	プライマリIDE					
IRQ15	セカンダリIDE					

別のI/O機器に変更する場合は、BIOSの設定を変更してください。

98... Windows 9800場合

実は222 フィ	デバイス				
割り込み レベル	MA10T/C、MA86T/C、 MA80T/C、MA66H/C、 MA66H/Z、MA66H/L	MA10T/S MA80T/S MA66H/S	MA10T/M、 MA80T/M	MA15S/M	
IRQ00					
IRQ01		PS/2接続キーボード			
IRQ02	割り込みコントローラ				
IRQ03	(空き)				
IRQ04	シリアルポートA				
IRQ05	(空き)	LANまたはFAX	MIDI	サウンド	
IRQ06	フロッピーディスクドライブ				
IRQ07	パラレルポート				
IRQ08	リアルタイムクロック				
IRQ09	サウンド	USB	LANまたはFAX/ サウンド	USB	
	LANまたはFAX/	サウンド	グラフィック	グラフィック/LAN	
IRQ10	グラフィック			またはFAX	
IRQ11	USB	グラフィック	ブラフィック USB		
IRQ12					
IRQ13	数値演算コプロセッサ				
IRQ14	プライマリIDE				
IRQ15	セカンダリIDE				

別のI/O機器に変更する場合は、BIOSの設定を変更してください。

参照 「PART2 システム設定(省スペース型、ミニタワー型の場合)」Advanced の設定」の「I/O Device Configuration (P.139)、「PART3 システム設定 (デスクトップ型の場合) Peripheral Setupの設定(P.184)

DMAチャネル

工場出荷時のDMAチャネルの割り当ては、次の通りです。

DMA チャネル	データ幅	デバイス
0	8または16ビット	(空き)
1	8または16ビット	(空き)
2	8または16ビット	フロッピーディスク
3	8または16ビット	(空き)
4		DMAコントローラ
5	16ビット	(空き)
6	16ビット	(空き)
7	16ビット	(空き)

省スペース型のスーパーディスク搭載モデルは、「(空き)」になります。

割り込みレベル・DMAチャネル 233



本機のお手入れは、それぞれ次の要領で行ってください。



- - シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんは、使用しないでください。本体の外装をいためたり、故障の原因となったりします。

マウスのクリーニング

マウス内部のローラーやボールが汚れると、マウスポインタの動きが悪 くなります。とくに汚れがたまりやすいので、定期的にクリーニングして ください。ローラーだけクリーニングするときは、4~6の手順は省略して もかまいません。 5 付 録

- 1 本機の電源を切り、マウスのケーブルをキーボードから外す
- 2 マウスの裏側のボール止めを、下図の矢印の方向に回転させる



3

ボール止めを取り外し、ボールを取り出す



- 4 ボールを中性洗剤で洗い、汚れを落とす
- 5 水で中性洗剤を洗い落とす
- 6 布で水分をふき取り、風通しの良いところで充分に乾燥させる

7 マウス内部のローラーの汚れを、水分を含ませた綿棒でこすり 落とす

汚れが落ちないときは、柔らかい歯プラシなどで汚れを取ります (このとき、歯プラシに水やはみがき粉などを付けないでください)。



- 8 ボールをマウスに戻す
- **9** ボール止めを取り付け、手順2と逆の方向に回して固定
- - クリーニングの際にマウスから取り出した部品は、なくさないようにして ください。
 - 水や中性洗剤は、絶対にマウスに直接かけないでください。故障の原因となります。
 - シンナーやペンジンなどの有機溶剤は、使用しないでください。マウスの 外装をいためたり、故障の原因となったりします。
 - ローラーの汚れを取る場合には、絶対に金属ブラシやカッター、ヤスリなどのような硬いものは使用しないでください。ローラーに傷が付き、故障の原因となります。

スーパーディスクドライブのクリーニング

スーパーディスクドライブでフロッピーディスクを使用していると、 ヘッドが汚れ、読み書き時にエラーが発生する場合があります。万一、ご 使用中にエラーが発生した場合には、スーパーディスクドライブ専用の クリーニングキットを使用してください。

推奨クリーニングキット

イメーション株式会社製:LS-120HCL

フロッピーディスクドライブ用のクリーニングディスクなどを使用する と、ヘッドが摩耗し、障害を招く場合がありますのでご注意ください。 なお、商品の最新情報は、インターネットの次のホームページをご覧くだ さい。

http://www.imation.co.jp/

5 付 録



活用ガイド ハードウェア編

PC98-NX >y-x Mate

省スペース型 デスクトップ型 ミニタワー型 (Windows Meインストールモデル) (Windows 98インストールモデル)

二版 2000年11月 NEC P